

# 尾張旭市産業振興基礎調査

## 報告書

〈アンケート調査、企業等ヒアリング調査編〉

2022年2月

尾張旭市



## - 目 次 -

### 【尾張旭市の産業振興に関するアンケート調査 【調査結果報告書】

I. 調査の概要 .....	2
1. 調査の目的 .....	2
2. 調査の設計 .....	2
3. 報告書の見方.....	2
II. 調査結果の概要 .....	3
1. 事業所の概要等について .....	3
2. 現在の事業の状況と見通しについて .....	4
3. 尾張旭市での事業活動について.....	6
4. 人材の確保等の状況について.....	7
5. 尾張旭市の取り組みに対する満足度・重要度.....	7
III. 調査結果 .....	9
1. 事業の概要等について .....	9
2. 現在の事業の状況と見通しについて .....	23
3. 尾張旭市での事業活動について.....	54
4. 人材の確保等の状況について.....	66
5. 尾張旭市の取り組みに対する満足度・重要度.....	74
6. 自由意見 .....	109

### 【尾張旭市の産業振興に関する企業等ヒアリング調査 【調査結果報告書】

1. 調査概要 .....	114
2. 調査結果のまとめ.....	115



尾張旭市の産業振興に関する

アンケート調査

【調査結果報告書】

## I. 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、本市の産業振興施策を検討する上での基礎資料として、尾張旭市内の事業者の皆様が事業を展開していく上での課題や問題と感じていること、事業者の経営資源の強み・弱み、今後の事業運営支援のあり方などを把握するため実施した。

### 2. 調査の設計

調査対象者：尾張旭市商工会が把握している市内事業者

調査方法：郵送配布、郵送回収

調査期間：2021年6月18日（金）～7月2日（金）

配布数：1,986件（廃業事業所等を除く）

回収率：30.3%（回収数：601件）

### 3. 報告書の見方

- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者数を表している。
- 回答結果は、小数点第2位を四捨五入した有効サンプル数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- 図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものである。
- クロス集計表の網掛けについては以下の通りです（「その他」、「無回答」を除く順）。  
最も割合が高いもの：網掛けと白抜き文字  
2番目に割合が高いもの：網掛け（1位が同率の場合は2番目の網掛けはなし）  
※同率の場合、2択の場合は割合が最も高いもののみ。
- クロス集計における従業員規模別は、正社員数での規模別となっている。
- 問17-1のクロス集計については全体的にサンプルサイズ（n値）が小さいため、コメント対象外としている。
- 自由記述については概要をまとめ、主な意見を掲載している。

## Ⅱ. 調査結果の概要

### 1. 事業所の概要等について

#### 《産業分類》

- 業種については「建設業」（20.6%）、「小売業」（15.6%）、「サービス業（他に分類されない）」（15.1%）の順で高くなっている。
- 産業分類でみると、「サービス業・その他」（38.1%）、「建設業」（20.6%）、「卸・小売業」（20.0%）、「製造業」（12.5%）、「飲食サービス業」（11.0%）、「医療・福祉」（4.8%）の順で高くなっている。

#### 《事業継続年数》

- 事業継続年数については「20年以上」が50%以上となっている（57.7%）。「20年以上」の割合を産業分類別でみると、《製造業》での割合が特に高くなっている。《医療・福祉》については他の産業に比べて継続年数が短い傾向にある。

#### 《従業員数・従業員の平均年齢》

- 従業員規模（正社員数）は「5人以下」が50%以上となっている（57.9%）。いずれの産業分類においても「5人以下」が最も高くなっているが、《建設業》、《製造業》については「6～20人以下」の割合も比較的高い。
- 従業員の平均年齢は「40歳代」が最も高くなっている（31.9%）。いずれの産業分類においても「40歳代」が最も高くなっているが、《飲食サービス業》、《医療・福祉》では「29歳以下」、「30歳代」の割合が比較的高く、他の産業分類に比べて、若い世代が多い傾向にある。

#### 《経営者の属性》

- 経営者の区分については、「創業者（初代）」が約60%を占めている（60.6%）。また、ほとんどの産業分類において「創業者（初代）」が最も高くなっているが、《飲食サービス業》、《医療・福祉》、《サービス業・その他》での割合が高い傾向にある。《製造業》については「創業者の親族」が最も高く、「創業者（初代）」とともに40%台となっている。
- 経営者の年齢については、「50歳代」、「60歳代」、「70歳代以上」がそれぞれ25%程度となっている（順25.0%、24.3%、25.5%）。《医療・福祉》では「40歳代」の割合が比較的高く、他の産業分類に比べて、若い経営者が多い傾向にある。
- 経営者の年齢を従業員規模別でみると、《51人以上》では『50歳以下』は10%未満であるのに対し、従業員50人以下の区分では20%前後となっており、規模が小さい方が若い経営者が多い傾向にある。
- 経営者となってからの年数については、「30年以上」が最も高くなっている（26.8%）。従業員規模別でみると、《51人以上》では「10年未満」が60%以上となっており、他の区分に比べて年数が浅い経営者が多くなっている。また、規模が大きくなるほど年数が浅い経営者が多くなる傾向にある。

## 《事業継承》

- 事業継承については、『承継したい』（「是非、事業承継したい」+「できれば事業承継したい」）が50%以上となっている（56.4%）。産業分類別で見ると、多くの区分において『継承したい』の割合が高くなっているが、《飲食サービス業》については「事業承継は希望しない」の割合の方が高くなっている。
- 後継者の予定については、「後継者は決まっておらず、候補もいない」が約50%となっている（49.6%）。「後継者はすでに決まっている」については、20%未満となっている（17.5%）。
- 後継者の予定を従業員規模別で見ると、《5人以下》での「後継者は決まっておらず、候補もいない」の割合は他の区分を大きく上回り、50%以上となっている。

## 2. 現在の事業の状況と見通しについて

---

### 《売上》

- 直近決算期の売上については、「1,000万円～5,000万円未満」が最も高く（27.5%）、次いで、「1,000万円未満」（22.0%）となっており、「5,000万円未満」が約50%を占めている。
- 直近決算期の売上を産業分類別で見ると、《飲食サービス業》、《医療・福祉》、《サービス業・その他》では「5,000万円未満」が50%以上となっており、《建設業》、《製造業》、《卸・小売業》と比較すると売上規模が小さくなっている。
- 売上を3年前と比較すると、『減少』（「大幅減少（20%以上減）」+「やや減少（5～20%減）」）が50%以上（57.6%）、『増加』（「大幅増加（20%以上増）」+「やや増加（5～20%増）」）が20%未満（16.9%）となっている。
- 3年前の売上との比較を産業分類別で見ると、『減少』の割合は《飲食サービス業》で最も高く、80%以上となっている。従業員規模別では《51人以上》で最も高く、70%以上となっている。
- 売上増加の理由としては、「営業力の強化」をあげる事業者が40%以上となっている（41.2%）。減少の理由としては、「新型コロナウイルス感染症による影響」が約70%を占めている（70.8%）。特に《医療・福祉》では割合が高く、90%以上となっている。《飲食サービス業》についても割合が高く、80%以上となっている。

### 《仕入れ先、納入・販売先》

- 仕入れ先としては、「愛知県内（尾張旭市を除く）」が70.0%を占めている。「尾張旭市内」については約20%となっている（21.8%）。いずれの産業においても「愛知県内（尾張旭市を除く）」が最も高くなっているが、《飲食サービス業》では「尾張旭市内」も比較的高く、50%以上となっている。「尾張旭市内」の割合が低いのは、《製造業》、《卸・小売業》、《医療・福祉》となっている。
- 納入・販売先としては、「愛知県内（尾張旭市を除く）」が60%以上を占めている（66.2%）。「尾張旭市内」については50%台となっている（55.1%）。ほとんどの産業においても「愛知県内（尾張旭市を除く）」が最も高くなっているが、《飲食サービス業》では「尾張旭市内」が最も高く、約80%となっている。

#### 《事業実施にあたっての課題》

- 事業実施にあたっての課題としては、「人材の確保・育成」（39.1%）、「販路の拡大」（25.5%）、「競合の激化」（17.8%）、「施設や設備の老朽化」（17.3%）の順で高くなっている。
- 事業実施にあたっての課題を産業分類別でみると、ほとんどの区分において「人材の確保・育成」が最も高くなっているが、特に《建設業》での割合が高くなっている。また、《卸・小売業》では「販路の拡大」、《飲食サービス業》では「施設や設備の老朽化」が最も高くなっている。

#### 《今後の展開》

- 今後3年程度の事業展開については、「現在と同じ事業分野で展開する」が60%以上（65.1%）、「現在の事業分野に加えて、新規事業を展開する」については約20%となっている（19.1%）。
- 今後3年程度の事業展開については、いずれの産業分類においても「現在と同じ事業分野で展開する」が最も高くなっているが、《飲食サービス業》では「わからない」の割合が比較的高くなっている。《製造業》、《卸・小売業》、《医療・福祉》については、「現在の事業分野に加えて、新規事業を展開する」が約20%となっている。
- 従業員規模が大きくなるほど、今後3年程度の事業展開として「現在の事業分野に加えて、新規事業を展開する」と回答する割合が高くなる傾向にある。
- 今後取り組みたい新規事業等については、《建設業》では「環境」、《製造業》では「環境」、「エネルギー」、「IoT・AI・ロボット」、「飲食関連」、《卸・小売業》、《サービス業・その他》では「卸売・小売」、《飲食サービス業》では「飲食関連」、《医療・福祉》では「介護・福祉」という回答が多く、いずれの産業分類においても現在の産業での事業を希望するケースが多くなっている。

#### 《新型コロナウイルスの影響》

- 経営への影響としては、「売上（来客）の減少」が50%以上を占めている（52.1%）。そのほかは、「資金繰りの悪化」（23.5%）、「商談の延期・中止」（22.3%）が高くなっている。いずれの産業も「売上（来客）の減少」が最も高くなっているが、特に《飲食サービス業》での割合が高く、80%以上となっている。
- いつまで影響が続くと考えているかについては、《資金繰りの悪化》、《予約・受注等のキャンセル》、《販路拡大・製品宣伝ができなくなった》、《売上（来客）の減少》については「先行きが見えない」が最も高く、特に《資金繰りの悪化》、《売上（来客）の減少》での割合が高くなっている。《原材料や部材の調達等の遅延》、《商談の延期・中止》については「年内」が最も高くなっている。

#### 《新型コロナウイルス感染予防対策》

- 実施している新型コロナウイルス感染予防対策としては、「来訪者・来客の制限」（31.6%）、「会議の削減」（16.8%）、「備蓄品の確保」（13.6%）の順で高くなっているが、「特別な予防対策は実施していない」も比較的高く、20%以上となっている（20.5%）。「特別な予防対策は実施していない」の割合は《建設業》で最も高く、30%以上となっている。

### 3. 尾張旭市での事業活動について

---

#### 《尾張旭市で事業を行うことのメリット・デメリット》

- メリットとしては「特にない」が最も高く、30%以上となっている（34.4%）。「特にない」以外についてみると、「災害が少ない・災害に強い」（23.0%）、「地域の発展性・将来性がある」（14.5%）、「地価や賃料が適切」（13.8%）の順で高くなっている。
- メリットについては「特にない」をのぞくと、ほとんどの産業分類において「災害が少ない・災害に強い」が最も高くなっているが、《医療・福祉》では「市場が大きい、市場に近い」と「地価や賃料が適切」が最も高くなっている。従業員規模別でみると、《5人以下》、《6人～20人以下》では「特にない」が最も高くなっており、規模が小さい事業者ほどメリットは感じていない状況にある。
- デメリットとしては「特にない」が最も高く、40%以上となっている（42.8%）。「特にない」以外についてみると、「市場が小さい、市場に遠い」（17.3%）、「地域の発展性、将来性が乏しい」（14.3%）、「人材が確保しにくい」（12.8%）の順で高くなっている。
- デメリットについては「特にない」をのぞくと、《建設業》、《卸・小売業》では「市場が小さい、市場に遠い」、《製造業》では「人材が確保しにくい」と「行政等の支援が充実していない」、《飲食サービス業》、《医療・福祉》では「地域の発展性、将来性が乏しい」、《サービス業・その他》では「市場が小さい、市場に遠い」と「競争が多い」が最も高くなっている。
- メリット、デメリットともに「特にない」の割合が高い傾向にあるが、いずれの産業分類においても、デメリットでの割合の方が高く、メリットを感じている割合の方が高くなっている。また、「地域の発展性、将来性」はメリット、デメリットともに上位となっているが、《飲食サービス業》にとってはメリットと感じている割合より、デメリットと感じている割合の方が高い傾向にある。

#### 《尾張旭市での企業活動のしやすさ、今後の活動》

- 尾張旭市は企業活動がしやすいかについては、『思う』（「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」）が約60%となっている（59.4%）。産業分類別でみると、『思う』の割合は《サービス業・その他》で最も高くなっている。また、『思う』と『思わない』を比較すると、いずれの区分も『思う』の方が高くなっている。
- 尾張旭市での事業継続の意向については、「現在の場所で継続していきたい」が70%以上を占めている（72.2%）。いずれの産業区分においても「現在の場所で継続していきたい」が最も高くなっているが、《飲食サービス業》では他の区分に比べて「自分の代で廃業する予定である」の割合が高く、20%以上となっている。また、従業員規模が《5人以下》の事業所についても「自分の代で廃業する予定である」の割合が比較的高く、10%台となっている。
- 尾張旭市での移転を希望する事業者が求める条件については、「公共交通の利便性」（32.6%）、「工場・オフィス・店舗面積の確保」（25.6%）、「個人顧客・市場との近接性」（25.6%）が上位となっている。

## 4. 人材の確保等の状況について

---

### 《人材の確保》

- 人材の確保状況については、『できている』（「確保できている」+「どちらかと言えば確保できている」）が約 50%となっている（49.9%）。産業分類別でみると、ほとんどの区分において『できている』の方が高くなっているが、《建設業》では『できていない』の方が高く、「確保できていない」の割合は 20%以上となっている。従業員規模別でみると、「確保できていない」の割合は規模が小さくなるほど高くなる傾向にあり、《5人以下》では約 20%となっている。
- 人材を確保する上での課題については、「資金・経営上等の理由から採用する余裕がない」（40.8%）、「求人数に対して必要な人数が集まらない」（29.0%）、「応募はあるが、欲しい人材がない」（26.5%）の順で高くなっている。
- 人材を確保する上での課題を産業分類別でみると、多くの区分において「資金・経営上等の理由から採用する余裕がない」が最も高く、特に《飲食サービス業》、《サービス業・その他》での割合が高くなっている。《建設業》では「求人数に対して必要な人数が集まらない」、《製造業》では「応募はあるが、欲しい人材がない」と「資金・経営上等の理由から採用する余裕がない」、《医療・福祉》では「応募はあるが、欲しい人材がない」が最も高くなっている。
- 多様な人材の育成・登用に対する考えについては、『取り組みたい』（「是非取り組みたい」+「どちらかと言えば取り組みたい」）が約 40%（40.4%）、『取り組むつもりはない』（「取り組むつもりはない」+「どちらかと言えば取り組みたい」）が約 50%（50.1%）と、『取り組むつもりはない』の割合の方が高くなっている。
- 多様な人材の育成・登用に対する考えを産業別でみると、《建設業》では『取り組みたい』の方が高くなっているが、ほとんどの区分において『取り組むつもりはない』の方が高くなっている。従業員規模別でみると、従業員 6 人以上の区分では『取り組みたい』の方が高くなっているが、《5人以下》では『取り組むつもりはない』の方が高くなっている。
- 実施している具体的な採用案内方法については、「ホームページへの掲載」（26.3%）、「就職企業斡旋サイトへの登録」（12.5%）が上位となっている。

## 5. 尾張旭市の取り組みに対する満足度・重要度

---

### 《取り組みに対する満足度》

- 『満足である』（「満足」+「どちらかという満足」）の割合が高い取り組みは、《防災関連の支援》（46.4%）、《「日本一おいしい紅茶のまち」の取組》（43.8%）、《経営、融資等に関する相談支援》（37.8%）、《知的財産（特許）の支援》（35.6%）となっており、《防災関連の支援》、《「日本一おいしい紅茶のまち」の取組》、《経営、融資等に関する相談支援》についてはいずれの産業分類においても、『満足である』の割合が『不満足である』の割合を上回っている。また、《医療・福祉》では『満足である』の割合が高い項目が多い傾向にある。

- 『満足である』の割合が低い取り組みは、《求人活動への支援》、《グローバル化への対応》で、ともに20%台となっている。《求人活動への支援》、《グローバル化への対応》についてはいずれの産業分類においても割合が低い傾向にあり、《グローバル化への対応》についてはすべての区分において『不満足である』の割合が『満足である』の割合を上回っている。《異業種・同業種間の企業連携支援》についてもすべての区分において『不満足である』の割合の方が高くなっている。

#### 《取り組みに対する重要度》

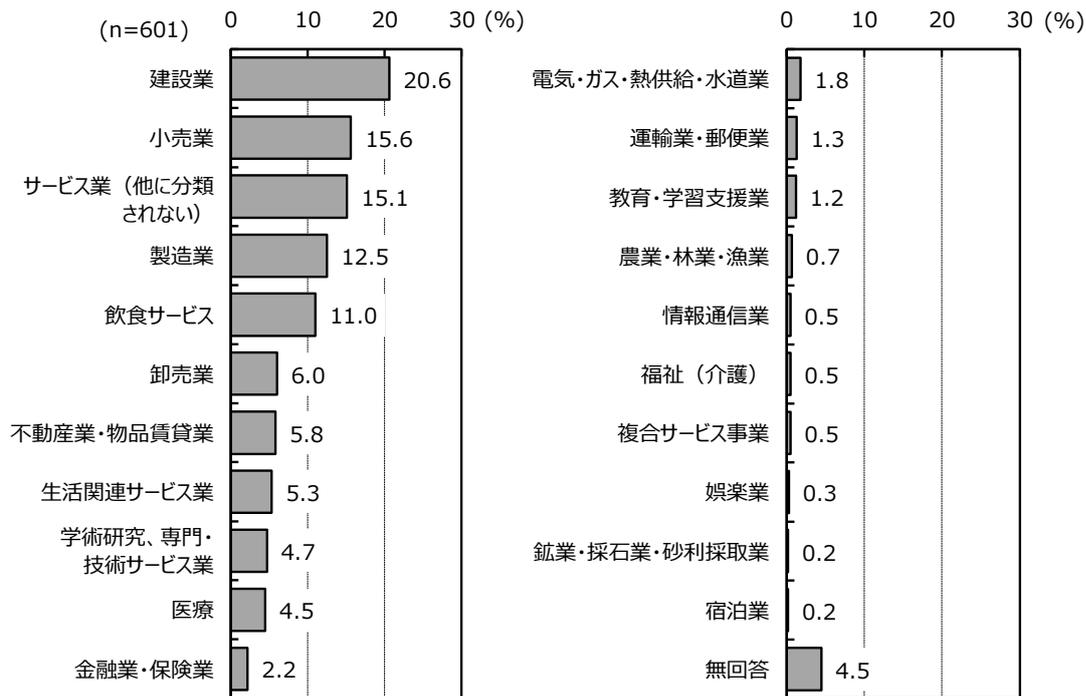
- 『重要である』（「非常に重要」+「重要」）の割合が高い取り組みは《防災関連の支援》（61.8%）、《施設・設備投資への支援》（55.7%）、《国、県等の情報提供》（54.7%）、《求人活動への支援》（54.4%）となっており、《防災関連の支援》については重要度も満足度も高くなっている。
- 『重要である』の割合が低い取り組みは、《知的財産（特許）の支援》、《産学連携の支援》、《「日本一おいしい紅茶のまち」の取組》で、ともに30%台となっている。《「日本一おいしい紅茶のまち」の取組》については、《製造業》以外の区分では『重要でない』の割合の方が高くなっている。

### Ⅲ. 調査結果

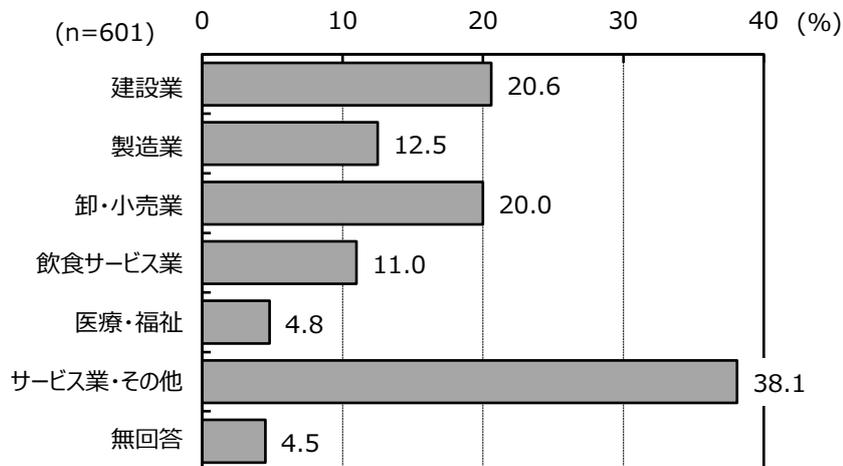
#### 1. 事業の概要等について

##### 問1 尾張旭市内にある貴社の業種を教えてください。（複数回答）

「建設業」が 20.6%と最も高く、次いで、「小売業」が 15.6%、「サービス業（他に分類されない）」が 15.1%となっている。

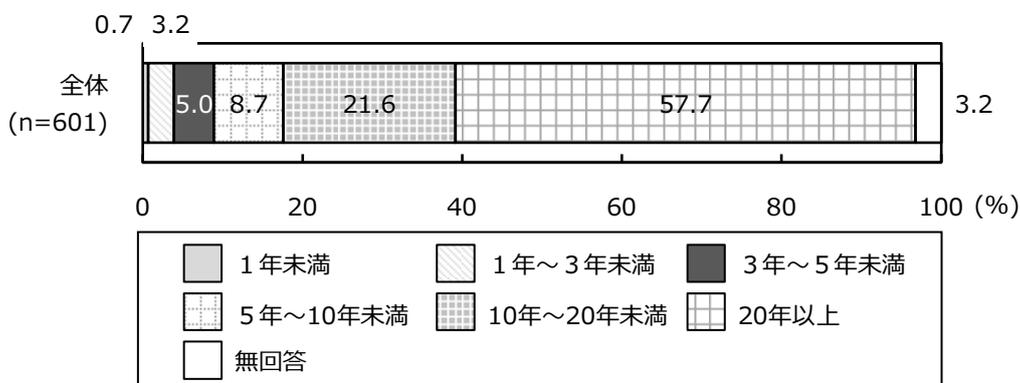


##### 【産業分類】



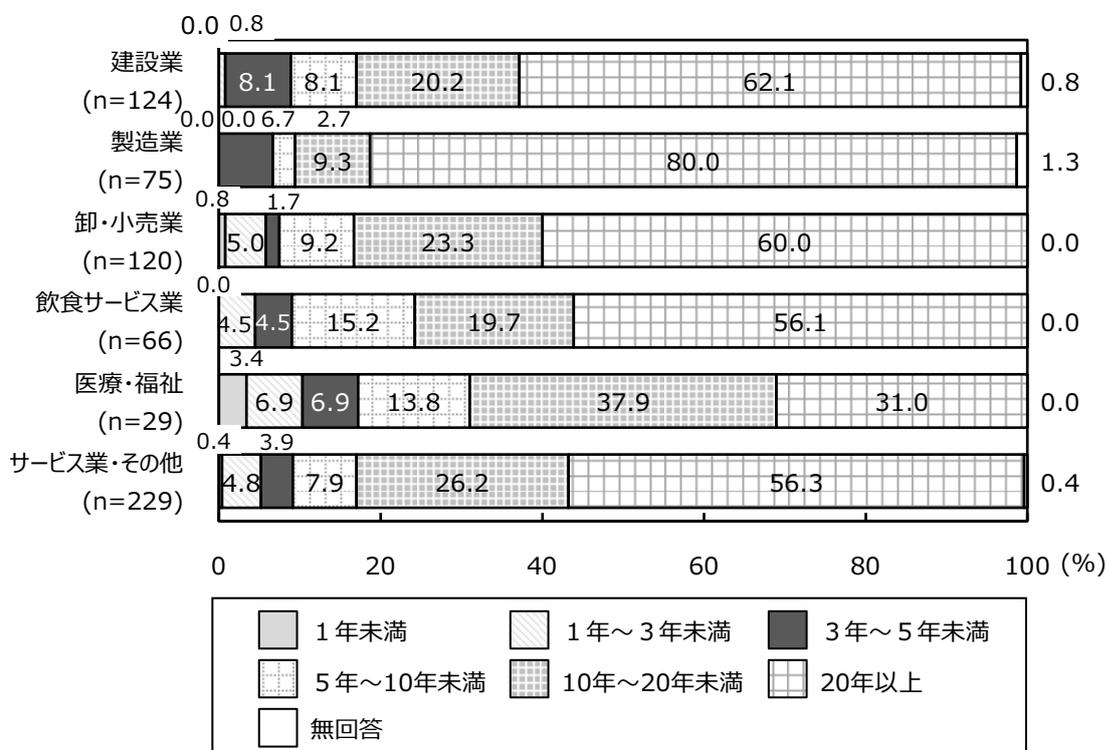
## 問2 貴社の現在の所在地での事業継続年数は、何年ですか。(単数回答)

「20年以上」が57.7%と最も高く、次いで、「10年～20年未満」が21.6%となっている。



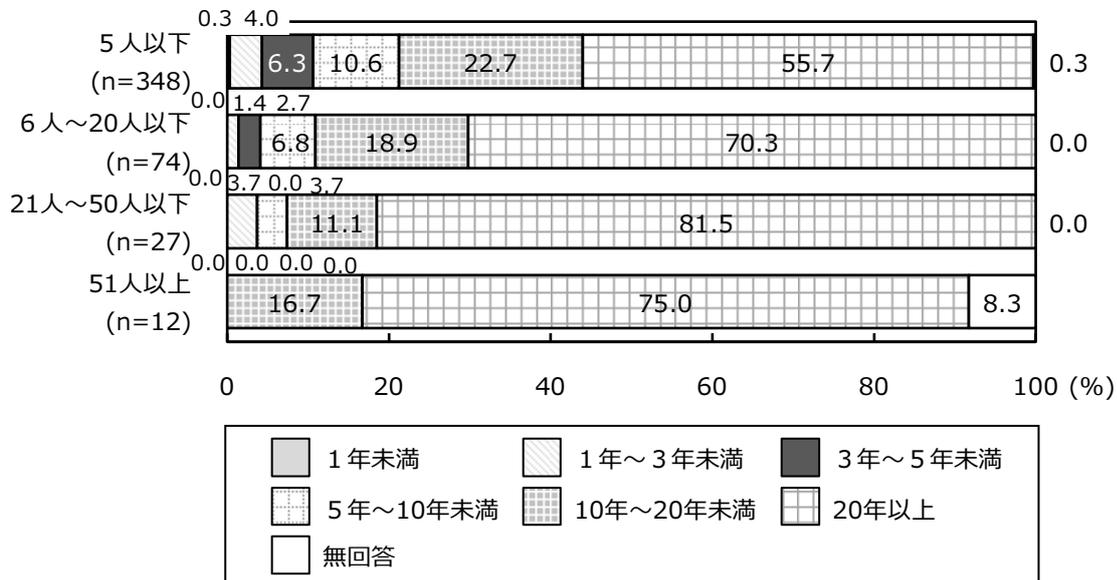
### 【クロス集計 (産業分類別)】

事業継続年数を産業分類別で見ると、《医療・福祉》をのぞくすべての区分において「20年以上」が最も高く、《製造業》での割合が最も高くなっている（80.0%）。《医療・福祉》については「10年～20年未満」が最も高くなっている。



【クロス集計（従業員規模別）】

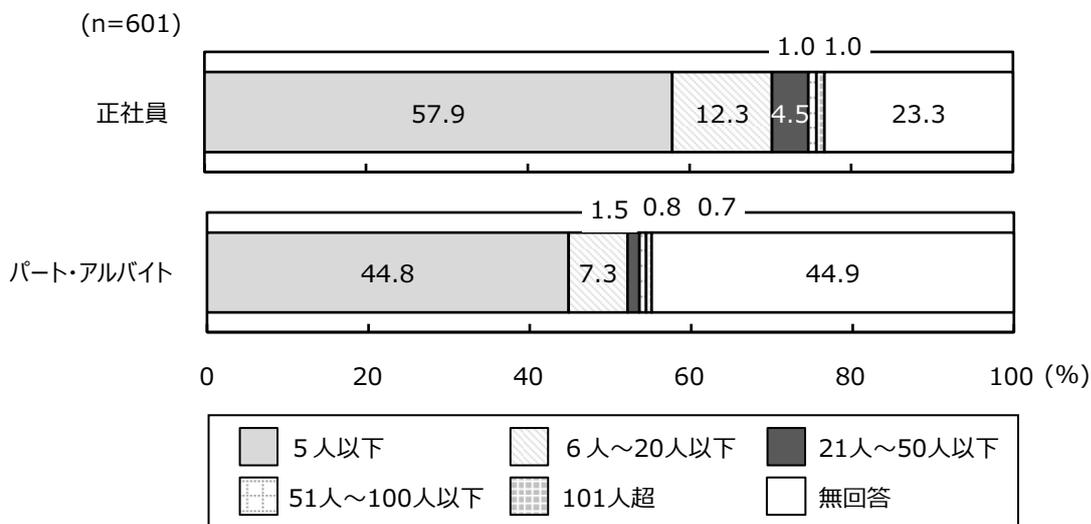
事業継続年数を従業員規模別で見ると、いずれの区分においても「20年以上」が最も高くなっている。



問3 貴社の従業員数と、令和2年度の新卒採用者数及び中途採用者数を教えてください。  
（数字を記入）

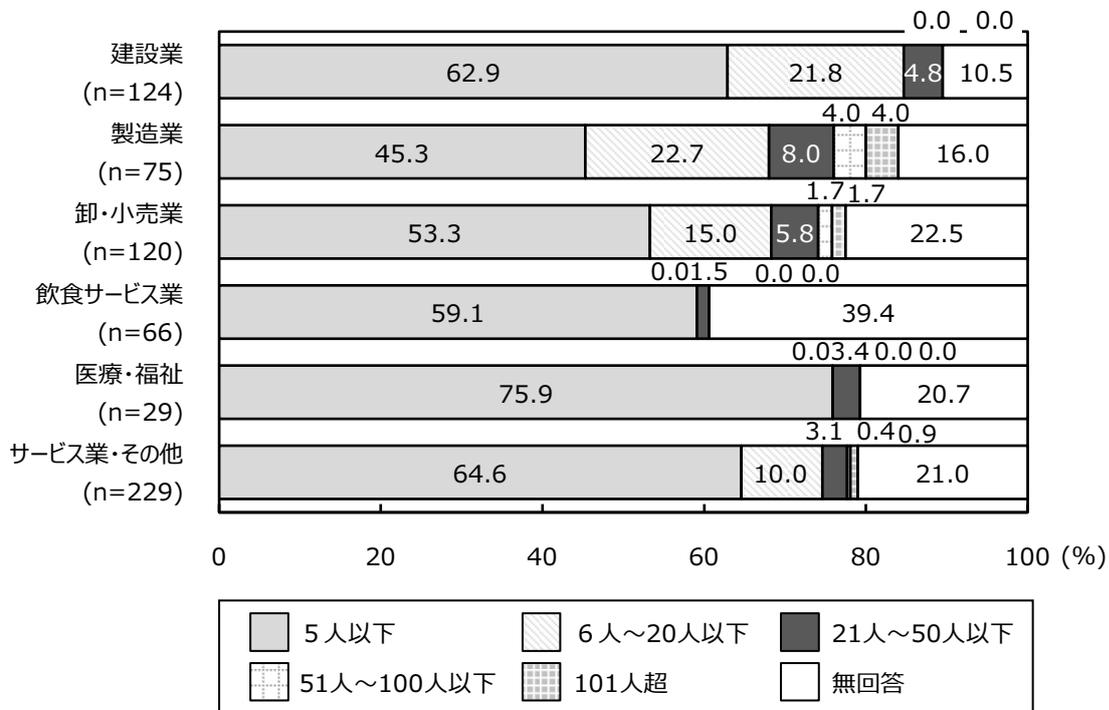
（1）従業員数

正社員については、「5人以下」が57.9%と最も高く、次いで、「6人～20人以下」が12.3%となっている。パート・アルバイトについては、無回答が40%以上となっているが、最も割合が高いのは「5人以下」で44.8%となっている。



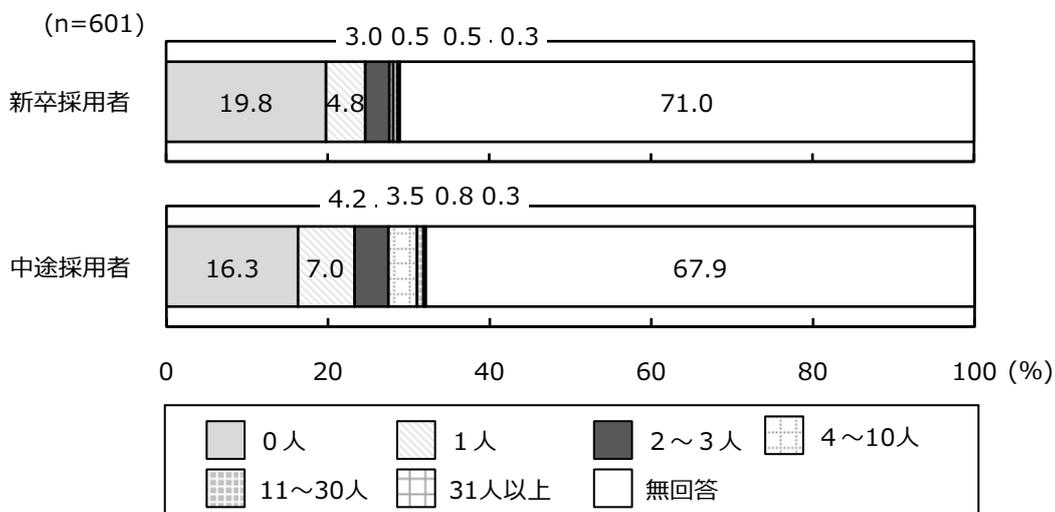
## 【クロス集計（産業分類別）】

正社員数について産業分類別でみると、いずれの区分においても「5人以下」が最も高く、《医療・福祉》での割合が最も高くなっている（75.9%）。《建設業》、《製造業》については「6～20人以下」の割合も比較的高く、20%台となっている（順に 21.8%、22.7%）。



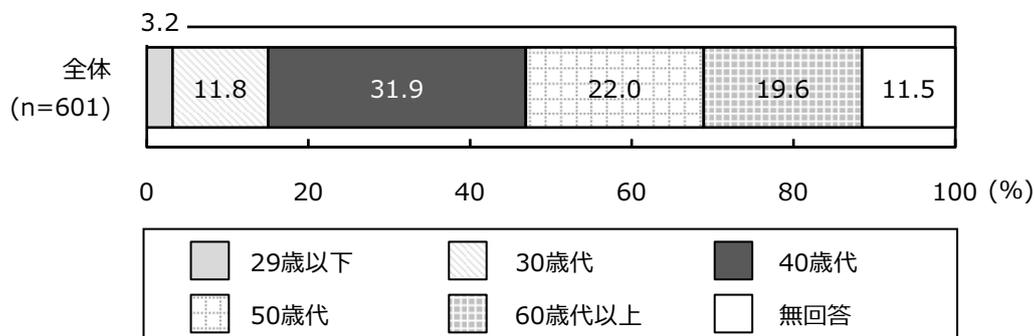
## （2）新卒・中途採用者

無回答が約 70%となっているが、《新卒採用者》、《中途採用者》ともに「0人」が最も多くなっている（順に 19.8%、16.3%）。



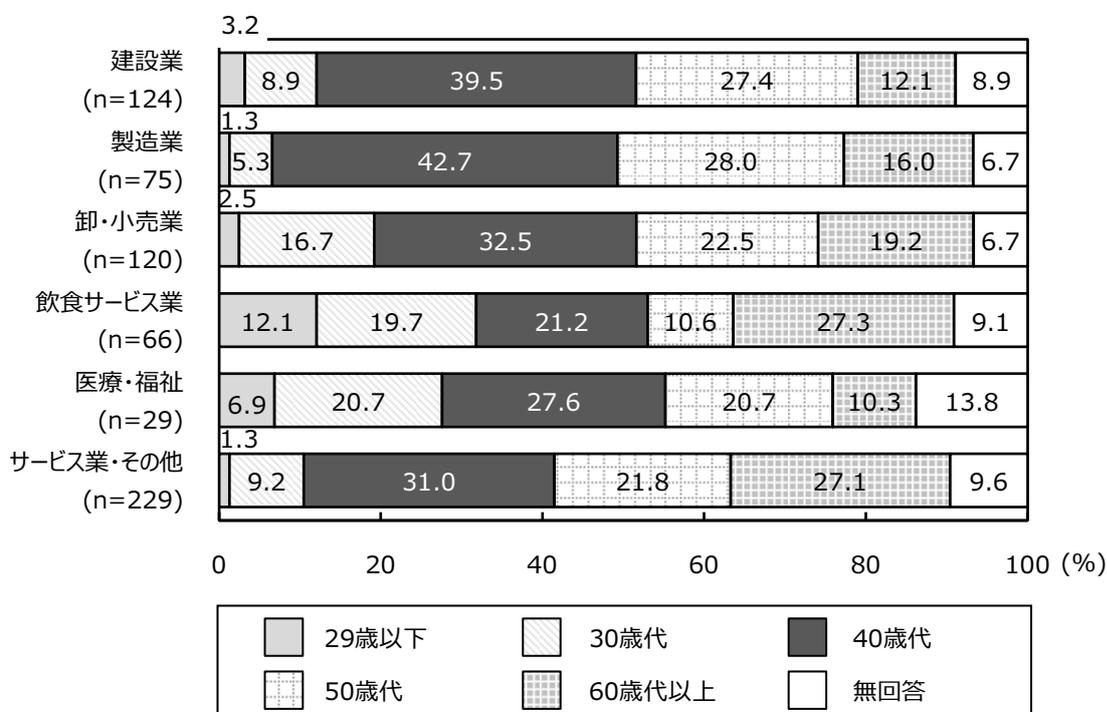
#### 問4 貴社の従業員の平均年齢は、次のどれにあたりますか。(単数回答)

「40歳代」が31.9%と最も高く、次いで、「50歳代」が22.0%、「60歳代以上」が19.6%となっている。



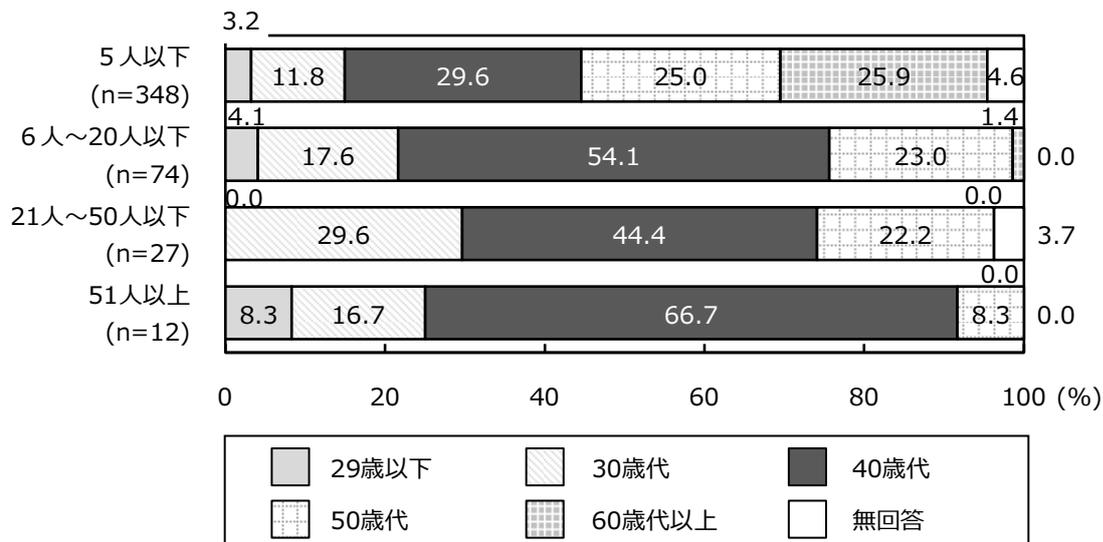
#### 【クロス集計（産業分類別）】

従業員の平均年齢を産業分類別でみると、「飲食サービス業」をのぞくすべての区分において「40歳代」が最も高く、「製造業」での割合が最も高くなっている（42.7%）。「飲食サービス業」、「サービス業・その他」については「60歳代以上」の割合も比較的高く、20%台となっている（順に27.3%、27.1%）。



## 【クロス集計（従業員規模別）】

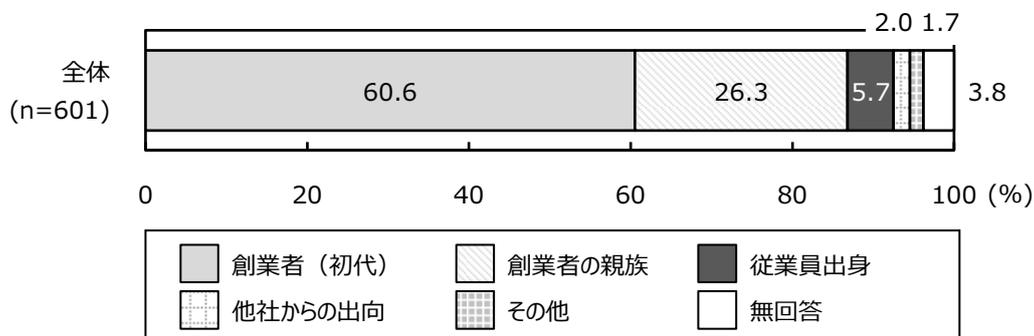
従業員の平均年齢を従業員規模別で見ると、いずれの区分においても「40歳代」が最も高く、「51人以上」での割合が最も高くなっている（66.7%）。《5人以下》、《6人～20人以下》、《21人～50人以下》では「50歳代」の割合も比較的高く、20%台となっている（順に 25.0%、23.0%、22.2%）。また、《5人以下》での「60歳以上」、《21人～50人以下》での「30歳代」の割合も 20%台となっている（順に 25.9%、29.6%）。



## 問5 貴社の経営者の方について教えてください。

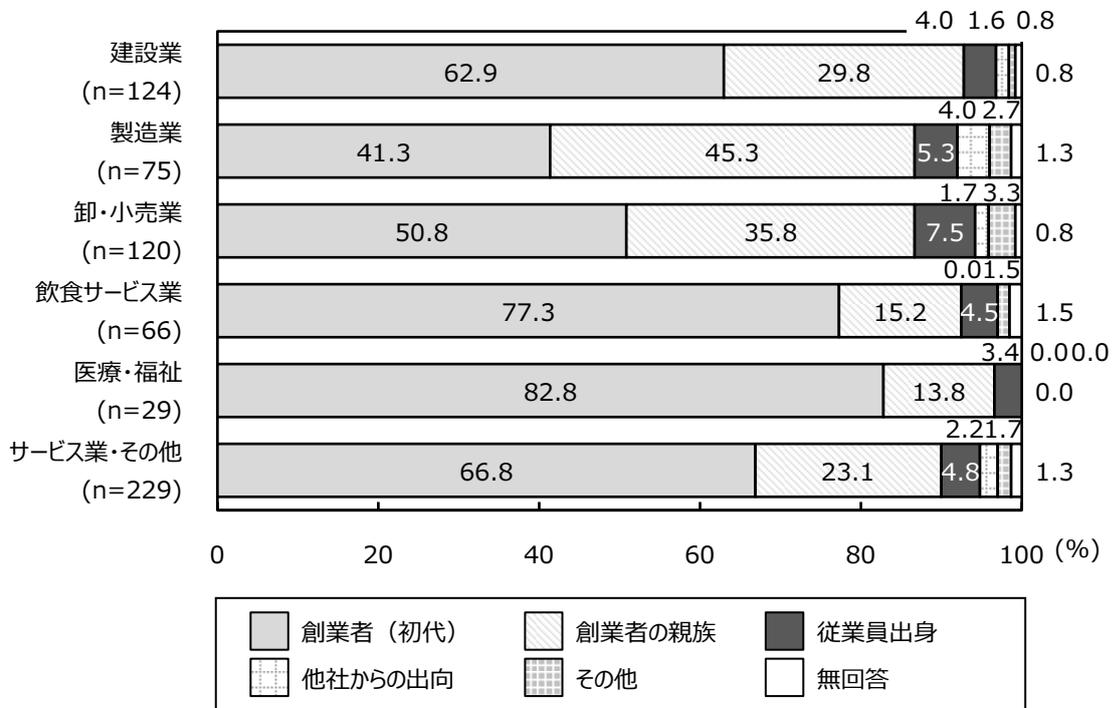
### （1）経営者の区分（単数回答）

「創業者（初代）」が 60.6%と最も高く、次いで、「創業者の親族」が 26.3%となっている。



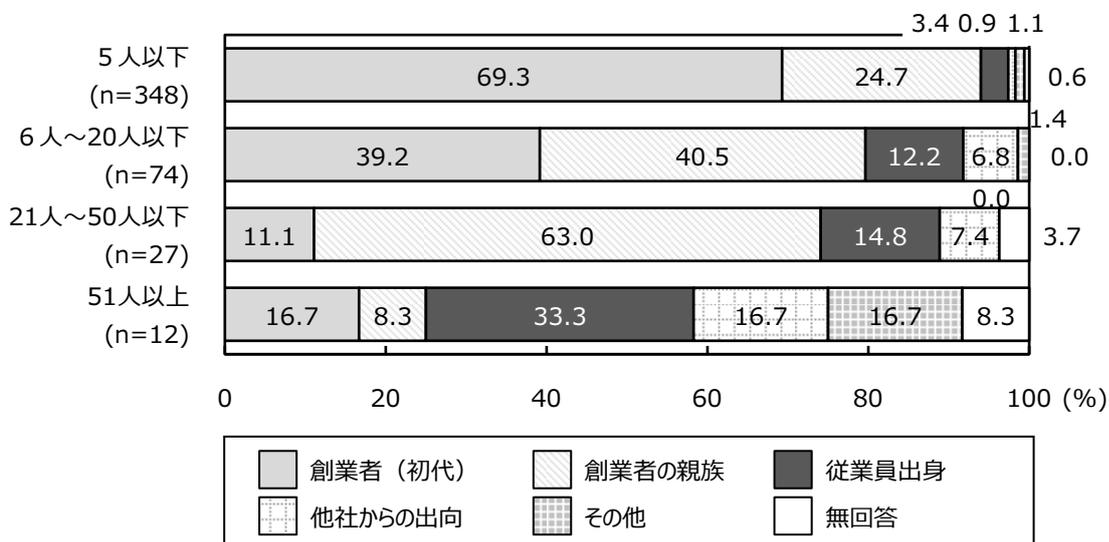
## 【クロス集計（産業分類別）】

経営者の区分を産業分類別で見ると、ほとんどの区分において「創業者（初代）」の割合が最も高くなっており、《医療・福祉》での割合が最も高くなっている（82.8%）。《製造業》については「創業者の親族」が最も高く、「創業者（初代）」とともに40%台となっている（順に45.3%、41.3%）。



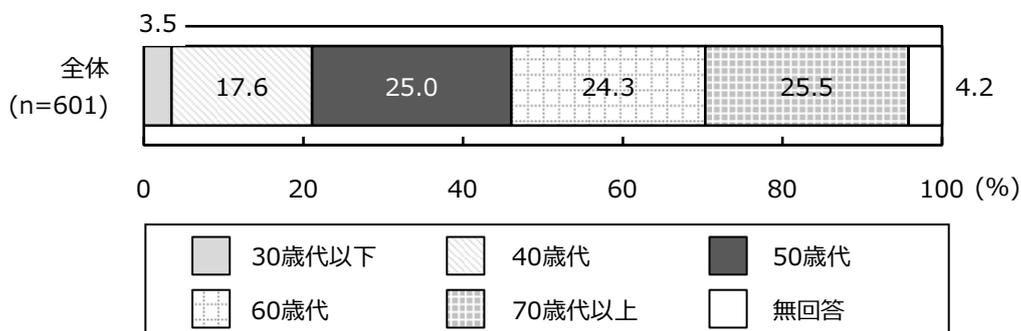
## 【クロス集計（従業員規模別）】

経営者の区分を従業員規模別で見ると、《5人以下》では「創業者（初代）」が最も高くなっている（69.3%）。《6人～20人以下》、《21人～50人以下》では「創業者の親族」（順に40.5%、63.0%）、《51人以上》では「従業員出身」（33.3%）が最も高くなっている。



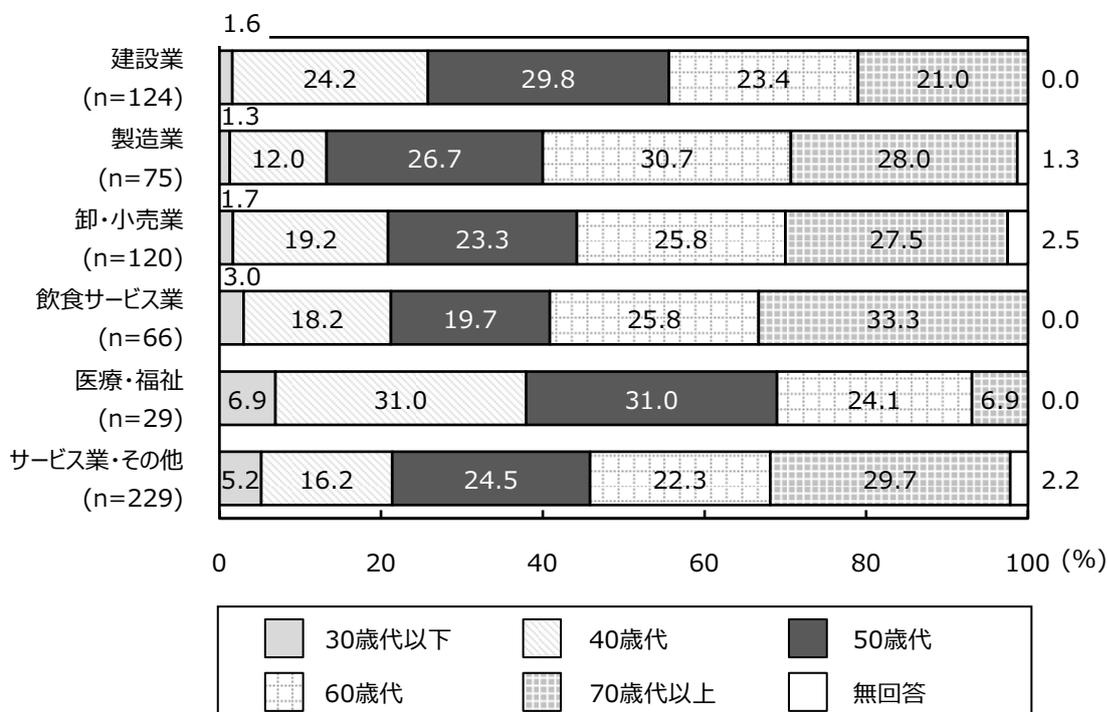
## (2) 経営者の年齢 (数字を記入)

「70 歳代以上」が 25.5%と最も高く、次いで、「50 歳代」が 25.0%、「60 歳代」が 24.3%となっている。



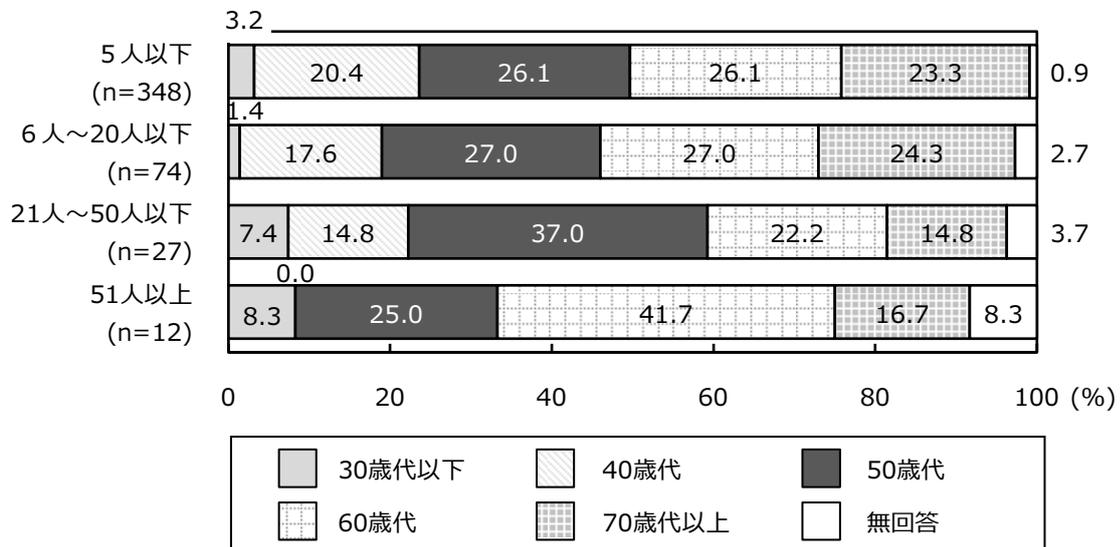
### 【クロス集計 (産業分類別)】

経営者の年齢を産業分類別でみると、多くの区分において「70 歳以上」が最も高くなっており、《飲食サービス業》での割合が最も高くなっている (33.3%)。《建設業》では「50 歳代」(29.8%)、《医療・福祉》では「40 歳代」と「50 歳代」(ともに 31.0%) が最も高くなっている。



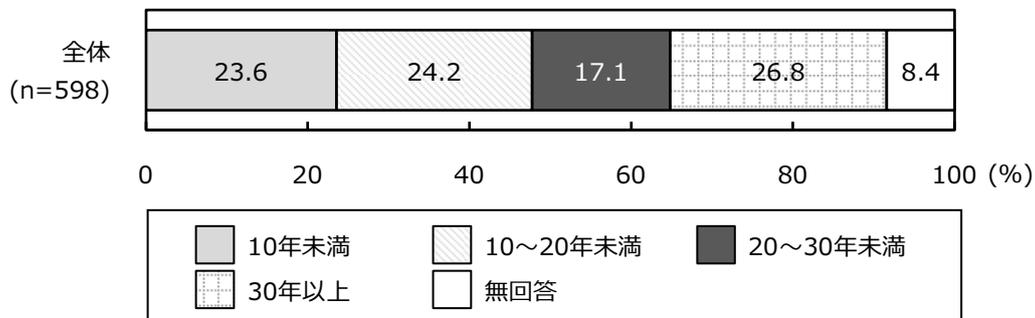
## 【クロス集計（従業員規模別）】

経営者の年齢を従業員規模別で見ると、《5人以下》では「50歳代」（順に26.1%）、「6人～20人以下」では「50歳代」と「60歳代」がともに最も高くなっている（27.0%で同率）。また、《21人～50人以下》では「50歳代」（37.0%）、「51人以上」では「60歳代」（41.7%）が最も高くなっている。



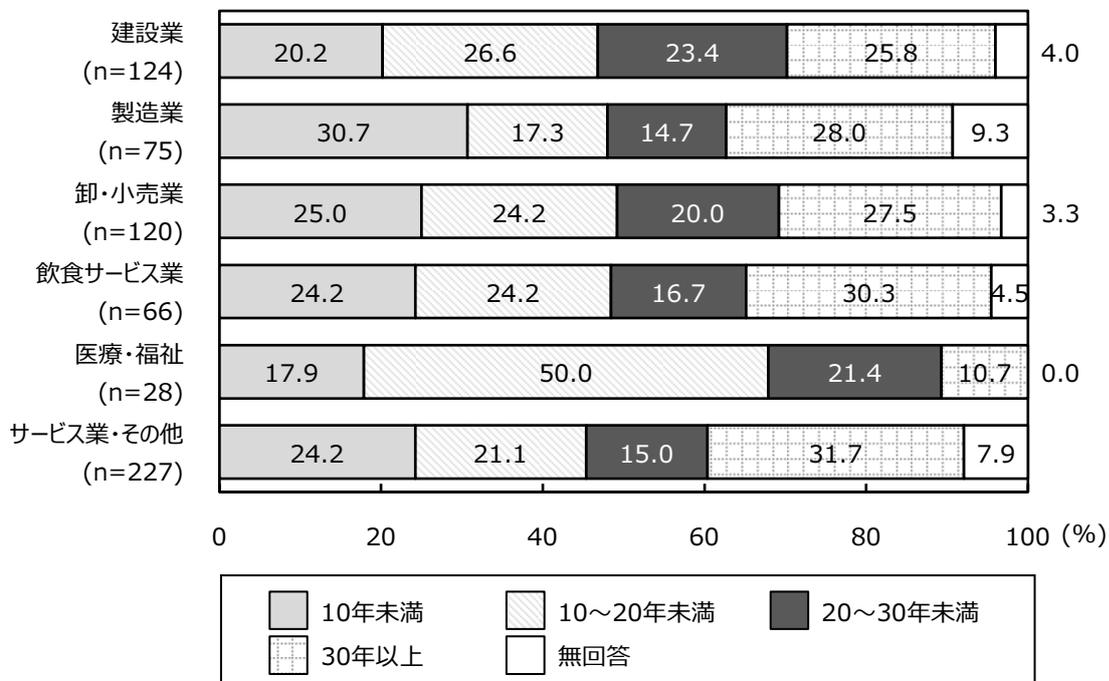
### (3) 経営者となってからの年数（数字を記入）

「30年以上」が26.8%と最も高く、次いで、「10～20年未満」が24.2%、「10年未満」が23.6%となっている。



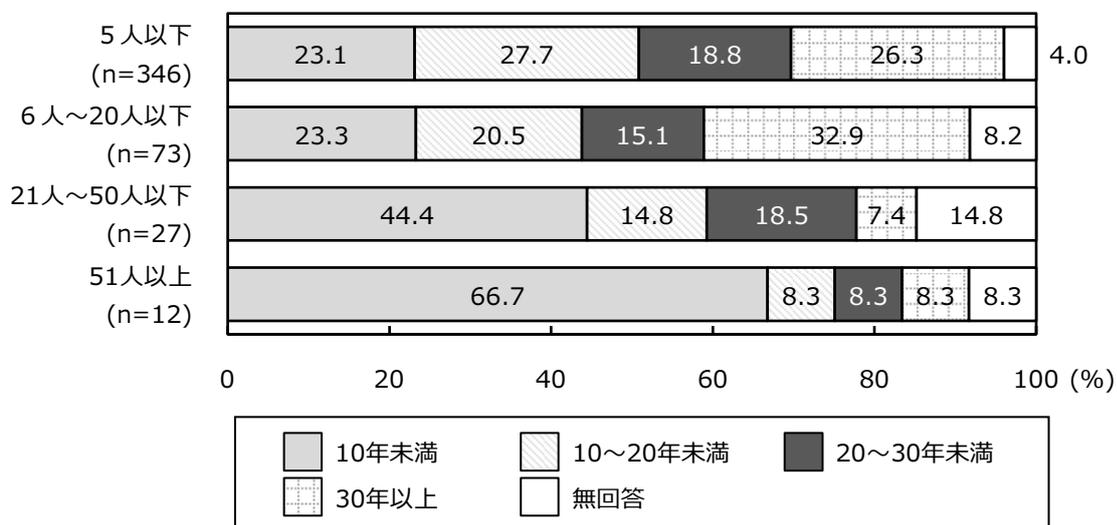
#### 【クロス集計（産業分類別）】

経営者となってからの年数を産業分類別で見ると、多くの区分において「30年以上」が最も高くなっており、《サービス業・その他》での割合が最も高くなっている（31.7%）。《建設業》、《医療・福祉》では「10～20年未満」（順に26.6%、50.0%）、《製造業》では「10年未満」（30.7%）が最も高くなっている。



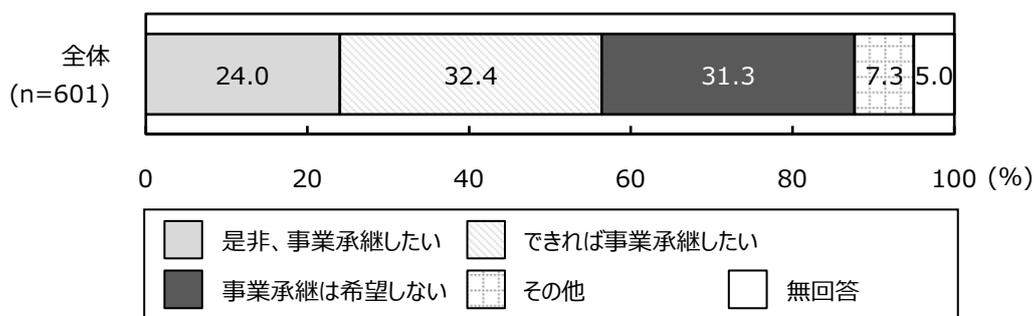
## 【クロス集計（従業員規模別）】

経営者となってからの年数を従業員規模別で見ると、「21人～50人以下」、「51人以上」では「10年未満」が最も高くなっている（順に44.4%、66.7%）。「5人以下」では「10～20年未満」（27.7%）、「6人～20人以下」では「30年以上」（32.9%）が最も高くなっている。



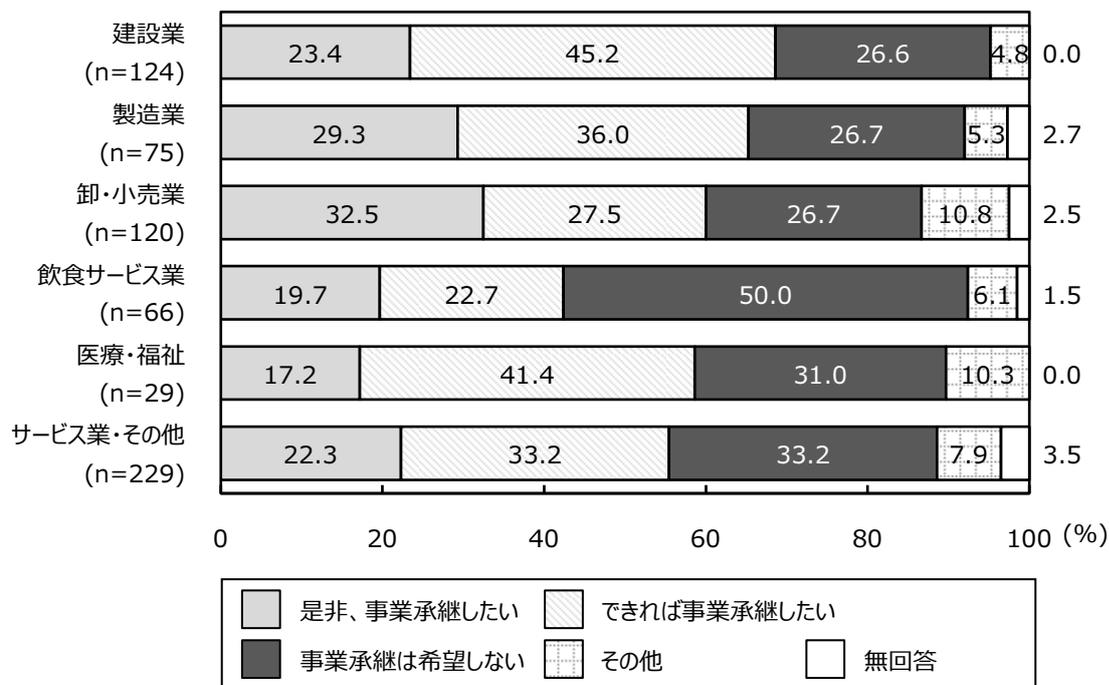
#### (4) 事業継承の意向 (単数回答)

「できれば事業承継したい」が 32.4%と最も高く、次いで、「事業承継は希望しない」が 31.3%、「是非、事業承継したい」が 24.0%となっており、『承継したい』（「是非、事業承継したい」+「できれば事業承継したい」）は 56.4%となっている。



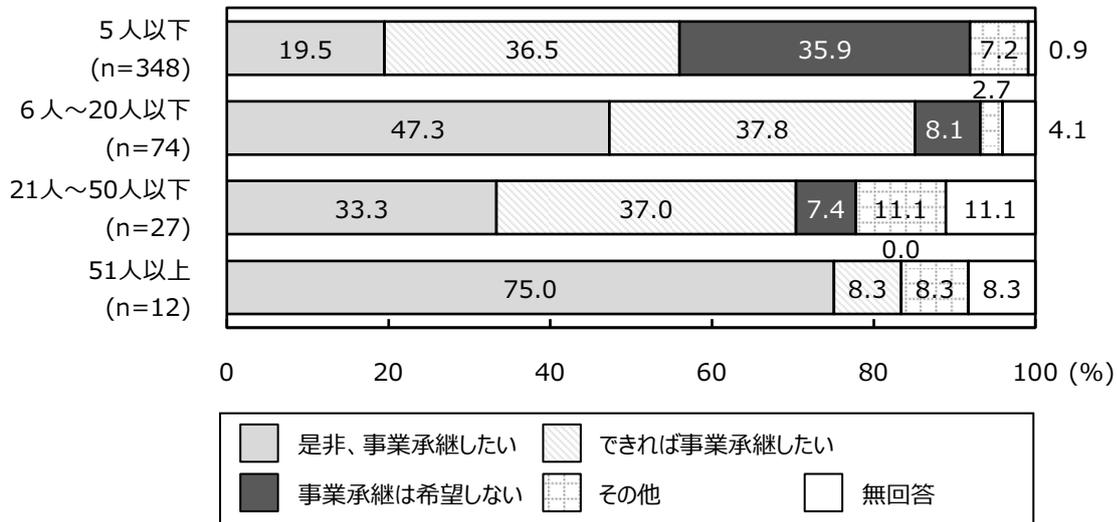
#### 【クロス集計 (産業分類別)】

事業継承の意向を産業分類別で見ると、『承継したい』の割合は《建設業》で最も高くなっている (68.6%)。『承継したい』と「事業承継は希望しない」の割合を比較すると、多くの区分において『承継したい』の方が高くなっているが、《飲食サービス業》については「事業承継は希望しない」の方が高くなっている。



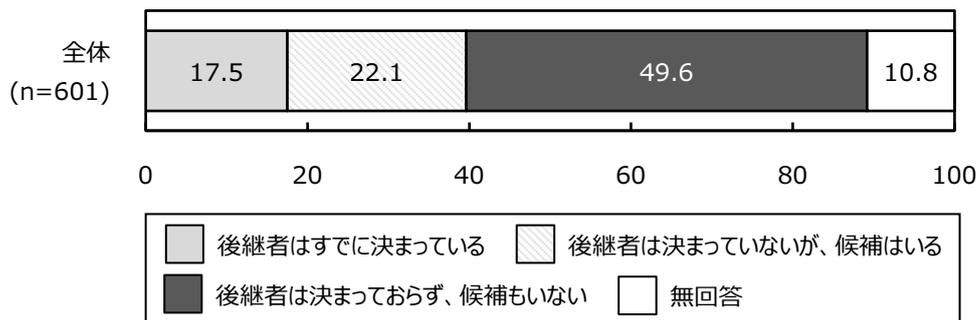
## 【クロス集計（従業員規模別）】

事業継承の意向を従業員規模別でみると、『承継したい』の割合は《6人～20人以下》で最も高くなっている（85.1%）。『承継したい』と「事業承継は希望しない」の割合を比較すると、いずれの区分においても『承継したい』の割合の方が高くなっている。



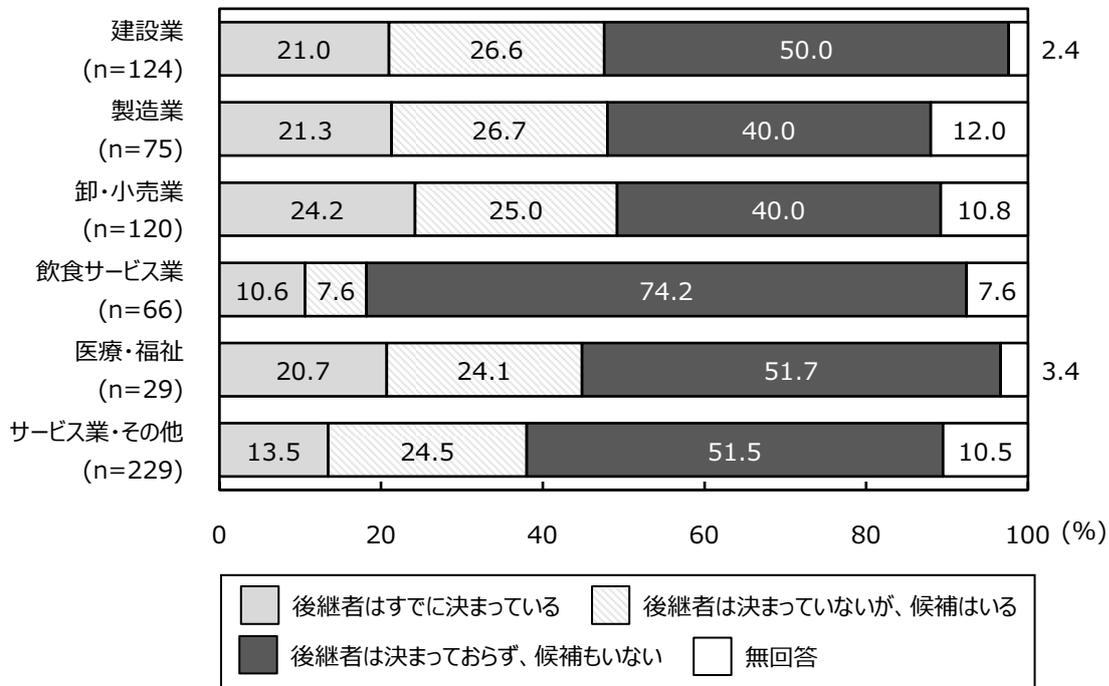
## （5）後継者の予定（単数回答）

「後継者は決まっておらず、候補もない」が 49.6%と最も高く、次いで、「後継者は決まっていないが、候補はある」が 22.1%、「後継者はすでに決まっている」が 17.5%となっている。



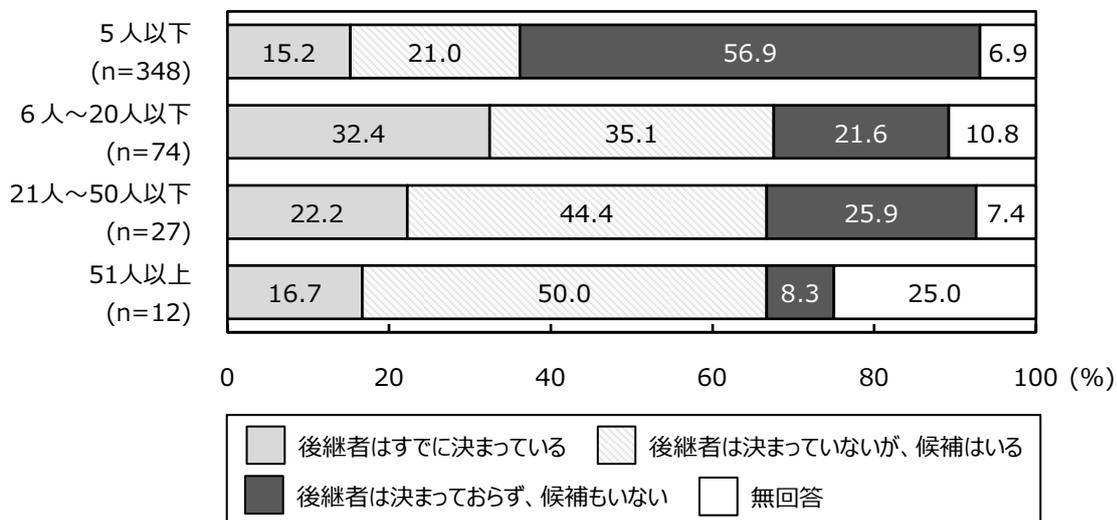
### 【クロス集計（産業分類別）】

後継者の予定を産業分類別でみると、いずれの区分においても「後継者は決まっておらず、候補もいない」が最も高くなっており、《飲食サービス業》での割合が最も高くなってきている（74.2%）。



### 【クロス集計（従業員規模別）】

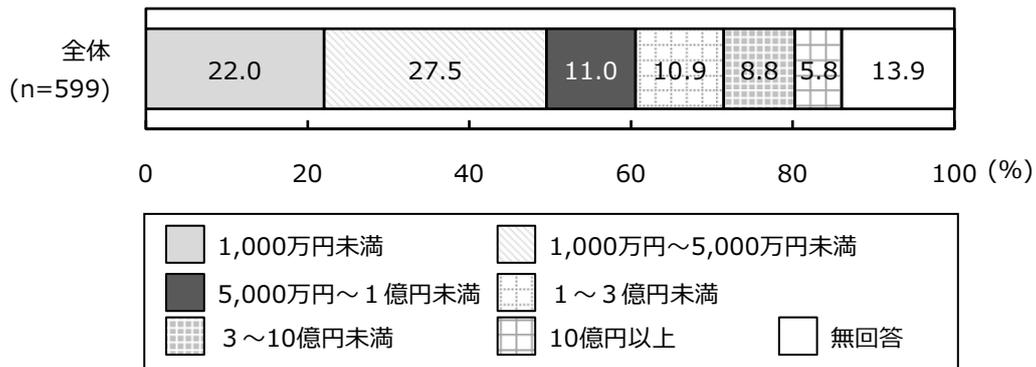
後継者の予定に従業員規模別でみると、《6人～20人以下》、《21人～50人以下》、《51人以上》では「後継者は決まっていないが、候補はある」が最も高くなっており、《51人以上》での割合が最も高くなってきている（50.0%）。《5人以下》では「後継者は決まっておらず、候補もいない」が最も高くなってきている（56.9%）。



## 2. 現在の事業の状況と見通しについて

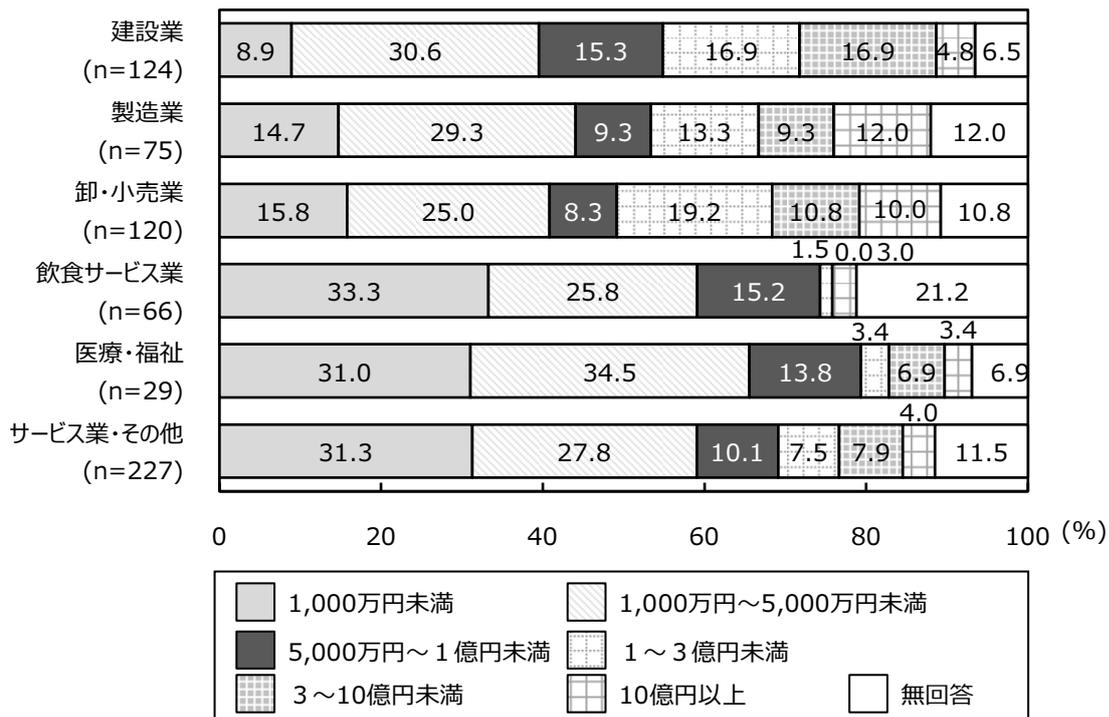
### 問6 貴社における昨年度又は直近決算期の売上高はどれくらいですか。(数字を記入)

「1,000万円～5,000万円未満」が27.5%と最も高く、次いで、「1,000万円未満」が22.0%、「5,000万円～1億円未満」が11.0%、「1～3億円未満」が10.9%となっている。



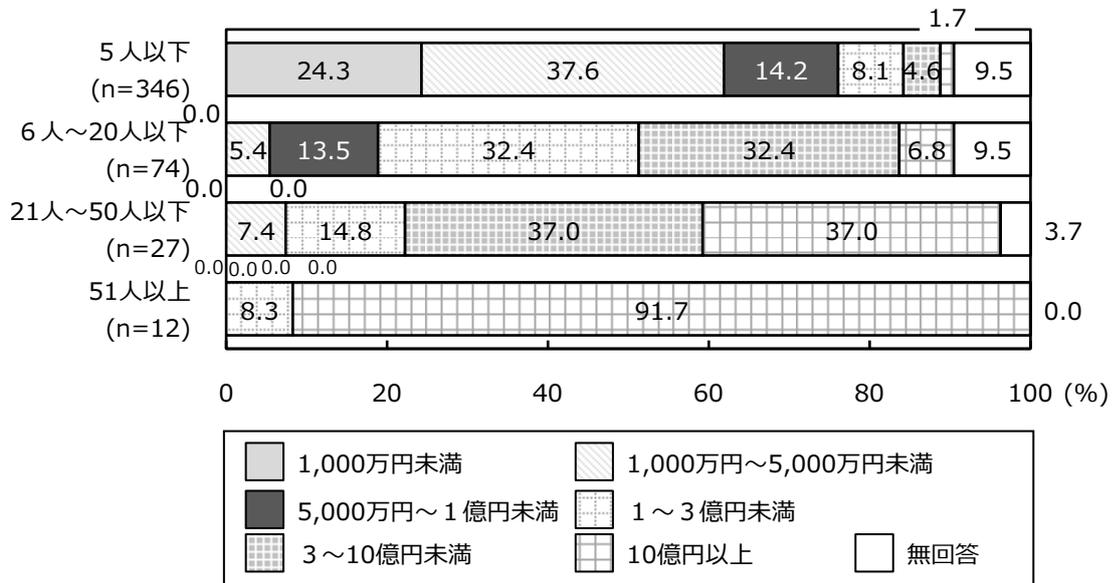
### 【クロス集計（産業分類別）】

昨年度又は直近決算期の売上高を産業分類別で見ると、多くの区分において「1,000万円～5,000万円未満」が最も高くなっており、《医療・福祉》での割合が最も高くなっている（34.5%）。《飲食サービス業》、《サービス業・その他》では「1,000万円未満」が最も高くなっている（順に33.3%、31.3%）。



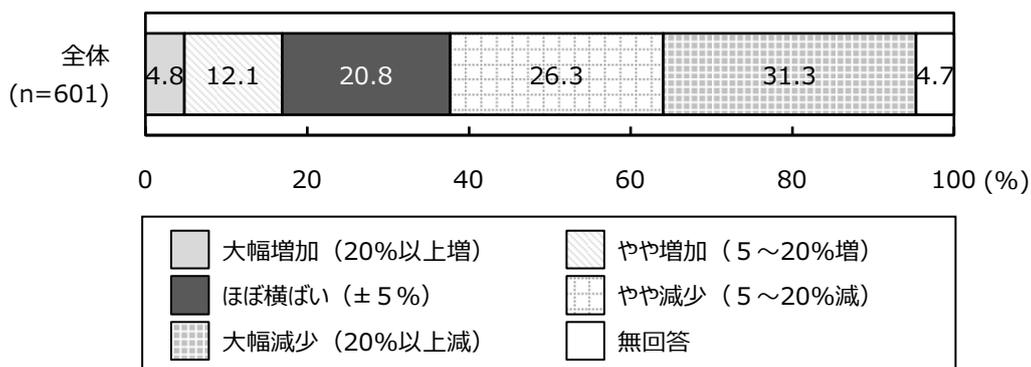
【クロス集計（従業員規模別）】

昨年度又は直近決算期の売上高を従業員規模別で見ると、《5人以下》では「1,000万円～5,000万円未満」が最も高く（37.6%）、《6人～20人以下》では「1～3億円未満」と「3～10億円未満」（ともに32.4%）、《21人～50人以下》では「3～10億円未満」と「10億円以上」（ともに37.0%）となっている。《51人以上》については「10億円以上」が91.7%となっている。



**問7 昨年度又は直近決算期の売上高は、3年前と比較してどのように変化していますか。**  
**(単数回答)**

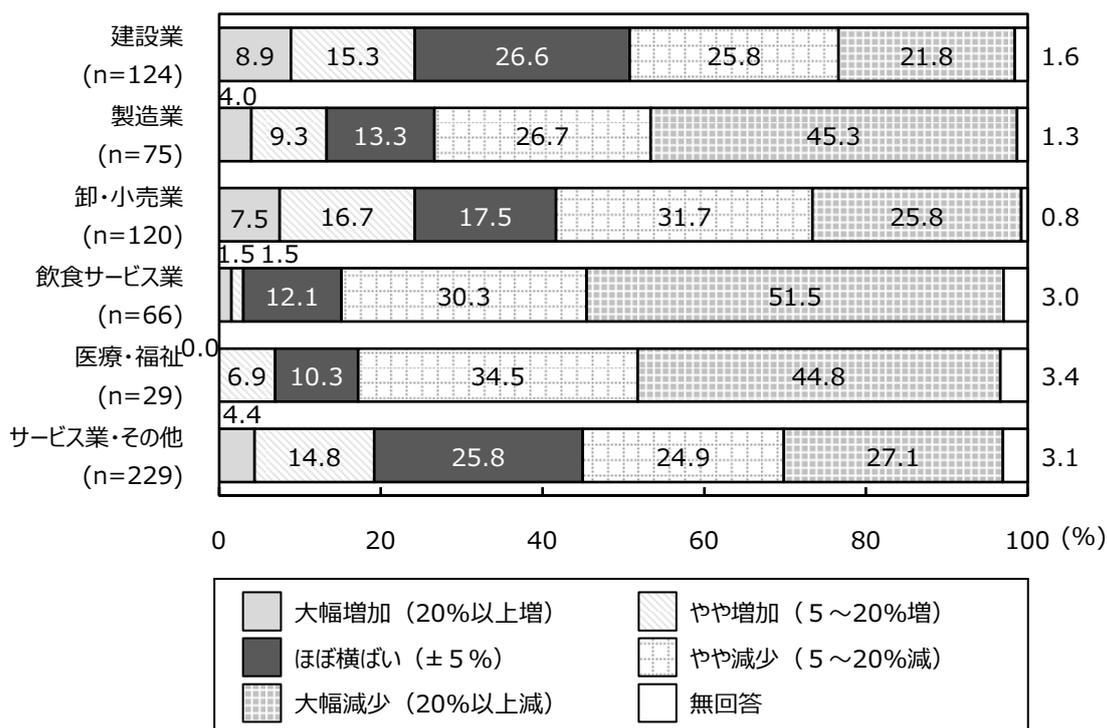
「大幅減少（20%以上減）」が31.3%と最も高く、次いで、「やや減少（5～20%減）」が26.3%、「ほぼ横ばい（±5%）」が20.8%となっており、『増加』（「大幅増加（20%以上増）」+「やや増加（5～20%増）」は16.9%、『減少』（「大幅減少（20%以上減）」+「やや減少（5～20%減）」は57.6%となっている。



**【クロス集計（産業分類別）】**

3年前の売上高との比較を産業分類別で見ると、多くの区分において「大幅減少（20%以上減）」が最も高くなっており、《飲食サービス業》での割合が最も高くなっている（51.5%）。《建設業》では「ほぼ横ばい（±5%）」（26.6%）、《卸・小売業》では「やや減少（5～20%減）」（31.7%）が最も高くなっている。

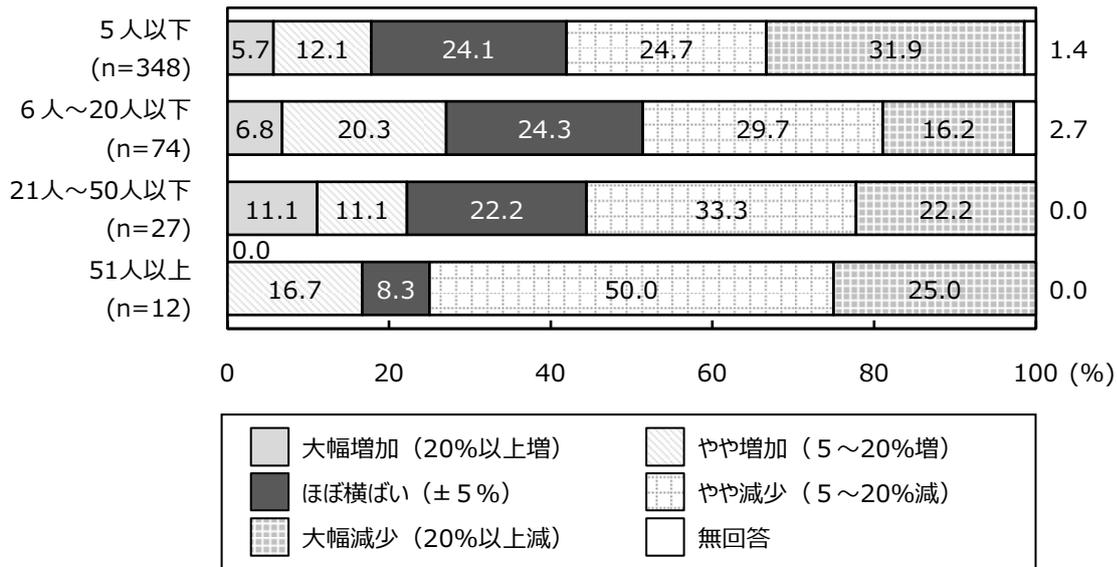
『増加』と「ほぼ横ばい」、『減少』を比較すると、いずれの区分においても『減少』が最も高くなっており、『減少』の割合は《飲食サービス業》で最も高くなっている（81.8%）。



## 【クロス集計（従業員規模別）】

3年前の売上高との比較を従業員規模別で見ると、多くの区分において「やや減少（5～20%減）」が最も高くなっており、《51人以上》での割合が最も高くなってきている（50.0%）。《5人以下》では「大幅減少（20%以上減）」が最も高くなってきている（31.9%）。

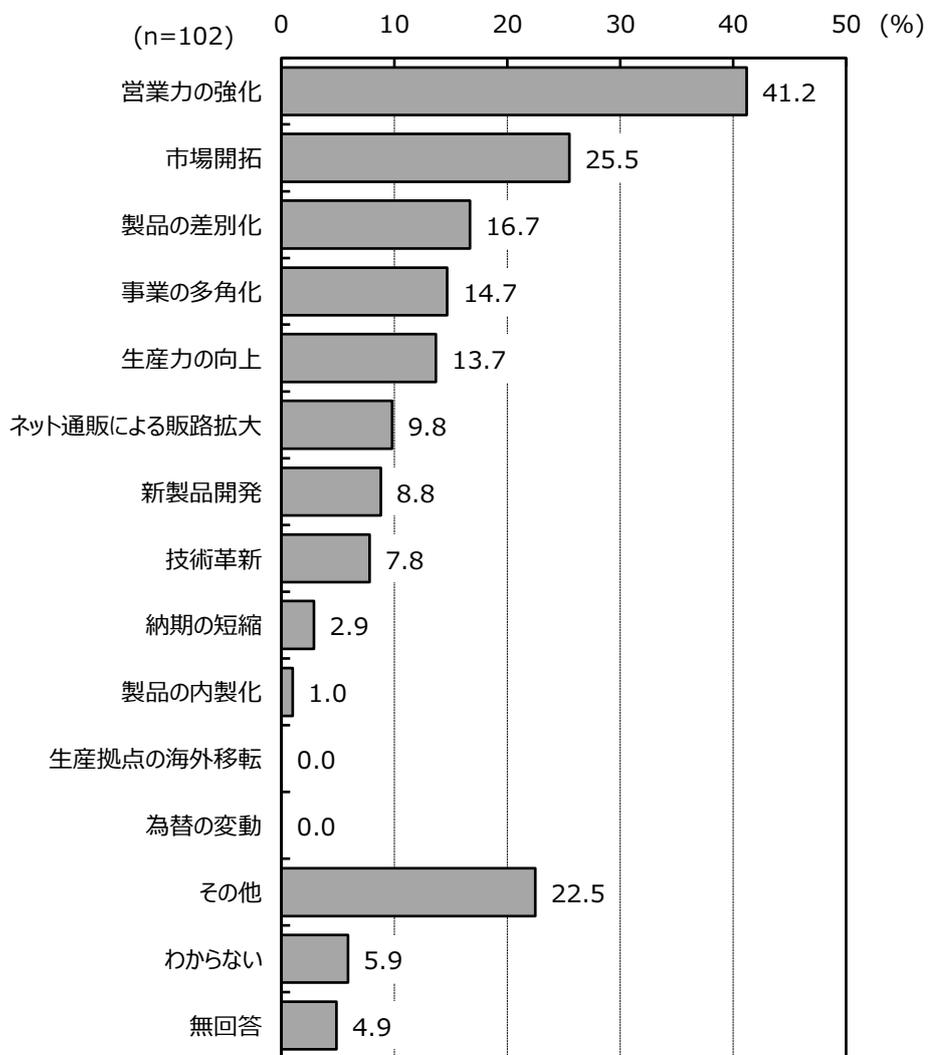
『増加』と「ほぼ横ばい」、『減少』の割合を比較すると、いずれの区分においても『減少』が最も高くなっており、《51人以上》での割合が最も高くなってきている（75.0%）。



## 問7で「大幅増加」又は「やや増加」と答えた方におたずねします

### 問7-1 売上高の増加の主な要因は何ですか。(複数回答(3つまで))

「営業力の強化」が41.2%と最も高く、次いで、「市場開拓」が25.5%、「製品の差別化」が16.7%となっている。



## 【クロス集計（産業分類別）】

売上高の増加の主な要因を産業分類別でみると、区分によって割合が最も高い回答は異なっているが、「営業力の強化」と回答する区分が多い傾向にある。

(単位：%)

	新製品開発	技術革新	市場開拓	納期の短縮	事業の多角化	製品の差別化	営業力の強化	製品の内製化
【産業別】								
建設業 (n=30)	-	10.0	26.7	3.3	16.7	6.7	60.0	-
製造業 (n=10)	20.0	10.0	40.0	10.0	-	30.0	30.0	-
卸・小売業 (n=29)	20.7	10.3	31.0	10.3	17.2	34.5	37.9	3.4
飲食サービス業 (n=2)	-	-	-	-	-	-	-	-
医療・福祉 (n=2)	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-
サービス業・その他 (n=44)	-	9.1	18.2	-	20.5	9.1	31.8	-

	生産力の向上	ネット通販による販路拡大	生産拠点の海外移転	為替の変動	その他	わからない	無回答
【産業別】							
建設業 (n=30)	20.0	-	-	-	13.3	6.7	3.3
製造業 (n=10)	30.0	20.0	-	-	30.0	-	-
卸・小売業 (n=29)	13.8	31.0	-	-	13.8	-	3.4
飲食サービス業 (n=2)	-	-	-	-	50.0	-	50.0
医療・福祉 (n=2)	-	-	-	-	-	-	-
サービス業・その他 (n=44)	13.6	6.8	-	-	25.0	9.1	4.5

## 【クロス集計（従業員規模別）】

売上高の増加の主な要因を従業員別でみると、いずれの区分においても「営業力の強化」が最も高くなっている。

(単位：%)

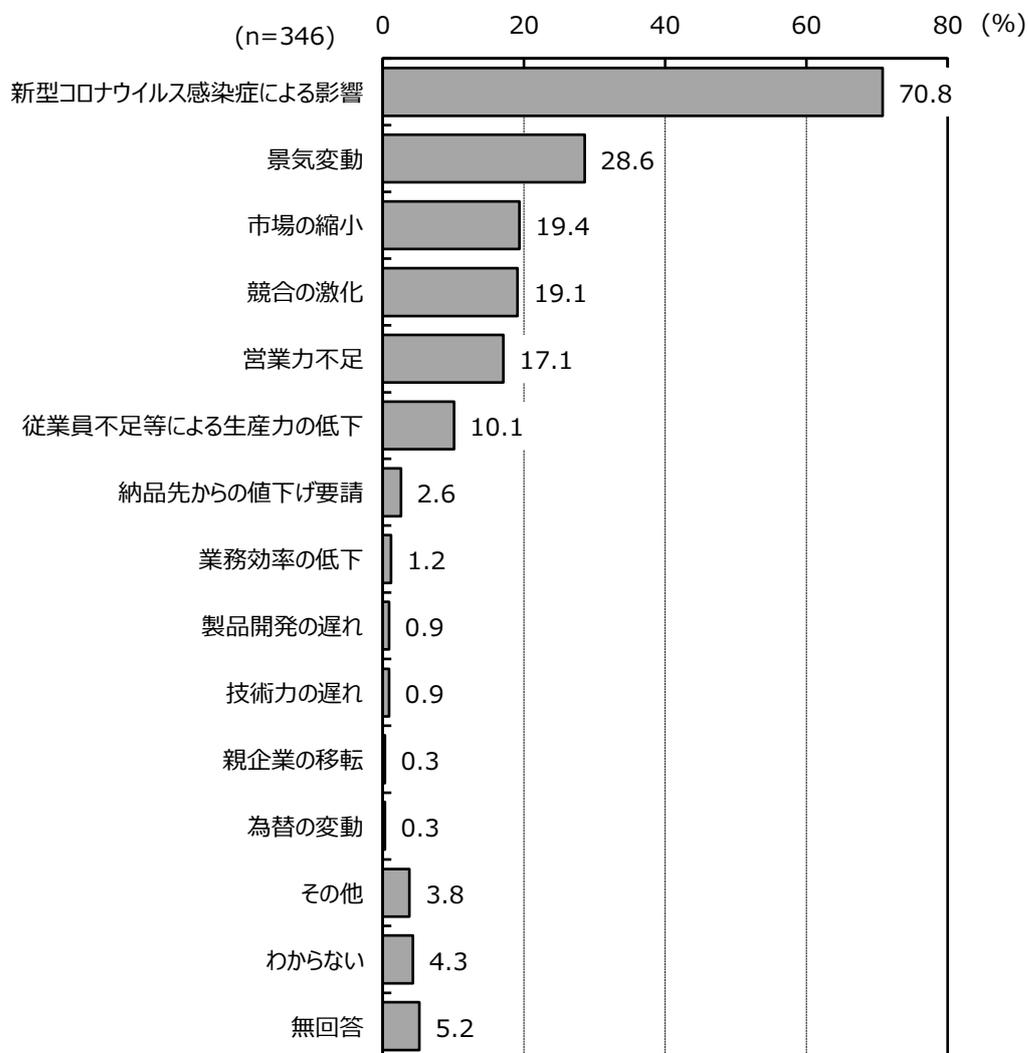
	新製品開発	技術革新	市場開拓	納期の短縮	事業の多角化	製品の差別化	営業力の強化	製品の内製化
【従業員規模別】								
5人以下 (n=62)	3.2	4.8	19.4	3.2	12.9	12.9	37.1	1.6
6人～20人以下 (n=20)	20.0	20.0	30.0	5.0	25.0	35.0	40.0	-
21人～50人以下 (n=6)	-	16.7	33.3	-	16.7	-	66.7	-
51人以上 (n=2)	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-

	生産力の向上	ネット通販による販路拡大	生産拠点の海外移転	為替の変動	その他	わからない	無回答
【従業員規模別】							
5人以下 (n=62)	14.5	11.3	-	-	27.4	4.8	8.1
6人～20人以下 (n=20)	25.0	10.0	-	-	15.0	-	-
21人～50人以下 (n=6)	-	-	-	-	33.3	16.7	-
51人以上 (n=2)	-	50.0	-	-	-	-	-

## 問7で「やや減少」又は「大幅減少」と答えた方におたずねします

### 問7-2 売上高の減少の主な要因は何ですか。(複数回答(3つまで))

「新型コロナウイルス感染症による影響」が70.8%と最も高く、次いで、「景気変動」が28.6%、「市場の縮小」が19.4%、「競合の激化」が19.1%となっている。



## 【クロス集計（産業分類別）】

売上高の減少の主な要因を産業分類別でみると、いずれの区分においても「新型コロナウイルス感染症による影響」の割合が最も高くなっており、《医療・福祉》での割合が最も高くなっている（95.7%）。

(単位：%)

	製品開発の遅れ	技術力の遅れ	市場の縮小	業務効率の低下	競争の激化	景気変動	親企業の移転	従業員不足等による生産力の低下
【産業別】								
建設業 (n=59)	-	-	13.6	-	25.4	35.6	-	23.7
製造業 (n=54)	1.9	-	31.5	1.9	13.0	44.4	-	9.3
卸・小売業 (n=69)	-	-	33.3	1.4	27.5	30.4	-	1.4
飲食サービス業 (n=54)	1.9	-	11.1	1.9	13.0	25.9	1.9	5.6
医療・福祉 (n=23)	-	-	13.0	-	17.4	17.4	-	4.3
サービス業・その他 (n=119)	0.8	2.5	14.3	2.5	16.0	22.7	-	10.9

	納品先からの値下げ要請	営業力不足	為替の変動	新型コロナウイルス感染症による影響	その他	わからない	無回答
【産業別】							
建設業 (n=59)	3.4	20.3	-	59.3	6.8	10.2	3.4
製造業 (n=54)	3.7	11.1	1.9	64.8	5.6	1.9	5.6
卸・小売業 (n=69)	-	21.7	-	71.0	2.9	2.9	2.9
飲食サービス業 (n=54)	-	11.1	-	85.2	-	1.9	9.3
医療・福祉 (n=23)	-	8.7	-	95.7	-	-	4.3
サービス業・その他 (n=119)	4.2	19.3	-	68.9	5.0	4.2	6.7

## 【クロス集計（従業員規模別）】

売上高の減少の主な要因を従業員規模別でみると、いずれの区分においても「新型コロナウイルス感染症による影響」が最も高くなっており、「21人～50人以下」での割合が最も高くなっている（93.3%）。

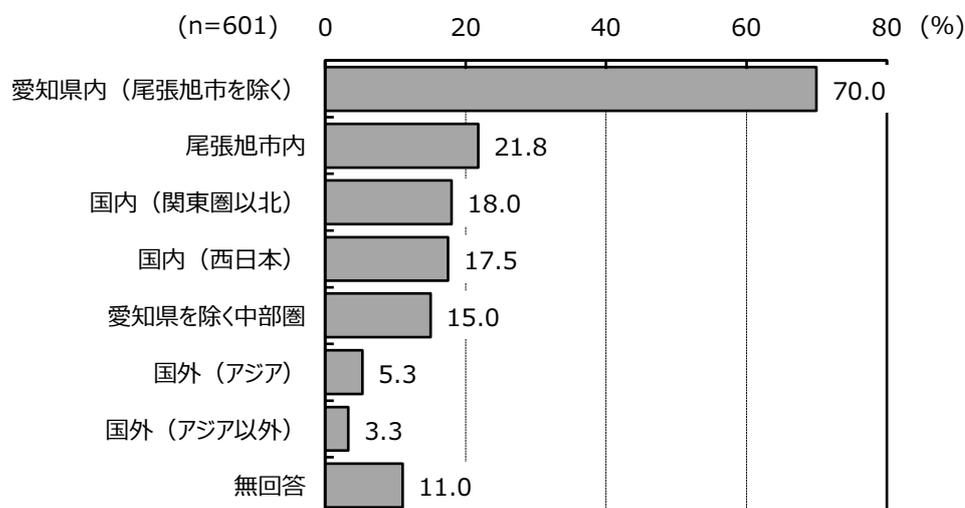
(単位：%)

	製品開発の遅れ	技術力の遅れ	市場の縮小	業務効率の低下	競争の激化	景気変動	親企業の移転	従業員不足等による生産力の低下
【従業員規模別】								
5人以下 (n=197)	1.0	1.5	18.8	1.0	20.3	25.4	0.5	10.2
6人～20人以下 (n=34)	2.9	-	26.5	-	35.3	38.2	-	20.6
21人～50人以下 (n=15)	-	-	33.3	-	13.3	33.3	-	26.7
51人以上 (n=9)	-	-	22.2	-	11.1	55.6	-	-

	納品先からの値下げ要請	営業力不足	為替の変動	新型コロナウイルス感染症による影響	その他	わからない	無回答
【従業員規模別】							
5人以下 (n=197)	3.0	18.3	0.5	73.6	2.5	5.6	3.6
6人～20人以下 (n=34)	5.9	17.6	-	70.6	-	-	5.9
21人～50人以下 (n=15)	-	6.7	-	93.3	-	-	-
51人以上 (n=9)	-	-	-	66.7	-	-	-

## 問8 現在、貴社の原材料や商品等の主な仕入れ先はどこですか。(複数回答)

「愛知県内（尾張旭市を除く）」が70.0%と最も高く、次いで、「尾張旭市内」が21.8%、「国内（関東圏以北）」が18.0%、「国内（西日本）」が17.5%となっている。



## 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

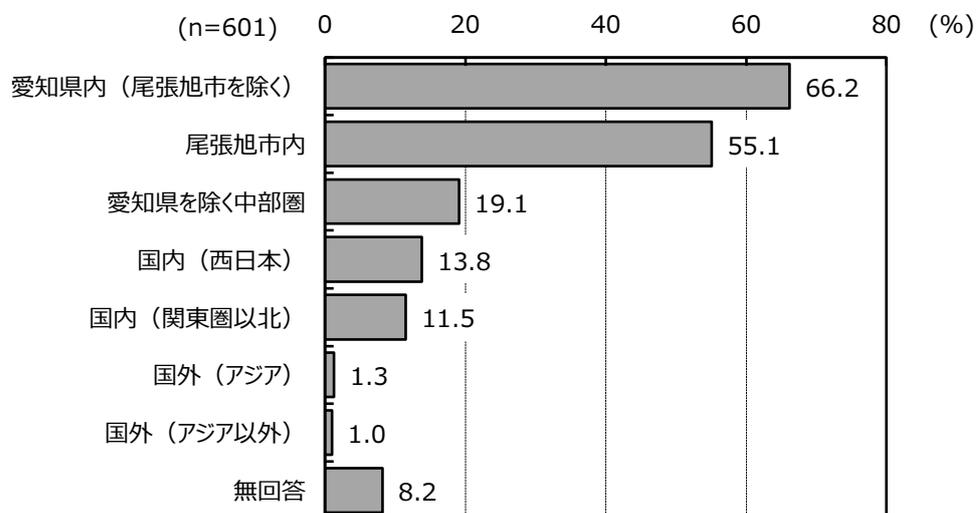
主な仕入れ先を産業分類別・従業員別でみると、いずれの区分も「愛知県内（尾張旭市を除く）」が最も高く、産業分類別では《建設業》、従業員規模別では《5人以下》の割合が最も高くなっている（順に 89.5%、74.1%）。

(単位: %)

	尾張旭市内	愛知県内 (尾張旭市を除く)	愛知県を除く 中部圏	国内(関東圏以北)	国内(西日本)	国外(アジア)	国外(アジア以外)	無回答
<b>【産業別】</b>								
建設業 (n=124)	26.6	89.5	14.5	10.5	10.5	0.8	-	0.8
製造業 (n=75)	12.0	80.0	28.0	22.7	26.7	10.7	4.0	-
卸・小売業 (n=120)	8.3	61.7	17.5	39.2	39.2	17.5	12.5	-
飲食サービス業 (n=66)	53.0	77.3	19.7	10.6	9.1	-	-	1.5
医療・福祉 (n=29)	13.8	69.0	10.3	17.2	24.1	-	3.4	20.7
サービス業・その他 (n=229)	22.7	63.3	11.4	15.3	12.7	2.2	1.7	18.8
<b>【従業員規模別】</b>								
5人以下 (n=348)	23.9	74.1	13.8	15.8	15.2	5.2	3.7	8.9
6人~20人以下 (n=74)	20.3	66.2	21.6	24.3	27.0	5.4	5.4	4.1
21人~50人以下 (n=27)	40.7	70.4	29.6	29.6	29.6	11.1	3.7	-
51人以上 (n=12)	8.3	66.7	25.0	41.7	50.0	16.7	8.3	8.3

## 問9 現在、貴社の製品・商品やサービス等の主な納入・販売先はどこですか。（複数回答）

「愛知県内（尾張旭市を除く）」が 66.2%と最も高く、次いで、「尾張旭市内」が 55.1%、「愛知県を除く中部圏」が 19.1%となっている。



### 【クロス集計（産業分類別）】

主な納入・販売先を産業分類別で見ると、いずれの区分においても「愛知県内（尾張旭市を除く）」、「尾張旭市内」が高い傾向にある。また、ほとんどの区分において「愛知県内（尾張旭市を除く）」が最も高くなっており、《建設業》での割合が最も高くなっている（84.7%）。《飲食サービス業》については「尾張旭市内」が最も高くなっている（80.3%）

(単位：%)

	尾張旭市内	愛知県内 (尾張旭市を除く)	愛知県を除く 中部圏	国内（関東圏以北）	国内（西日本）	国外（アジア）	国外（アジア以外）	無回答
<b>【産業別】</b>								
建設業 (n=124)	49.2	<b>84.7</b>	25.8	5.6	8.1	-	-	0.8
製造業 (n=75)	42.7	<b>80.0</b>	40.0	24.0	32.0	4.0	4.0	-
卸・小売業 (n=120)	62.5	<b>65.8</b>	25.0	29.2	33.3	3.3	1.7	1.7
飲食サービス業 (n=66)	<b>80.3</b>	43.9	1.5	1.5	1.5	-	-	9.1
医療・福祉 (n=29)	44.8	<b>62.1</b>	10.3	-	3.4	-	-	17.2
サービス業・その他 (n=229)	57.6	<b>63.8</b>	17.5	8.3	9.2	0.4	0.4	11.8

## 【クロス集計（従業員規模別）】

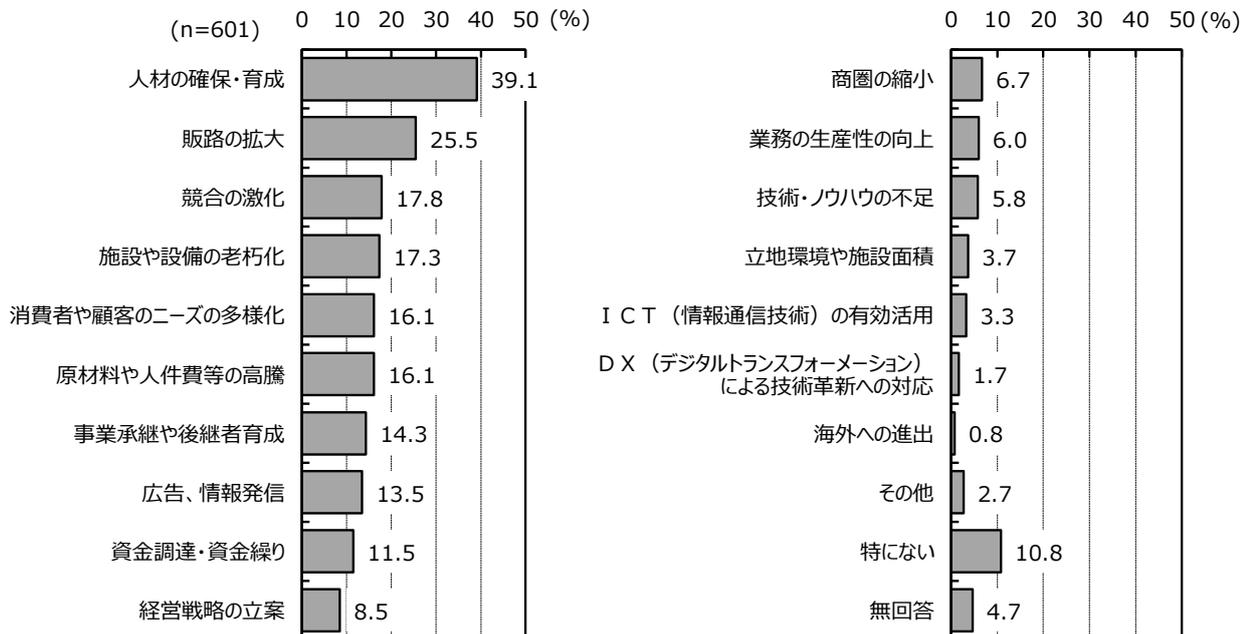
主な納入・販売先を従業員規模別でみると、いずれの区分においても「愛知県内（尾張旭市を除く）」、「尾張旭市内」が高い傾向にあるが、「21～50人以下」、「51人以上」では「愛知県を除く中部圏」も高くなっており（順に 55.6%、58.3%）、「51人以上」では「国内（西日本）」（58.3%）も高くなっている。また、ほとんどの区分において「愛知県内（尾張旭市を除く）」が最も高くなっており、「21～50人以下」での割合が最も高くなっている（88.9%）。

(単位：%)

	尾張旭市内	愛知県内 (尾張旭市を除く)	愛知県を除く 中部圏	国内（関東圏以北）	国内（西日本）	国外（アジア）	国外（アジア以外）	無回答
【従業員規模別】								
5人以下 (n=348)	55.5	71.0	16.1	10.3	11.8	1.1	0.9	4.9
6人～20人以下 (n=74)	51.4	74.3	28.4	16.2	23.0	-	-	2.7
21人～50人以下 (n=27)	63.0	88.9	55.6	25.9	29.6	7.4	3.7	-
51人以上 (n=12)	41.7	83.3	58.3	41.7	58.3	16.7	16.7	8.3

## 問 10 貴社は事業を実施するにあたって、どのような課題がありますか。（複数回答（3つまで））

「人材の確保・育成」が 39.1%と最も高く、次いで、「販路の拡大」が 25.5%、「競合の激化」が 17.8%、「施設や設備の老朽化」が 17.3%、となっている。



## 【クロス集計（産業分類別）】

事業実施にあたっての課題を産業分類別で見ると、ほとんどの区分において「人材の確保・育成」が最も高くなっており、《建設業》での割合が最も高くなっている（62.9%）。《卸・小売業》では「販路の拡大」（35.8%）、《飲食サービス業》では「施設や設備の老朽化」（33.3%）が最も高くなっている。

(単位：%)

	販路の拡大	事業承継や後継者育成	人材の確保・育成	施設や設備の老朽化	広告、情報発信	経営戦略の立案	資金調達・資金繰り	立地環境や施設面積	技術・ノウハウの不足	競合の激化
【産業別】										
建設業 (n=124)	23.4	24.2	62.9	10.5	11.3	8.9	11.3	1.6	6.5	20.2
製造業 (n=75)	28.0	21.3	37.3	32.0	8.0	8.0	10.7	4.0	14.7	13.3
卸・小売業 (n=120)	35.8	7.5	33.3	15.0	20.0	13.3	12.5	4.2	4.2	20.0
飲食サービス業 (n=66)	16.7	4.5	24.2	33.3	15.2	4.5	10.6	15.2	1.5	9.1
医療・福祉 (n=29)	27.6	10.3	41.4	13.8	13.8	10.3	13.8	-	3.4	34.5
サービス業・その他 (n=229)	27.1	14.4	33.6	15.7	13.5	7.9	12.2	2.2	7.0	17.5

	商圏の縮小	消費者や顧客のニーズの多様化	原材料や人件費等の高騰	業務の生産性の向上	海外への進出	ICT（情報通信技術）の有効活用	DX（デジタルトランスフォーメーション）による技術革新への対応	その他	特になし	無回答
【産業別】										
建設業 (n=124)	4.0	9.7	17.7	8.1	-	2.4	1.6	2.4	6.5	2.4
製造業 (n=75)	9.3	16.0	21.3	12.0	1.3	1.3	4.0	1.3	5.3	-
卸・小売業 (n=120)	13.3	30.8	19.2	4.2	2.5	5.0	0.8	3.3	11.7	0.8
飲食サービス業 (n=66)	6.1	16.7	31.8	7.6	-	3.0	1.5	-	12.1	9.1
医療・福祉 (n=29)	6.9	17.2	20.7	-	-	3.4	3.4	6.9	13.8	3.4
サービス業・その他 (n=229)	4.8	16.2	7.4	4.8	0.4	3.9	1.3	2.2	12.7	4.8

## 【クロス集計（従業員規模別）】

事業実施にあたっての課題を従業員規模別で見ると、いずれの区分においても「人材の確保・育成」が最も高くなっており、《6人～20人以下》での割合が最も高くなっている（67.6%）。また、ほとんどの区分において「販路の拡大」が2番目に高くなっているが、《21人～50人以下》では「原材料や人件費等の高騰」が2番目に高くなっている。

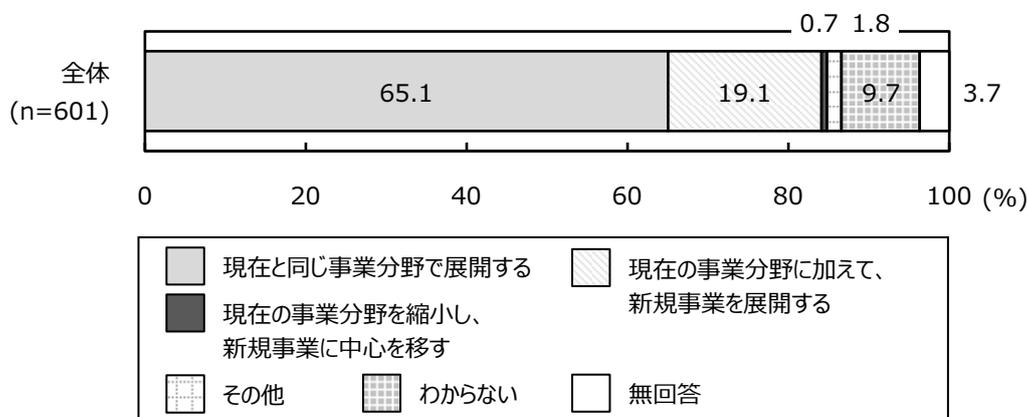
(単位：%)

	販路の拡大	事業承継や後継者育成	人材の確保・育成	施設や設備の老朽化	広告、情報発信	経営戦略の立案	資金調達・資金繰り	立地環境や施設面積	技術・ノウハウの不足	競合の激化
【従業員規模別】										
5人以下 (n=348)	28.4	12.6	37.9	17.5	17.0	8.6	13.5	2.6	6.3	17.2
6人～20人以下 (n=74)	35.1	25.7	67.6	12.2	5.4	9.5	9.5	6.8	6.8	16.2
21人～50人以下 (n=27)	18.5	22.2	66.7	25.9	3.7	3.7	3.7	11.1	11.1	25.9
51人以上 (n=12)	41.7	25.0	58.3	25.0	8.3	-	-	8.3	8.3	33.3

	商圏の縮小	消費者や顧客のニーズの多様化	原材料や人件費等の高騰	業務の生産性の向上	海外への進出	ICT（情報通信技術）の有効活用	DX（デジタルトランスフォーメーション）による技術革新への対応	その他	特になし	無回答
【従業員規模別】										
5人以下 (n=348)	7.8	15.8	12.1	4.9	0.9	2.0	1.1	2.0	11.2	2.0
6人～20人以下 (n=74)	6.8	18.9	18.9	10.8	-	4.1	2.7	2.7	-	1.4
21人～50人以下 (n=27)	3.7	7.4	51.9	7.4	-	7.4	3.7	3.7	-	-
51人以上 (n=12)	-	33.3	16.7	25.0	16.7	-	16.7	-	-	-

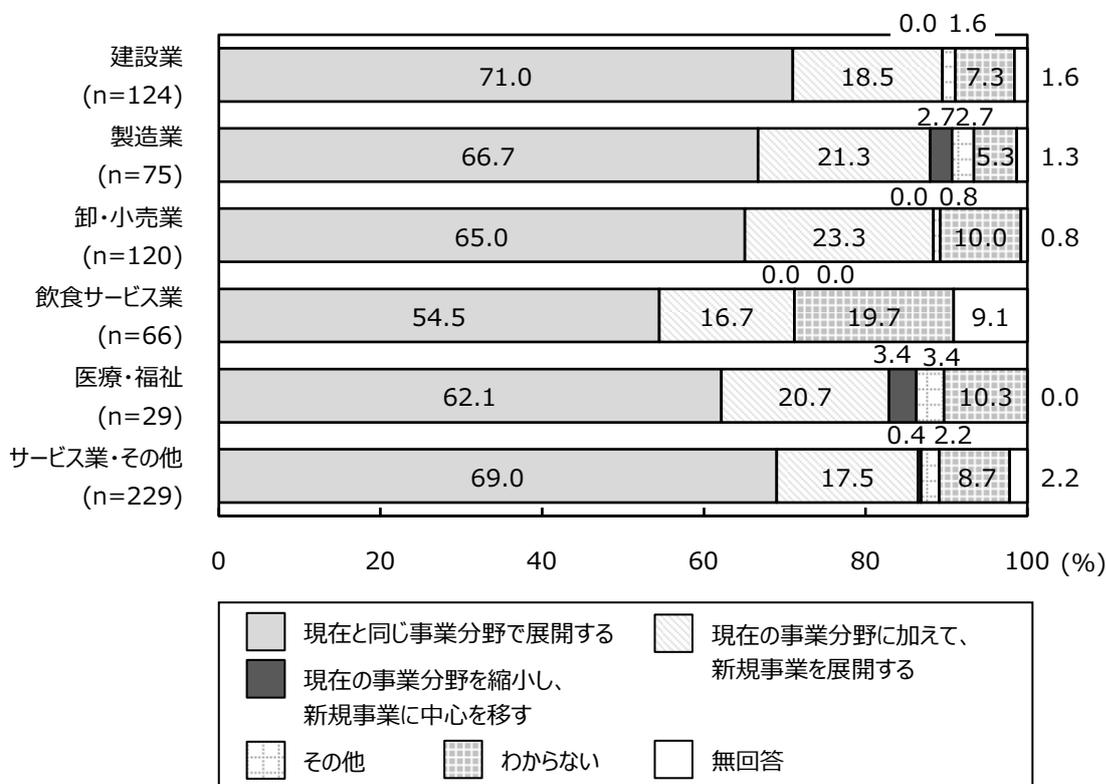
**問 11 貴社は、これから（今後3年程度）の事業展開をどのように考えていますか。（単数回答）**

「現在と同じ事業分野で展開する」が 65.1%と最も高く、次いで、「現在の事業分野に加えて、新規事業を展開する」が 19.1%となっている。



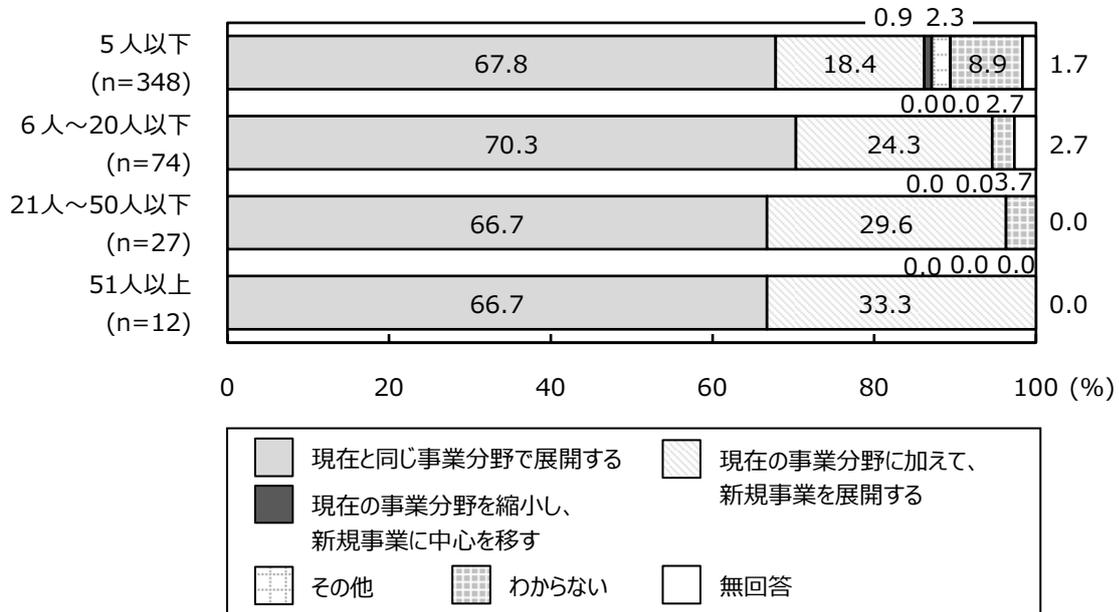
**【クロス集計（産業分類別）】**

今後3年程度の事業展開を産業分類別でみると、いずれの区分においても「現在と同じ事業分野で展開する」が最も高く、《建設業》での割合が最も高くなっている（71.0%）。



## 【クロス集計（従業員規模別）】

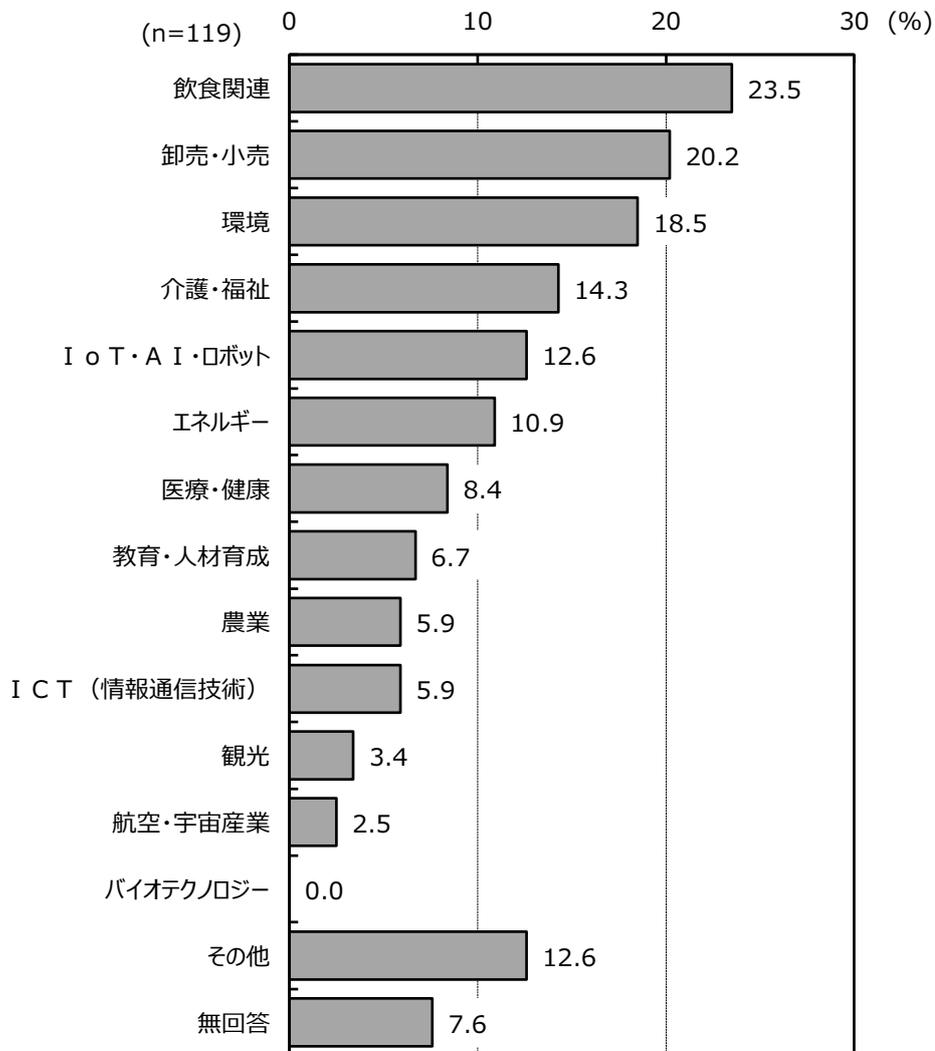
今後3年程度の事業展開を従業員規模別で見ると、いずれの区分においても「現在と同じ事業分野で展開する」が最も高く、《6人～20人以下》での割合が最も高くなっている（70.3%）。



**問 11 で「現在の事業分野に加えて、新規事業を展開する」又は「現在の事業分野を縮小し、新規事業に中心を移す」と答えた方におたずねします**

**問 11-1 今後、取り組みたい新規事業等の分野は何ですか。（複数回答（3つまで））**

「飲食関連」が 23.5%と最も高く、次いで、「卸売・小売」が 20.2%、「環境」が 18.5%となっている。



## 【クロス集計（産業分類別）】

取り組みたい新規事業等の分野を産業分類別で見ると、《建設業》では「環境」（34.8%）、《製造業》では「環境」、「エネルギー」、「I o T・A I・ロボット」、「飲食関連」（ともに 22.2%）、《卸・小売業》、《サービス業・その他》では「卸売・小売」（順に 21.4%、24.4%）、《飲食サービス業》では「飲食関連」（81.8%）が最も高くなっている。《医療・福祉》については回答者数が少なくなっているが、「介護・福祉」という回答が最も多くなっている。

(単位：%)

	医療・健康	介護・福祉	農業	環境	エネルギー	バイオテクノロジー	I C T (情報通信技術)	I o T・A I・ロボット
【産業別】								
建設業 (n=23)	8.7	17.4	21.7	34.8	17.4	-	-	8.7
製造業 (n=18)	5.6	-	11.1	22.2	22.2	-	11.1	22.2
卸・小売業 (n=28)	14.3	17.9	-	14.3	3.6	-	3.6	7.1
飲食サービス業 (n=11)	-	9.1	-	9.1	-	-	9.1	-
医療・福祉 (n=7)	42.9	71.4	-	-	-	-	-	-
サービス業・その他 (n=41)	-	12.2	2.4	19.5	12.2	-	9.8	14.6

	航空・宇宙産業	教育・人材育成	観光	飲食関連	卸売・小売	その他	無回答
【産業別】							
建設業 (n=23)	-	-	8.7	26.1	4.3	13.0	4.3
製造業 (n=18)	5.6	11.1	-	22.2	11.1	16.7	11.1
卸・小売業 (n=28)	3.6	3.6	3.6	17.9	21.4	21.4	7.1
飲食サービス業 (n=11)	-	-	-	81.8	54.5	-	-
医療・福祉 (n=7)	-	-	-	14.3	14.3	-	-
サービス業・その他 (n=41)	4.9	12.2	2.4	12.2	24.4	4.9	12.2

## 【クロス集計（従業員規模別）】

取り組みたい新規事業等の分野を従業員規模別でみると、《5人以下》では「飲食関連」（25.4%）、《6人～20人以下》では「環境」（33.3%）、《21人～50人以下》では「卸売・小売」（37.5%）が最も高くなっている。《51人以上》については回答者数が少なくなっているが、「医療・健康」、「IoT・AI・ロボット」という回答が最も多くなっている。

(単位：%)

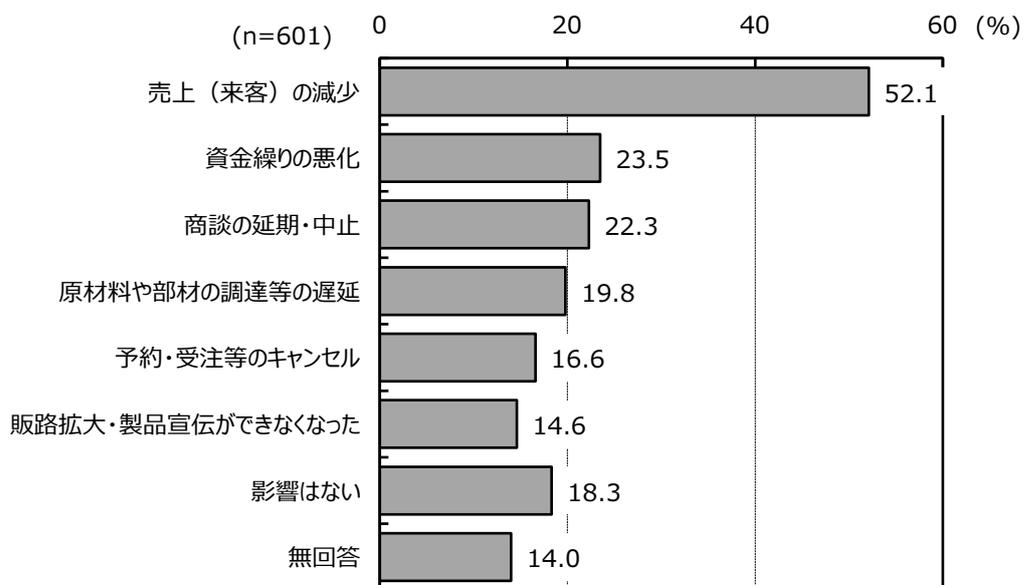
	医療・健康	介護・福祉	農業	環境	エネルギー	バイオテクノロジー	ICT (情報通信技術)	IOT・AI I・ロボット
【従業員規模別】								
5人以下 (n=67)	4.5	17.9	9.0	17.9	10.4	-	3.0	11.9
6人～20人以下 (n=18)	11.1	11.1	-	33.3	27.8	-	-	5.6
21人～50人以下 (n=8)	-	-	12.5	12.5	-	-	12.5	12.5
51人以上 (n=4)	50.0	25.0	-	25.0	-	-	25.0	50.0

	航空・宇宙 産業	教育・人材 育成	観光	飲食関連	卸売・小売	その他	無回答
【従業員規模別】							
5人以下 (n=67)	4.5	6.0	6.0	25.4	20.9	10.4	4.5
6人～20人以下 (n=18)	-	16.7	-	22.2	16.7	11.1	11.1
21人～50人以下 (n=8)	-	-	-	25.0	37.5	37.5	-
51人以上 (n=4)	-	-	-	-	25.0	-	-

問 12 新型コロナウイルス感染症拡大による経営の影響はどのようなものですか。また、いつまで続くと考えていますか。

(1) 経営への影響（複数回答（2つまで））

「売上（来客）の減少」が 52.1%と最も高く、次いで、「資金繰りの悪化」が 23.5%、「商談の延期・中止」が 22.3%となっている。



## 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

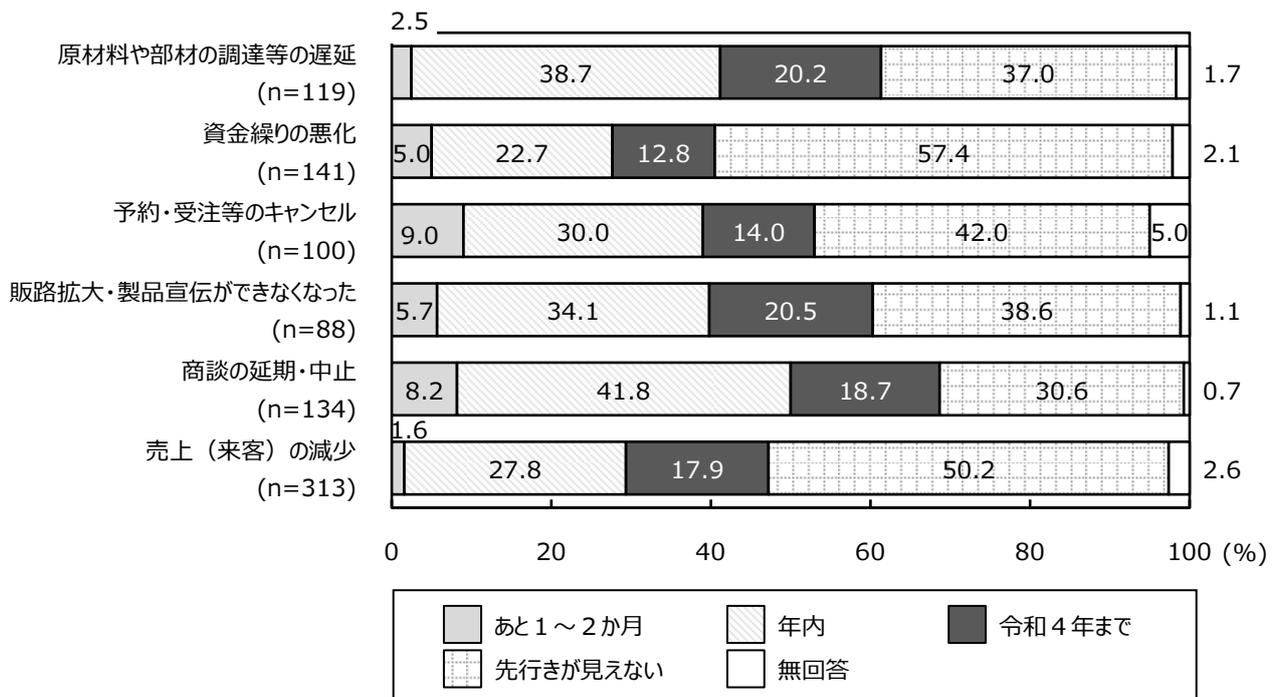
新型コロナウイルス感染症拡大による経営の影響を産業分類別・従業員別で見ると、いずれの区分においても「売上（来客）の減少」が最も高く、産業分類別では《飲食サービス業》（80.3%）、従業員規模別では《51人以上》（75.0%）での割合が最も高くなっている。

(単位：%)

	原材料や部材の調達等の遅延	資金繰りの悪化	予約・受注等のキャンセル	販路拡大・製品宣伝ができなくなった	商談の延期・中止	売上（来客）の減少	影響はない	無回答
【産業別】								
建設業 (n=124)	37.9	28.2	21.0	13.7	34.7	42.7	14.5	8.9
製造業 (n=75)	25.3	21.3	14.7	17.3	22.7	49.3	13.3	20.0
卸・小売業 (n=120)	23.3	22.5	10.0	18.3	20.0	55.8	15.8	12.5
飲食サービス業 (n=66)	12.1	43.9	27.3	13.6	12.1	80.3	7.6	12.1
医療・福祉 (n=29)	17.2	27.6	13.8	13.8	10.3	62.1	10.3	20.7
サービス業・その他 (n=229)	10.0	15.3	15.3	14.4	21.4	48.0	27.9	12.7
【従業員規模別】								
5人以下 (n=348)	20.4	25.3	17.8	14.7	21.3	50.3	23.9	12.1
6人～20人以下 (n=74)	18.9	21.6	13.5	12.2	23.0	48.6	14.9	10.8
21人～50人以下 (n=27)	37.0	11.1	14.8	14.8	37.0	51.9	7.4	7.4
51人以上 (n=12)	-	-	25.0	33.3	50.0	75.0	-	8.3

## (2) いつまで影響が続くと考えていますか。(単数回答)

多くの項目において「先行きが見えない」が最も高くなっており、特に《資金繰りの悪化》、《売上（来客）の減少》での割合が高くなっている（順に 57.4%、50.2%）。《原材料や部材の調達等の遅延》、《商談の延期・中止》については「年内」が最も高くなっている（順に 38.7%、41.8%）。具体的な期間の中では、いずれの項目も「年内」が最も高くなっている。



## ①原材料や部材の調達等の遅延

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

原材料や部材の調達等の遅延についての見通しを産業分類別で見ると、《建設業》、《製造業》では「年内」（順に 44.7%、47.4%）、《卸・小売業》では「年内」、「令和 4 年まで」、「先行きが見えない」（ともに 32.1%）、《サービス業・その他》では「先行きが見えない」（47.8%）が最も高くなっている。回答者数が少なくなっているが、《飲食サービス業》では「年内」と「先行きが見えない」、《医療・福祉》では「年内」という回答が最も多くなっている。

従業員規模別で見ると、《5 人以下》では「年内」（42.3%）、《6 人～20 人以下》、《21 人～50 人以下》では「年内」と「先行きが見えない」（順に 35.7%、50.0%で同率）が最も高くなっている。

(単位：%)

	あと1～2か月	年内	令和4年まで	先行きが見えない	無回答
【産業別】					
建設業 (n=47)	4.3	44.7	19.1	29.8	2.1
製造業 (n=19)	5.3	47.4	5.3	42.1	-
卸・小売業 (n=28)	-	32.1	32.1	32.1	3.6
飲食サービス業 (n=8)	-	37.5	25.0	37.5	-
医療・福祉 (n=5)	-	60.0	-	40.0	-
サービス業・その他 (n=23)	-	34.8	13.0	47.8	4.3
【従業員規模別】					
5人以下 (n=71)	2.8	42.3	21.1	32.4	1.4
6人～20人以下 (n=14)	-	35.7	28.6	35.7	-
21人～50人以下 (n=10)	-	50.0	-	50.0	-
51人以上 (n=0)	-	-	-	-	-

## ②資金繰りの悪化

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

資金繰りの悪化についての見通しを産業分類別で見ると、いずれの区分も「先行きが見えない」が最も高く、《飲食サービス業》での割合が最も高くなっている（69.0%）。

従業員規模別で見ると、《5人以下》では「先行きが見えない」（58.0%）、《6人～20人以下》では「令和4年まで」（37.5%）が最も高くなっている。《21人～50人以下》では回答者数が少なくなっているが、「先行きが見えない」という回答が最も多くなっている。

(単位：%)

	あと1～2か月	年内	令和4年まで	先行きが見えない	無回答
【産業別】					
建設業 (n=35)	5.7	22.9	22.9	45.7	2.9
製造業 (n=16)	6.3	25.0	25.0	37.5	6.3
卸・小売業 (n=27)	3.7	33.3	7.4	55.6	-
飲食サービス業 (n=29)	3.4	24.1	3.4	69.0	-
医療・福祉 (n=8)	25.0	12.5	-	62.5	-
サービス業・その他 (n=35)	5.7	14.3	14.3	62.9	2.9
【従業員規模別】					
5人以下 (n=88)	6.8	23.9	9.1	58.0	2.3
6人～20人以下 (n=16)	6.3	25.0	37.5	31.3	-
21人～50人以下 (n=3)	-	-	33.3	66.7	-
51人以上 (n=0)	-	-	-	-	-

### ③予約・受注等のキャンセル

#### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

予約・受注等のキャンセルについての見通しを産業分類別で見ると、《建設業》では「年内」と「先行きが見えない」（ともに 34.6%）、《製造業》、《卸・小売業》、《サービス業・その他》では「先行きが見えない」（順に 45.5%、41.7%、42.9%）、《飲食サービス業》では「年内」（38.9%）が最も高くなっている。

従業員規模別で見ると、《5人以下》では「先行きが見えない」（38.7%）、《6人～20人以下》では「年内」（50.0%）が最も高くなっている。回答者数が少なくなっているが、《21人～50人以下》では「先行きが見えない」、《51人以上》では「あと1～2か月」と「先行きが見えない」が最も高くなっている。

(単位：%)

	あと1～2か月	年内	令和4年まで	先行きが見えない	無回答
【産業別】					
建設業 (n=26)	3.8	34.6	23.1	34.6	3.8
製造業 (n=11)	9.1	36.4	-	45.5	9.1
卸・小売業 (n=12)	25.0	33.3	-	41.7	-
飲食サービス業 (n=18)	5.6	38.9	16.7	33.3	5.6
医療・福祉 (n=4)	25.0	25.0	-	50.0	-
サービス業・その他 (n=35)	11.4	22.9	14.3	42.9	8.6
【従業員規模別】					
5人以下 (n=62)	6.5	33.9	14.5	38.7	6.5
6人～20人以下 (n=10)	30.0	50.0	-	20.0	-
21人～50人以下 (n=4)	-	25.0	25.0	50.0	-
51人以上 (n=3)	33.3	-	-	33.3	33.3

#### ④販路拡大・製品宣伝ができなくなった

##### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

販路拡大・製品宣伝ができなくなったことについての見通しを産業分類別で見ると、《建設業》では「令和4年まで」（35.3%）、《製造業》、《卸・小売業》では「年内」（順に 38.5%、36.4%）、《サービス業・その他》では「先行きが見えない」（45.5%）が最も高くなっている。《飲食サービス業》では「年内」、「先行きが見えない」、《医療・福祉》では「先行きが見えない」という回答が最も多くなっている。

従業員規模別で見ると、《5人以下》では「先行きが見えない」（39.2%）が最も高くなっている。回答者数が少なくなっているが、《6人～20人以下》、《21人～50人以下》、《51人以上》では「年内」という回答が最も多くなっている。

(単位：%)

	あと1～2か月	年内	令和4年まで	先行きが見えない	無回答
【産業別】					
建設業 (n=17)	5.9	29.4	35.3	29.4	-
製造業 (n=13)	7.7	38.5	23.1	30.8	-
卸・小売業 (n=22)	9.1	36.4	18.2	31.8	4.5
飲食サービス業 (n=9)	-	44.4	11.1	44.4	-
医療・福祉 (n=4)	25.0	-	25.0	50.0	-
サービス業・その他 (n=33)	6.1	36.4	9.1	45.5	3.0
【従業員規模別】					
5人以下 (n=51)	5.9	33.3	19.6	39.2	2.0
6人～20人以下 (n=9)	11.1	44.4	11.1	33.3	-
21人～50人以下 (n=4)	-	50.0	25.0	25.0	-
51人以上 (n=4)	25.0	75.0	-	-	-

## ⑤商談の延期・中止

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

商談の延期・中止についての見通しを産業分類別でみると、《建設業》、《製造業》、《卸・小売業》では「年内」（順に 39.5%、47.1%、41.7%）、《サービス業・その他》では「年内」と「先行きが見えない」（ともに 34.7%）が最も高くなっている。《飲食サービス業》では「先行きが見えない」という回答が最も多くなっている。《医療・福祉》では「あと1～2か月」、「令和4年まで」、「先行きが見えない」と回答する人が1人ずつとなっている。

従業員規模別でみると、いずれの区分も「年内」が最も高く、《51人以上》での割合が最も高くなっている（66.7%）。

(単位：%)

	あと1～2か月	年内	令和4年まで	先行きが見えない	無回答
【産業別】					
建設業 (n=43)	7.0	39.5	20.9	32.6	-
製造業 (n=17)	5.9	47.1	23.5	23.5	-
卸・小売業 (n=24)	16.7	41.7	8.3	33.3	-
飲食サービス業 (n=8)	-	37.5	12.5	50.0	-
医療・福祉 (n=3)	33.3	-	33.3	33.3	-
サービス業・その他 (n=49)	10.2	34.7	18.4	34.7	2.0
【従業員規模別】					
5人以下 (n=74)	9.5	43.2	10.8	35.1	1.4
6人～20人以下 (n=17)	-	41.2	29.4	29.4	-
21人～50人以下 (n=10)	-	60.0	40.0	-	-
51人以上 (n=6)	16.7	66.7	-	16.7	-

## ⑥売上（来客）の減少

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

売上（来客）の減少についての見通しを産業分類別でみると、いずれの区分も「先行きが見えない」が最も高く、《飲食サービス業》での割合が最も高くなっている（64.2%）。

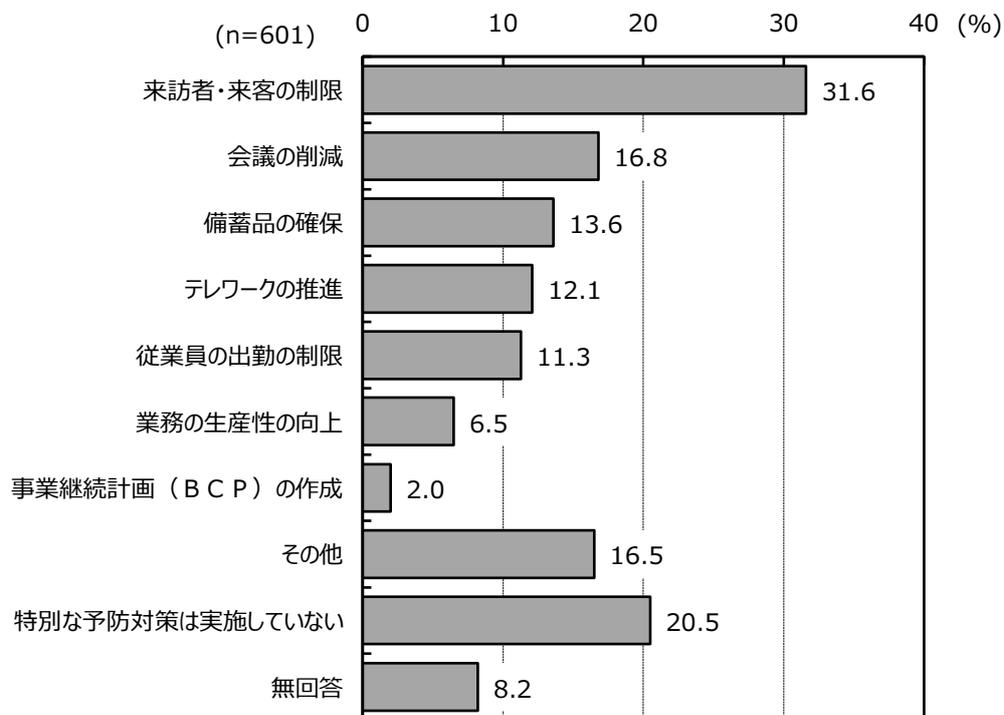
従業員規模別でみると、《5人以下》、《6人～20人以下》では「先行きが見えない」（順に49.1%、44.4%）、《21人～50人以下》では「年内」（42.9%）が最も高くなっている。《51人以上》については回答者数が少なくなっているが、「年内」という回答が最も多くなっている。

(単位：%)

	あと1～2か月	年内	令和4年まで	先行きが見えない	無回答
【産業別】					
建設業 (n=53)	-	26.4	24.5	45.3	3.8
製造業 (n=37)	-	27.0	10.8	56.8	5.4
卸・小売業 (n=67)	1.5	35.8	13.4	46.3	3.0
飲食サービス業 (n=53)	5.7	18.9	11.3	64.2	-
医療・福祉 (n=18)	-	38.9	16.7	44.4	-
サービス業・その他 (n=110)	0.9	31.8	20.9	44.5	1.8
【従業員規模別】					
5人以下 (n=175)	1.7	31.4	16.0	49.1	1.7
6人～20人以下 (n=36)	-	30.6	19.4	44.4	5.6
21人～50人以下 (n=14)	-	42.9	28.6	28.6	-
51人以上 (n=9)	-	55.6	-	33.3	11.1

**問 13 新型コロナウイルス感染症に係る予防対策に取り組んでいますか。**  
**(複数回答(2つまで))**

具体的な内容としては「来訪者・来客の制限」が 31.6%と最も高く、次いで、「会議の削減」が 16.8%、「備蓄品の確保」が 13.6%となっているが、「特別な予防対策は実施していない」の割合も比較的高く、20%以上となっている(20.5%)。



## 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

実施している新型コロナウイルス感染予防対策を産業分類別で見ると、ほとんどの区分において「来訪者・来客の制限」が最も高くなっており、《飲食サービス業》での割合が最も高くなっている（50.0%）。《建設業》では「特別な予防対策は実施していない」が最も高くなっている（30.6%）。

従業員別で見ると、《5人以下》では「来訪者・来客の制限」（31.6%）、《6人～20人以下》、《21人～50人以下》では「会議の削減」（順に31.1%、51.9%）、《51人以上》では「テレワークの推進」が最も高くなっている（66.7%）。

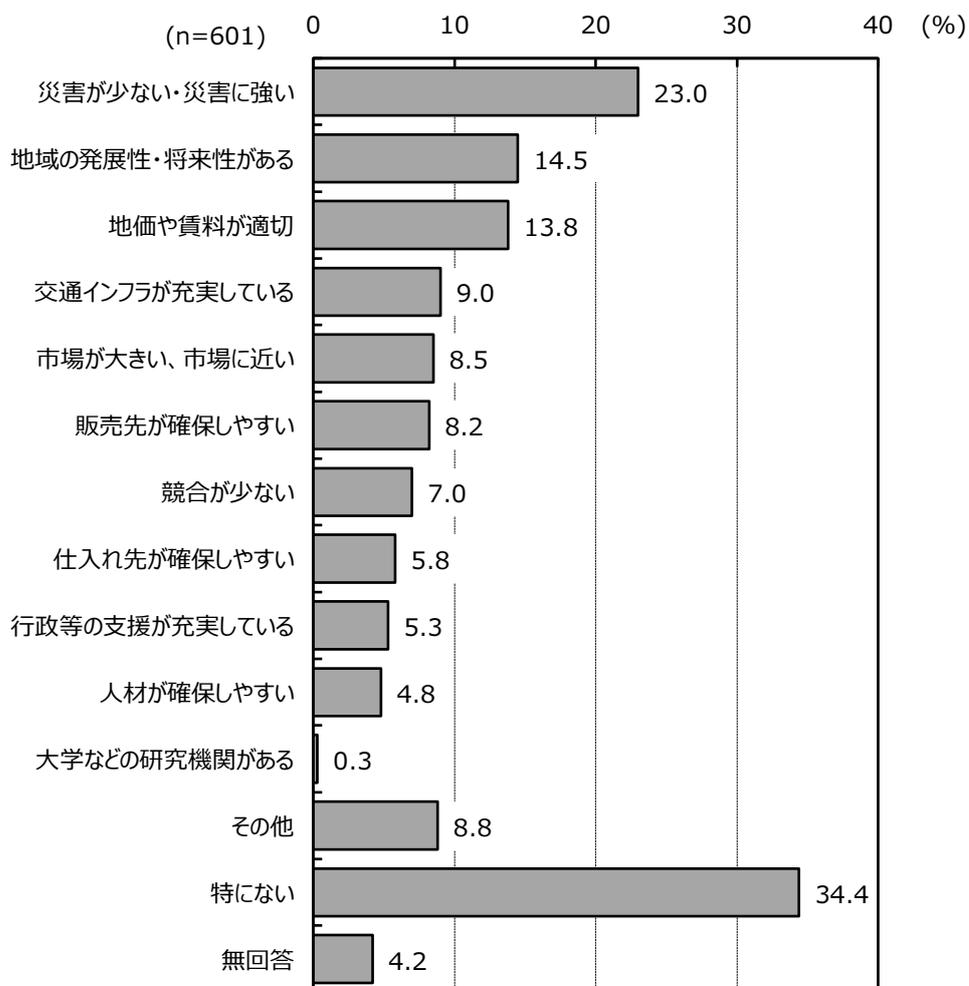
(単位：%)

	来訪者・ 来客の制 限	会議の削 減	テレワーク の推進	備蓄品の 確保	事業継 続計画 (BC P)の作 成	従業員の 出勤の制 限	業務の生 産性の向 上	その他	特別な予 防対策は 実施して いない	無回答
【産業別】										
建設業 (n=124)	25.8	24.2	8.9	14.5	0.8	8.1	6.5	9.7	30.6	5.6
製造業 (n=75)	32.0	26.7	18.7	10.7	1.3	8.0	9.3	18.7	25.3	1.3
卸・小売業 (n=120)	25.0	15.8	13.3	15.0	5.0	11.7	9.2	20.8	17.5	7.5
飲食サービス業 (n=66)	50.0	1.5	3.0	12.1	-	21.2	4.5	28.8	12.1	9.1
医療・福祉 (n=29)	44.8	13.8	3.4	20.7	-	6.9	3.4	34.5	3.4	3.4
サービス業・その他 (n=229)	34.1	15.3	16.2	14.4	1.7	11.4	4.8	13.5	21.4	8.7
【従業員規模別】										
5人以下 (n=348)	31.6	11.8	12.1	13.8	1.4	9.2	6.3	17.8	26.4	4.3
6人～20人以下 (n=74)	27.0	31.1	13.5	16.2	5.4	17.6	8.1	12.2	13.5	4.1
21人～50人以下 (n=27)	44.4	51.9	11.1	18.5	-	22.2	14.8	11.1	-	-
51人以上 (n=12)	50.0	41.7	66.7	8.3	-	25.0	8.3	8.3	-	-

### 3. 尾張旭市での事業活動について

#### 問 14 貴社が尾張旭市で事業を行うことのメリットは何ですか。（複数回答（3つまで））

「特にない」が 34.4%と最も高くなっている。そのほかでみると「災害が少ない・災害に強い」が 23.0%と最も高く、次いで、「地域の発展性・将来性がある」が 14.5%、「地価や賃料が適切」が 13.8%となっている。



## 【クロス集計（産業分類別）】

尾張旭市で事業を行うことのメリットについて産業分類別でみると、いずれの区分も「特にない」が最も高くなっている。そのほかについてみると、ほとんどの区分において「災害が少ない・災害に強い」が最も高くなっており、《製造業》での割合が最も高くなっている（28.0%）。《医療・福祉》では「市場が大きい、市場に近い」と「地価や賃料が適切」が最も高くなっている（ともに20.7%）。

(単位：%)

	市場が大きい、市場に近い	販売先が確保しやすい	仕入れ先が確保しやすい	地価や賃料が適切	人材が確保しやすい	競争が少ない	交通インフラが充実している
【産業別】							
建設業 (n=124)	8.9	8.1	4.0	11.3	3.2	4.8	13.7
製造業 (n=75)	8.0	4.0	6.7	13.3	12.0	4.0	13.3
卸・小売業 (n=120)	8.3	10.0	4.2	10.0	6.7	10.8	8.3
飲食サービス業 (n=66)	3.0	10.6	16.7	18.2	6.1	3.0	6.1
医療・福祉 (n=29)	20.7	10.3	6.9	20.7	6.9	3.4	-
サービス業・その他 (n=229)	8.7	9.2	6.1	15.3	3.1	7.9	7.4

	災害が少ない・災害に強い	大学などの研究機関がある	地域の発展性・将来性がある	行政等の支援が充実している	その他	特にない	無回答
【産業別】							
建設業 (n=124)	21.0	-	14.5	6.5	8.1	39.5	1.6
製造業 (n=75)	28.0	-	8.0	8.0	9.3	36.0	1.3
卸・小売業 (n=120)	23.3	0.8	15.0	5.8	6.7	34.2	1.7
飲食サービス業 (n=66)	27.3	-	15.2	4.5	6.1	31.8	6.1
医療・福祉 (n=29)	13.8	-	13.8	6.9	17.2	34.5	-
サービス業・その他 (n=229)	24.0	0.4	16.6	5.2	10.5	33.6	3.9

## 【クロス集計（従業員規模別）】

尾張旭市で事業を行うことのメリットについて従業員規模別でみると、《5人以下》、《6人～20人以下》では「特になし」が最も高くなっている。そのほかについてみると、ほとんどの区分において「災害が少ない・災害に強い」が最も高くなっており、《21～50人以下》での割合が最も高くなっている（33.3%）。《51人以上》では「地域の発展性・将来性がある」が最も高くなっている（33.3%）。

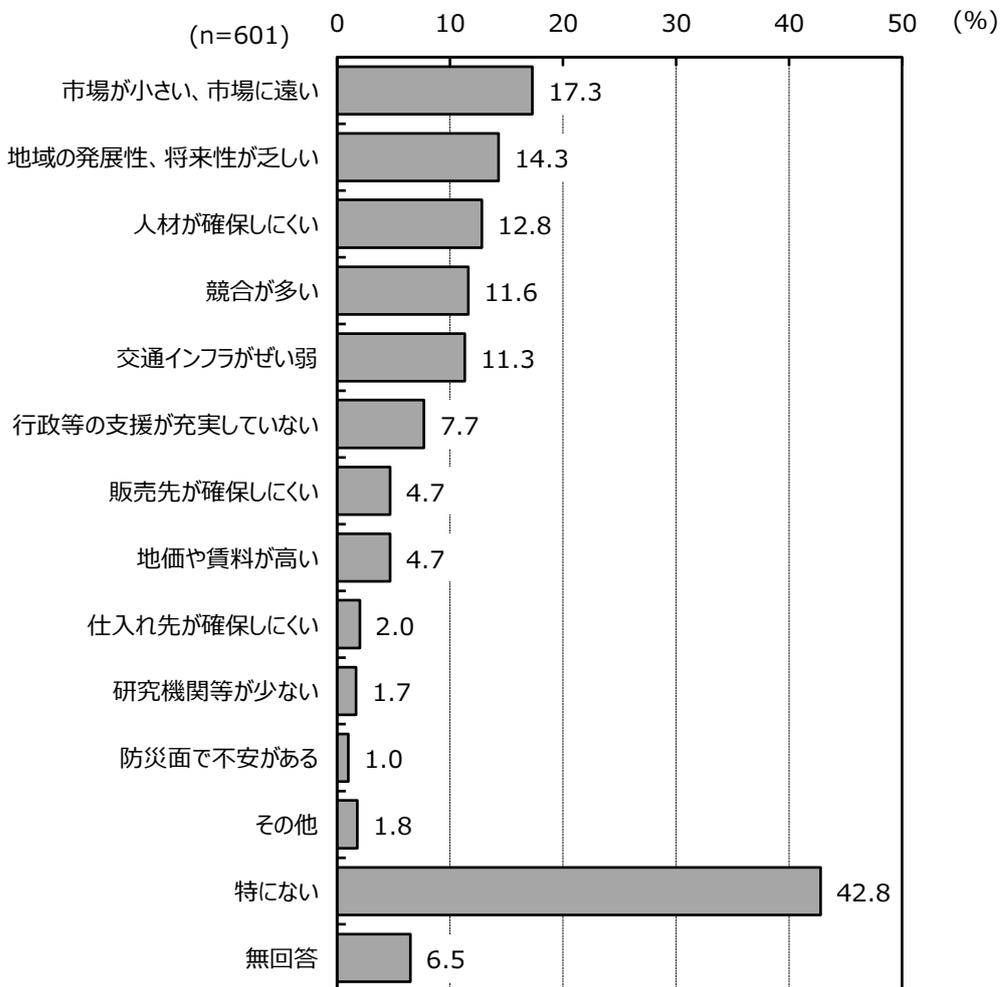
(単位：%)

	市場が大きい、市場に近い	販売先が確保しやすい	仕入れ先が確保しやすい	地価や賃料が適切	人材が確保しやすい	競争が少ない	交通インフラが充実している
【従業員規模別】							
5人以下 (n=348)	8.6	10.3	5.2	13.8	3.4	7.5	8.3
6人～20人以下 (n=74)	10.8	9.5	5.4	16.2	9.5	6.8	13.5
21人～50人以下 (n=27)	14.8	7.4	14.8	11.1	7.4	7.4	11.1
51人以上 (n=12)	16.7	-	-	25.0	16.7	-	16.7

	災害が少ない・災害に強い	大学などの研究機関がある	地域の発展性・将来性がある	行政等の支援が充実している	その他	特になし	無回答
【従業員規模別】							
5人以下 (n=348)	22.4	0.6	13.8	5.5	8.3	37.9	2.3
6人～20人以下 (n=74)	23.0	-	12.2	4.1	12.2	27.0	4.1
21人～50人以下 (n=27)	33.3	-	18.5	3.7	-	22.2	-
51人以上 (n=12)	16.7	-	33.3	8.3	8.3	25.0	-

### 問 15 貴社が尾張旭市で事業を行うことのデメリットは何ですか。（複数回答（3つまで））

「特にない」が 42.8%と最も高くなっている。そのほかでみると「市場が小さい、市場に遠い」が 17.3%と最も高く、次いで、「地域の発展性、将来性が乏しい」が 14.3%、「人材が確保しにくい」が 12.8%となっている。



## 【クロス集計（産業分類別）】

尾張旭市で事業を行うことのデメリットについて産業分類別でみると、いずれの区分も「特にない」が最も高くなっている。そのほかについてみると、《建設業》、《卸・小売業》では「市場が小さい、市場に遠い」（順に21.0%、19.2%）、《製造業》では「人材が確保しにくい」と「行政等の支援が充実していない」（ともに16.0%）、《飲食サービス業》、《医療・福祉》では「地域の発展性、将来性が乏しい」（順に24.2%、13.8%）、《サービス業・その他》では「市場が小さい、市場に遠い」と「競合が多い」が最も高くなっている（ともに19.2%）。

(単位：%)

	市場が小さい、市場に遠い	販売先が確保しにくい	仕入れ先が確保しにくい	地価や賃料が高い	人材が確保しにくい	競合が多い	交通インフラが弱い
【産業別】							
建設業 (n=124)	21.0	3.2	3.2	3.2	20.2	7.3	11.3
製造業 (n=75)	6.7	10.7	1.3	4.0	16.0	-	10.7
卸・小売業 (n=120)	19.2	6.7	0.8	1.7	12.5	12.5	14.2
飲食サービス業 (n=66)	18.2	-	3.0	10.6	9.1	10.6	13.6
医療・福祉 (n=29)	10.3	-	3.4	-	10.3	10.3	6.9
サービス業・その他 (n=229)	19.2	4.8	2.6	4.8	11.4	19.2	10.0

	防災面で不安がある	研究機関等が少ない	地域の発展性、将来性が乏しい	行政等の支援が充実していない	その他	特にない	無回答
【産業別】							
建設業 (n=124)	0.8	-	13.7	10.5	0.8	50.8	3.2
製造業 (n=75)	4.0	2.7	8.0	16.0	1.3	46.7	2.7
卸・小売業 (n=120)	0.8	1.7	16.7	4.2	2.5	40.8	2.5
飲食サービス業 (n=66)	1.5	1.5	24.2	7.6	3.0	33.3	6.1
医療・福祉 (n=29)	-	-	13.8	3.4	3.4	55.2	3.4
サービス業・その他 (n=229)	-	2.2	14.4	7.0	1.7	41.5	6.1

## 【クロス集計（従業員規模別）】

尾張旭市で事業を行うことのデメリットについて従業員規模別でみると、ほとんどの区分で「特にない」が最も高くなっている。そのほかについてみると、「5人以下」では「市場が小さい、市場に遠い」（19.0%）、「6人～20人以下」では「人材が確保しにくい」（29.7%）、「21人～50人以下」では「地価や賃料が高い」と「人材が確保しにくい」と「交通インフラがぜい弱」（ともに18.5%）、「51人以上」では「人材が確保しにくい」と「交通インフラがぜい弱」（ともに33.3%）が最も高くなっている。

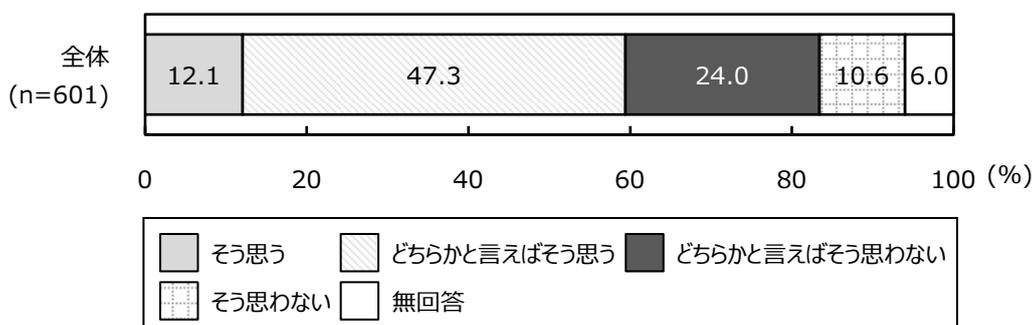
(単位：%)

	市場が小さい、市場に遠い	販売先が確保しにくい	仕入れ先が確保しにくい	地価や賃料が高い	人材が確保しにくい	競合が多い	交通インフラがぜい弱
【従業員規模別】							
5人以下 (n=348)	19.0	4.6	2.9	3.7	9.8	12.6	9.8
6人～20人以下 (n=74)	17.6	2.7	1.4	4.1	29.7	6.8	17.6
21人～50人以下 (n=27)	11.1	7.4	-	18.5	18.5	7.4	18.5
51人以上 (n=12)	8.3	8.3	-	-	33.3	25.0	33.3

	防災面で不安がある	研究機関等が少ない	地域の発展性、将来性が乏しい	行政等の支援が充実していない	その他	特にない	無回答
【従業員規模別】							
5人以下 (n=348)	0.9	1.7	15.8	8.9	1.7	45.7	4.6
6人～20人以下 (n=74)	1.4	1.4	12.2	5.4	2.7	39.2	2.7
21人～50人以下 (n=27)	-	3.7	11.1	14.8	-	44.4	-
51人以上 (n=12)	-	8.3	-	-	-	16.7	-

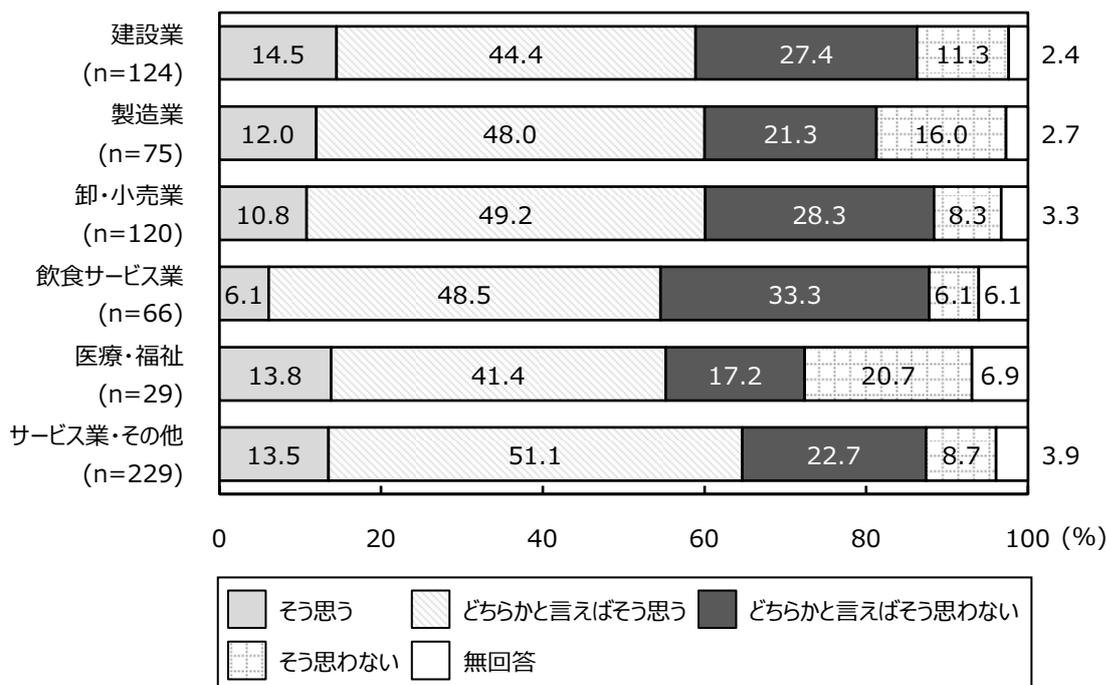
**問 16 尾張旭市は、人材、立地、交通環境などを総合的に考慮して、企業活動が行いやすいまちだと思いますか。（単数回答）**

「どちらかと言えばそう思う」が 47.3%と最も高く、次いで、「どちらかと言えばそう思わない」が 24.0%、「そう思う」が 12.1%となっており、『思う』（「そう思う」+「どちらかと言えばそう思う」）は 59.4%、『思わない』（「そう思わない」+「どちらかと言えばそう思わない」）は 34.6%となっている。



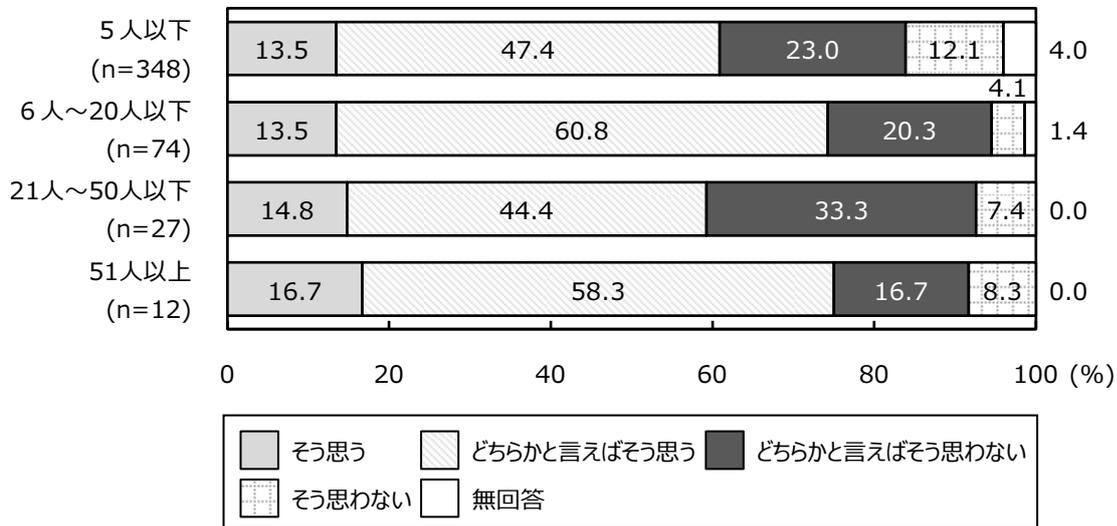
**【クロス集計（産業分類別）】**

尾張旭市での企業活動のしやすさについて産業分類別でみると、『思う』の割合は《サービス業・その他》で最も高くなっている（64.6%）。『思う』と『思わない』を比較すると、いずれの区分も『思う』の方が高くなっている。



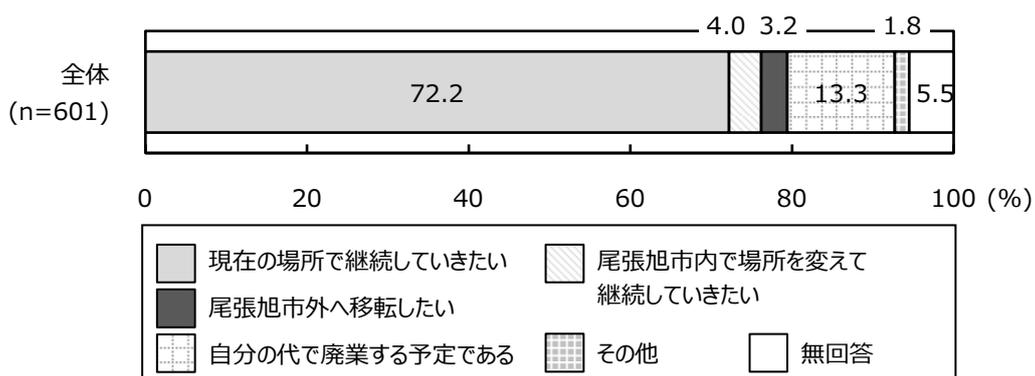
## 【クロス集計（従業員規模別）】

尾張旭市での企業活動のしやすさについて従業員規模別で見ると、『思う』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（75.0%）。『思う』と『思わない』を比較すると、いずれの区分も『思う』の方が高くなっている。



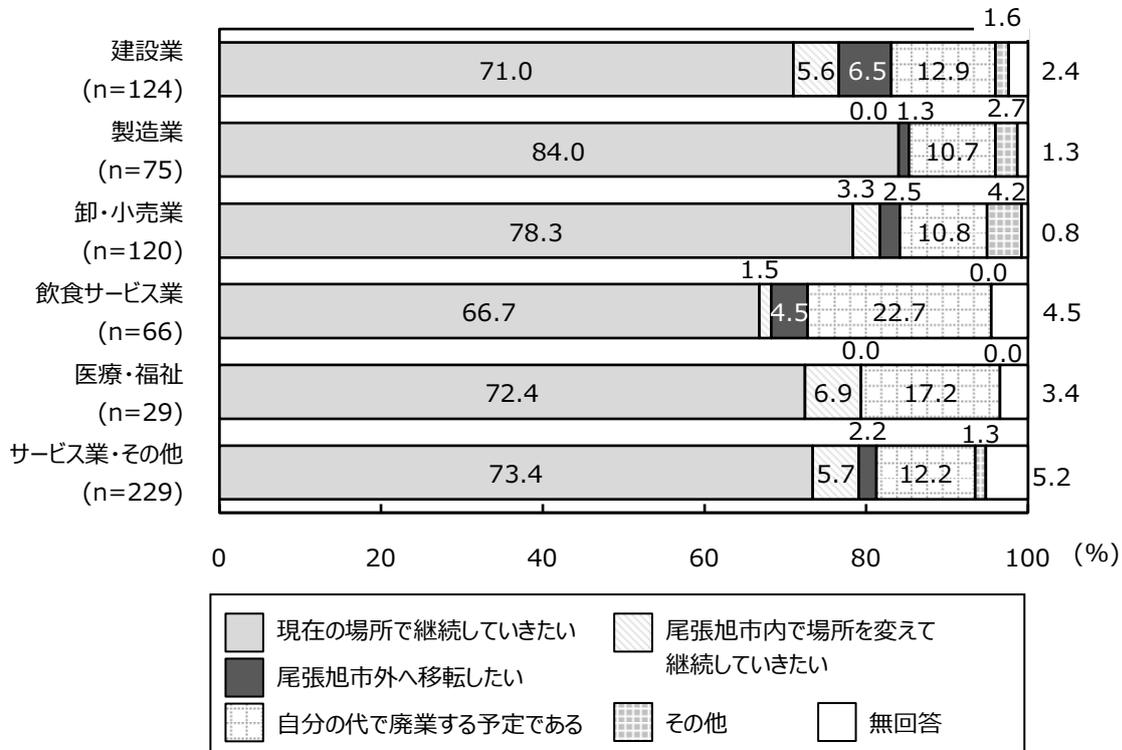
## 問 17 今後の尾張旭市での事業活動について、どのようにお考えですか。（単数回答）

「現在の場所で継続していきたい」が 72.2%と最も高く、次いで、「自分の代で廃業する予定である」が 13.3%となっている。



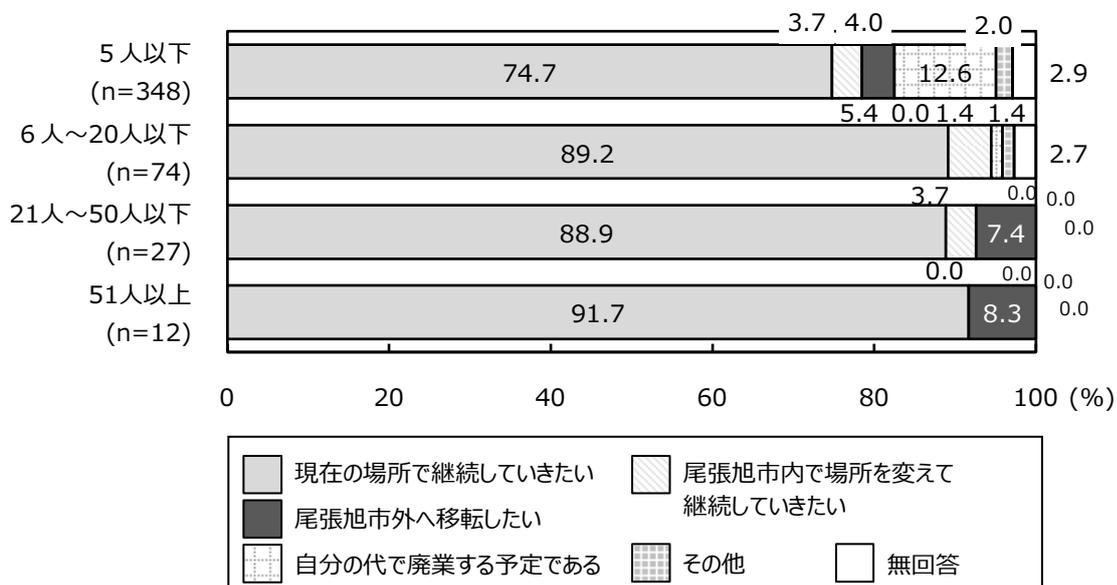
### 【クロス集計（産業分類別）】

尾張旭市での事業継続の意向について産業分類別でみると、いずれの区分も「現在の場所で継続していきたい」が最も高く、《製造業》での割合が最も高くなっている（84.0%）。



### 【クロス集計（従業員規模別）】

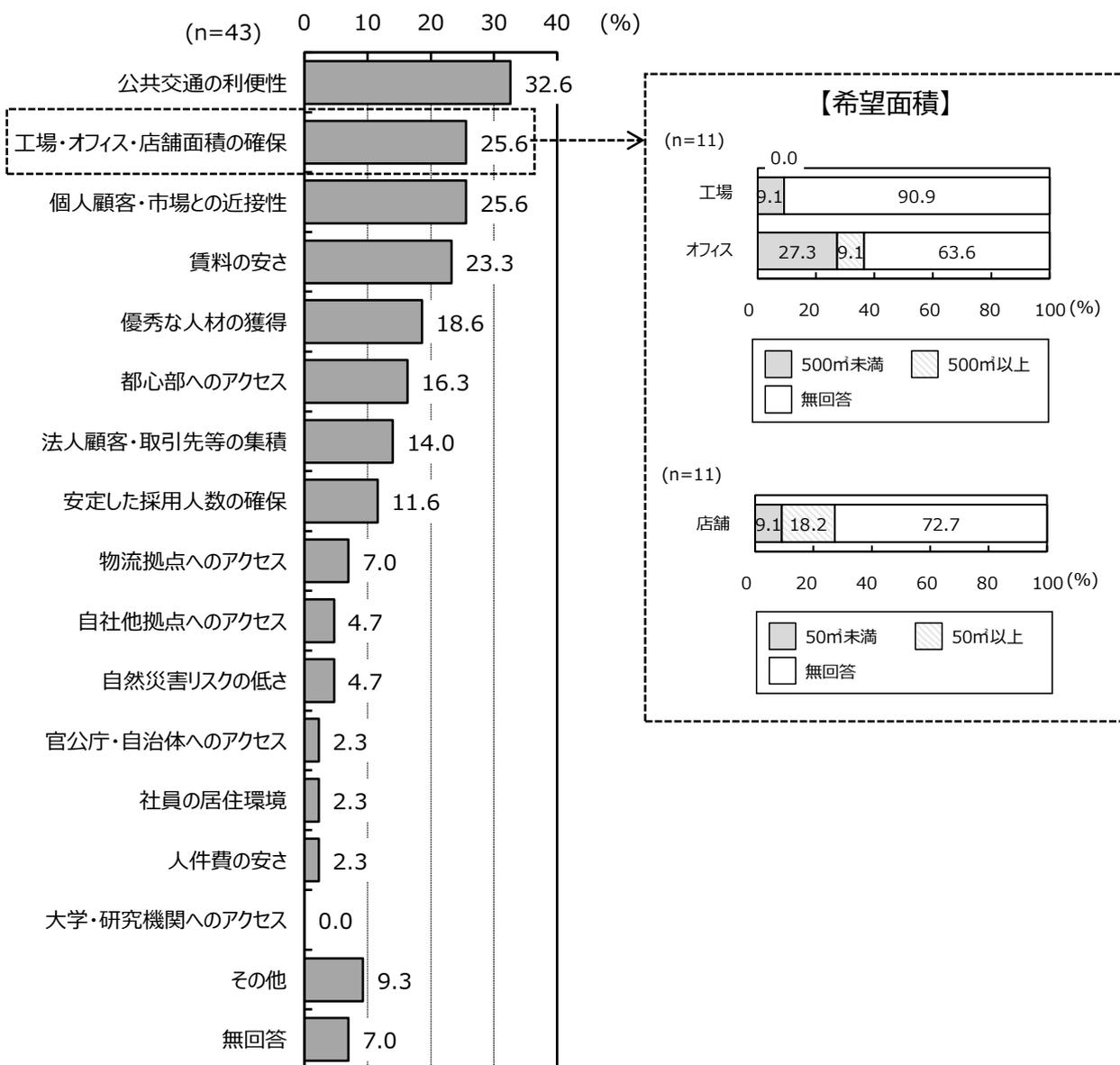
尾張旭市での事業継続の意向について従業員規模別でみると、いずれの区分も「現在の場所で継続していきたい」が最も高く、《51人以上》での割合が最も高くなっている（91.7%）。



**問 17 で「尾張旭市内で場所を変えて継続していきたい」又は「尾張旭市外へ移転したい」と答え  
た方におたずねします**

**問 17-1 移転先場所に求める条件は何ですか。（複数回答（3つまで））**

「公共交通の利便性」が 32.6%と最も高く、次いで、「工場・オフィス・店舗面積の確保」、「個人顧客・市場との近接性」がそれぞれ 25.6%となっている。



## 【クロス集計（産業分類別）】

移転先場所に求める条件について産業分類別でみると、《建設業》を除いたいずれの区分においても「公共交通の利便性」が共通して最も高くなっている。《建設業》は「工場・オフィス・店舗面積の確保」が最も高くなっている（40.0%）。

(単位：%)

	工場・オフィス・店舗面積の確保	法人顧客・取引先等の集積	個人顧客・市場との近接性	都心部へのアクセス	物流拠点へのアクセス	自社他拠点へのアクセス	官公庁・自治体へのアクセス	大学・研究機関へのアクセス	公共交通の利便性
【産業別】									
建設業 (n=15)	40.0	20.0	26.7	33.3	6.7	6.7	-	-	33.3
製造業 (n=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
卸・小売業 (n=7)	28.6	28.6	14.3	-	-	14.3	-	-	28.6
飲食サービス業 (n=4)	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	50.0
医療・福祉 (n=2)	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
サービス業・その他 (n=18)	16.7	5.6	33.3	16.7	5.6	-	5.6	-	33.3

	自然災害リスクの低さ	社員の居住環境	優秀な人材の獲得	安定した採用人数の確保	賃料の安さ	人件費の安さ	その他	無回答
【産業別】								
建設業 (n=15)	-	6.7	13.3	13.3	13.3	-	6.7	6.7
製造業 (n=1)	-	-	-	-	-	-	-	-
卸・小売業 (n=7)	-	-	28.6	14.3	28.6	-	-	-
飲食サービス業 (n=4)	-	-	-	-	25.0	-	25.0	25.0
医療・福祉 (n=2)	-	-	50.0	-	50.0	-	50.0	-
サービス業・その他 (n=18)	11.1	-	22.2	11.1	27.8	5.6	5.6	5.6

## 【クロス集計（従業員規模別）】

移転先場所に求める条件について従業員規模別でみると、《5人以下》では「個人顧客・市場との近接性」(33.3%)が最も高く、次いで「公共交通の利便性」(29.6%)の順となっている。その他の区分では、集計対象数が限定的ではあるが、工場・オフィス等の面積確保や取引先の集積、人材確保等の条件を求める回答が比較的多くなっている。

(単位：%)

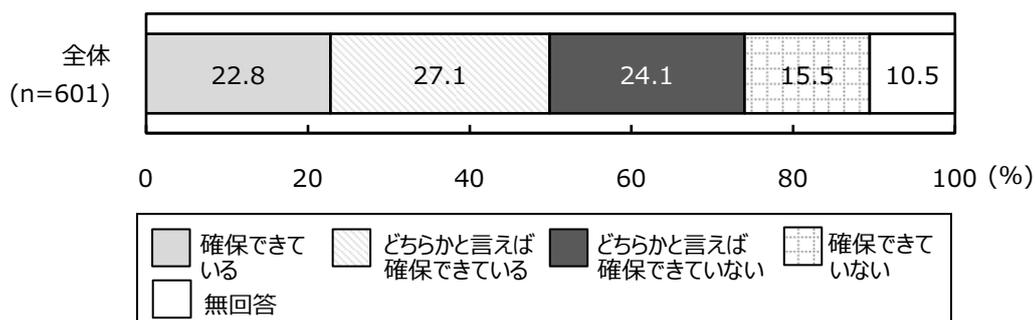
	工場・オフィス・店舗面積の確保	法人顧客・取引先等の集積	個人顧客・市場との近接性	都心部へのアクセス	物流拠点へのアクセス	自社他拠点へのアクセス	官公庁・自治体へのアクセス	大学・研究機関へのアクセス	公共交通の利便性
【従業員規模別】									
5人以下 (n=27)	25.9	18.5	33.3	14.8	7.4	7.4	-	-	29.6
6人～20人以下 (n=4)	25.0	-	-	25.0	-	-	-	-	25.0
21人～50人以下 (n=3)	66.7	-	-	33.3	33.3	-	-	-	33.3
51人以上 (n=1)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-

	自然災害リスクの低さ	社員の居住環境	優秀な人材の獲得	安定した採用人数の確保	賃料の安さ	人件費の安さ	その他	無回答
【従業員規模別】								
5人以下 (n=27)	3.7	-	18.5	7.4	25.9	-	7.4	3.7
6人～20人以下 (n=4)	-	25.0	50.0	50.0	25.0	25.0	-	-
21人～50人以下 (n=3)	-	-	-	-	33.3	-	-	-
51人以上 (n=1)	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-

#### 4. 人材の確保等の状況について

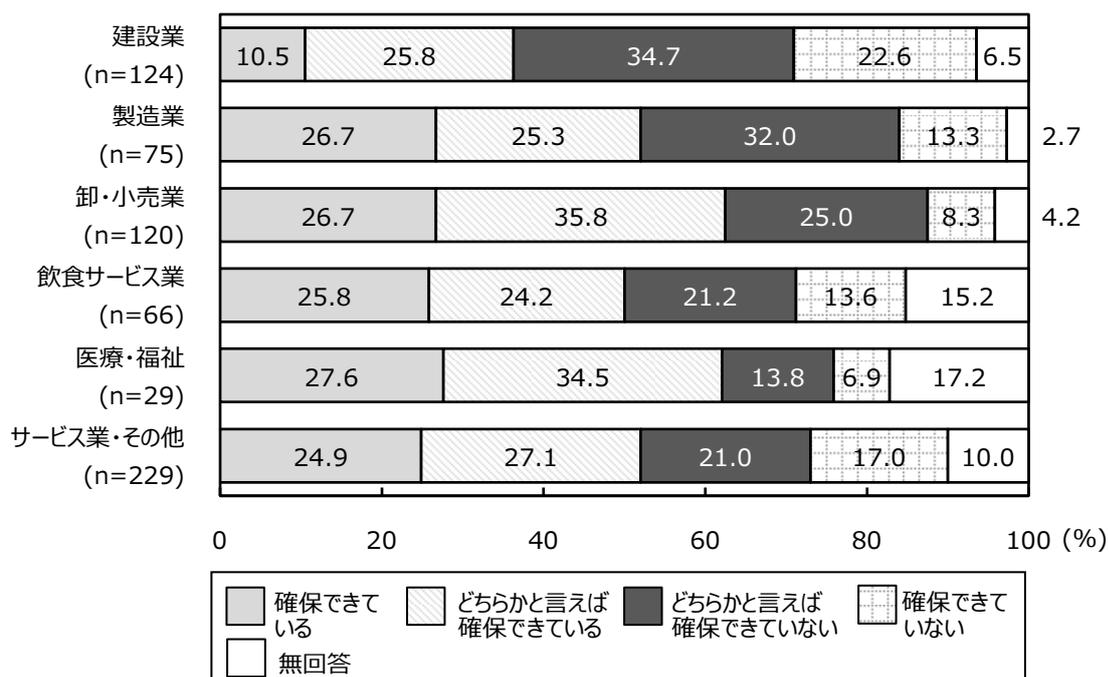
##### 問 18 貴社では、必要な人材が確保できていますか。(単数回答)

「どちらかと言えば確保できている」が 27.1%と最も高く、次いで、「どちらかと言えば確保できていない」が 24.1%、「確保できている」が 22.8%となっており、『できている』（「確保できている」+「どちらかと言えば確保できている」）は 49.9%、『できていない』（「確保できていない」+「どちらかと言えば確保できていない」）は 39.6%となっている。



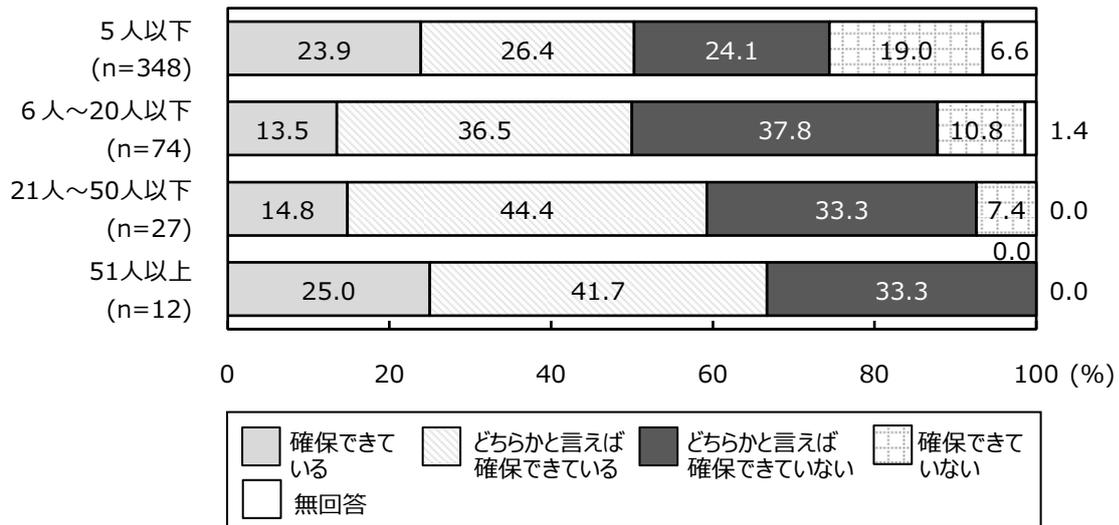
##### 【クロス集計（産業分類別）】

人材の確保状況を産業分類別でみると、『できている』の割合は《卸・小売業》で最も高くなっている（62.5%）。『できている』と『できていない』を比較すると、ほとんどの区分において『できている』の方が高くなっているが、《建設業》では『できていない』の方が高くなっている。



## 【クロス集計（従業員規模別）】

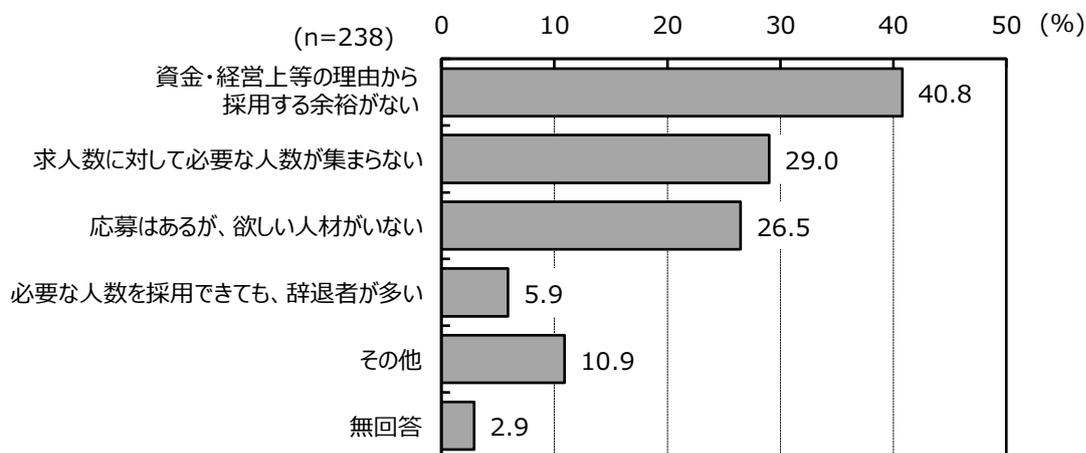
人材の確保状況を従業員規模別で見ると、『できている』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（66.7%）。『できている』と『できていない』を比較すると、いずれの区分においても『できている』の方が高くなっている。



**問 18 で「どちらかと言えば確保できていない」又は「確保できていない」と答えた方におたずねします**

**問 18-1 必要な人数を確保する場合の課題を教えてください。（複数回答（2つまで））**

「資金・経営上等の理由から採用する余裕がない」が 40.8%と最も高く、次いで、「求人数に対して必要な人数が集まらない」が 29.0%、「応募はあるが、欲しい人材がない」が 26.5%となっている。



**【クロス集計（産業分類別）】**

人材を確保する上での課題について産業分類別でみると、多くの区分において「資金・経営上等の理由から採用する余裕がない」が最も高くなっており、《飲食サービス業》での割合が最も高くなっている（47.8%）。《建設業》では「求人数に対して必要な人数が集まらない」（42.3%）、《製造業》では「応募はあるが、欲しい人材がない」と「資金・経営上等の理由から採用する余裕がない」（ともに 35.3%）、《医療・福祉》では「応募はあるが、欲しい人材がない」（33.3%）が最も高くなっている。

(単位：%)

	求人数に対して必要な人数が集まらない	応募はあるが、欲しい人材がない	必要な人数を採用できても、辞退者が多い	資金・経営上等の理由から採用する余裕がない	その他	無回答
<b>【産業別】</b>						
建設業 (n=71)	42.3	26.8	7.0	31.0	11.3	2.8
製造業 (n=34)	26.5	35.3	2.9	35.3	11.8	5.9
卸・小売業 (n=40)	22.5	32.5	10.0	45.0	7.5	-
飲食サービス業 (n=23)	26.1	21.7	8.7	47.8	4.3	-
医療・福祉 (n=6)	16.7	33.3	-	16.7	33.3	-
サービス業・その他 (n=87)	24.1	25.3	3.4	47.1	13.8	3.4

【クロス集計（従業員規模別）】

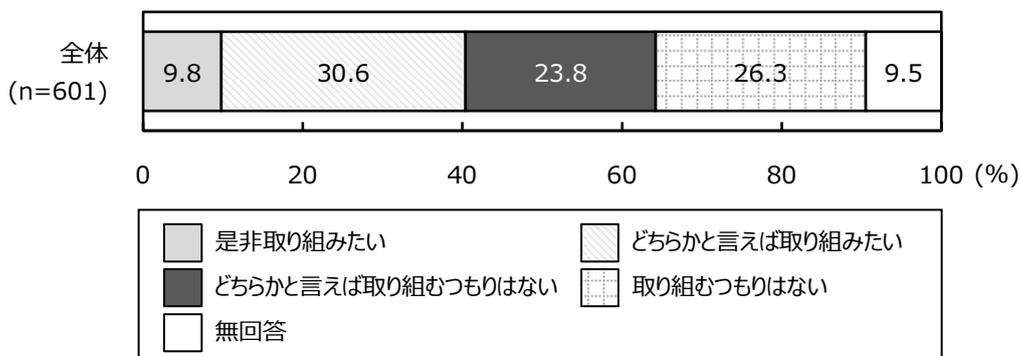
人材を確保する上での課題について従業員規模別でみると、《5人以下》では「資金・経営上等の理由から採用する余裕がない」（49.3%）、《6人～20人以下》、《21人～50人以下》では「求人数に対して必要な人数が集まらない」（順に 50.0%、54.5%）となっている。《51人以上》では回答者数が少なくなっているが、「応募はあるが、欲しい人材がない」という回答が最も多くなっている。

(単位：%)

	求人数に対して必要な人数が集まらない	応募はあるが、欲しい人材がない	必要な人数を採用できても、辞退者が多い	資金・経営上等の理由から採用する余裕がない	その他	無回答
【従業員規模別】						
5人以下 (n=150)	23.3	20.7	3.3	49.3	13.3	1.3
6人～20人以下 (n=36)	50.0	44.4	13.9	8.3	11.1	2.8
21人～50人以下 (n=11)	54.5	36.4	9.1	18.2	-	9.1
51人以上 (n=4)	25.0	75.0	25.0	-	-	-

問 19 貴社では、時代やニーズの変化等に対応するため、年齢、性別、国籍、学歴、価値観などが多様な人材を育成したり登用したりすることについて、どのように考えますか。（単数回答）

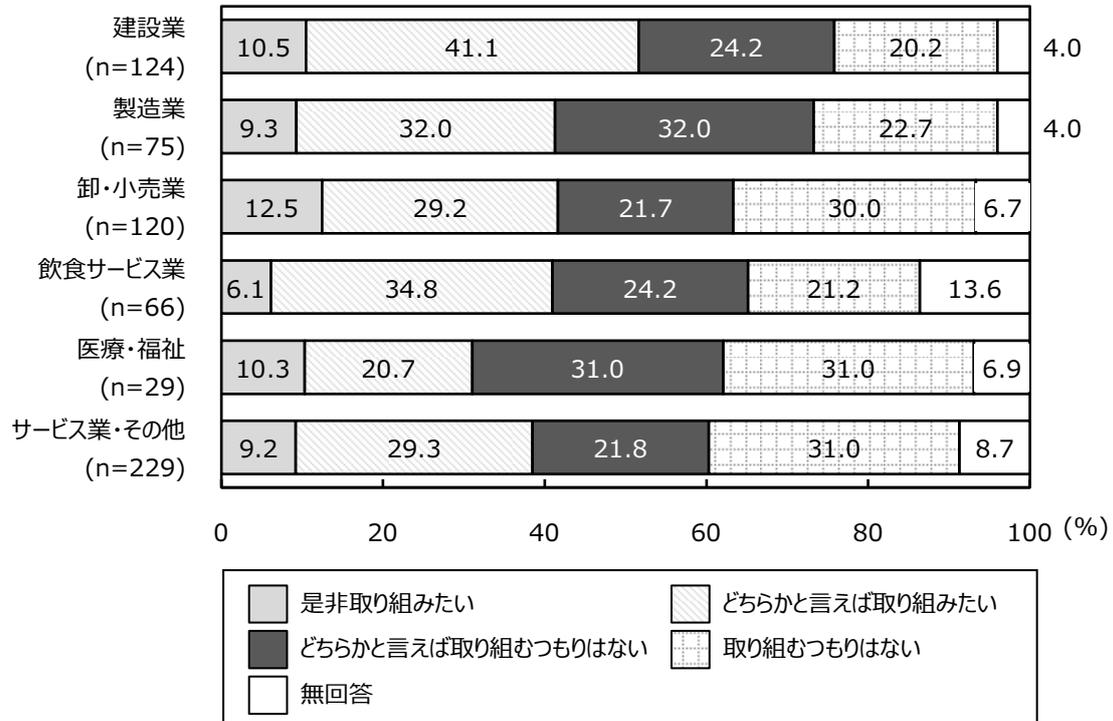
「どちらかと言えば取り組みたい」が 30.6%と最も高く、次いで、「取り組むつもりはない」が 26.3%、「どちらかと言えば取り組むつもりはない」が 23.8%となっており、『取り組みたい』（「是非取り組みたい」+「どちらかと言えば取り組みたい」）は 40.4%、『取り組むつもりはない』（「取り組むつもりはない」+「どちらかと言えば取り組むつもりはない」）は 50.1%となっている。



## 【クロス集計（産業分類別）】

多様な人材の育成・登用に対する考えを産業分類別で見ると、『取り組みたい』の割合は《建設業》で最も高くなっている（51.6%）。

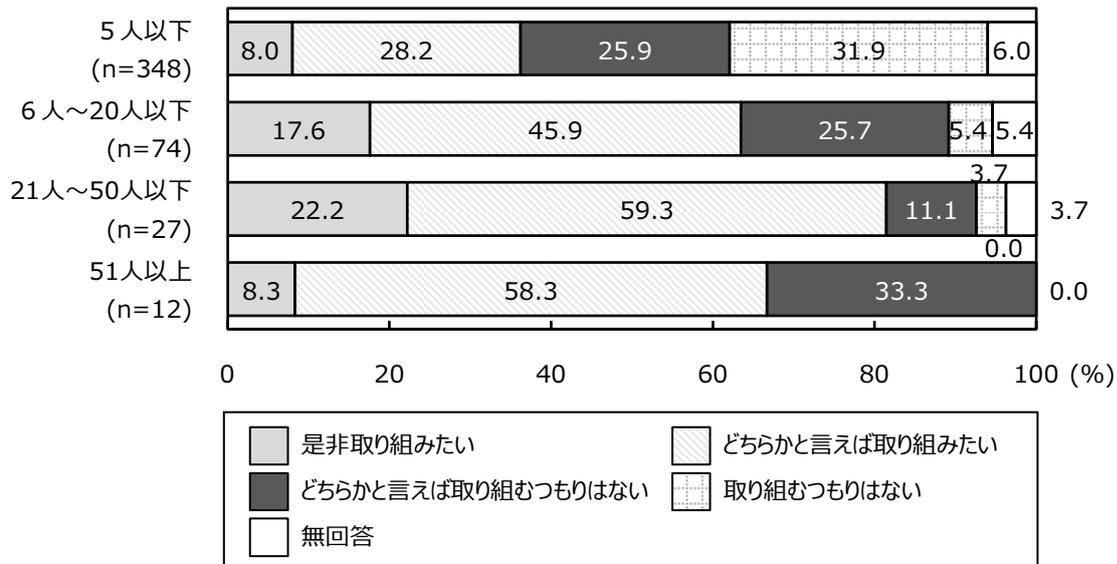
『取り組みたい』と『取り組むつもりはない』を比較すると、《建設業》では『取り組みたい』の方が高くなっているが、それ以外の区分において『取り組むつもりはない』の方が高くなっている。



## 【クロス集計（従業員規模別）】

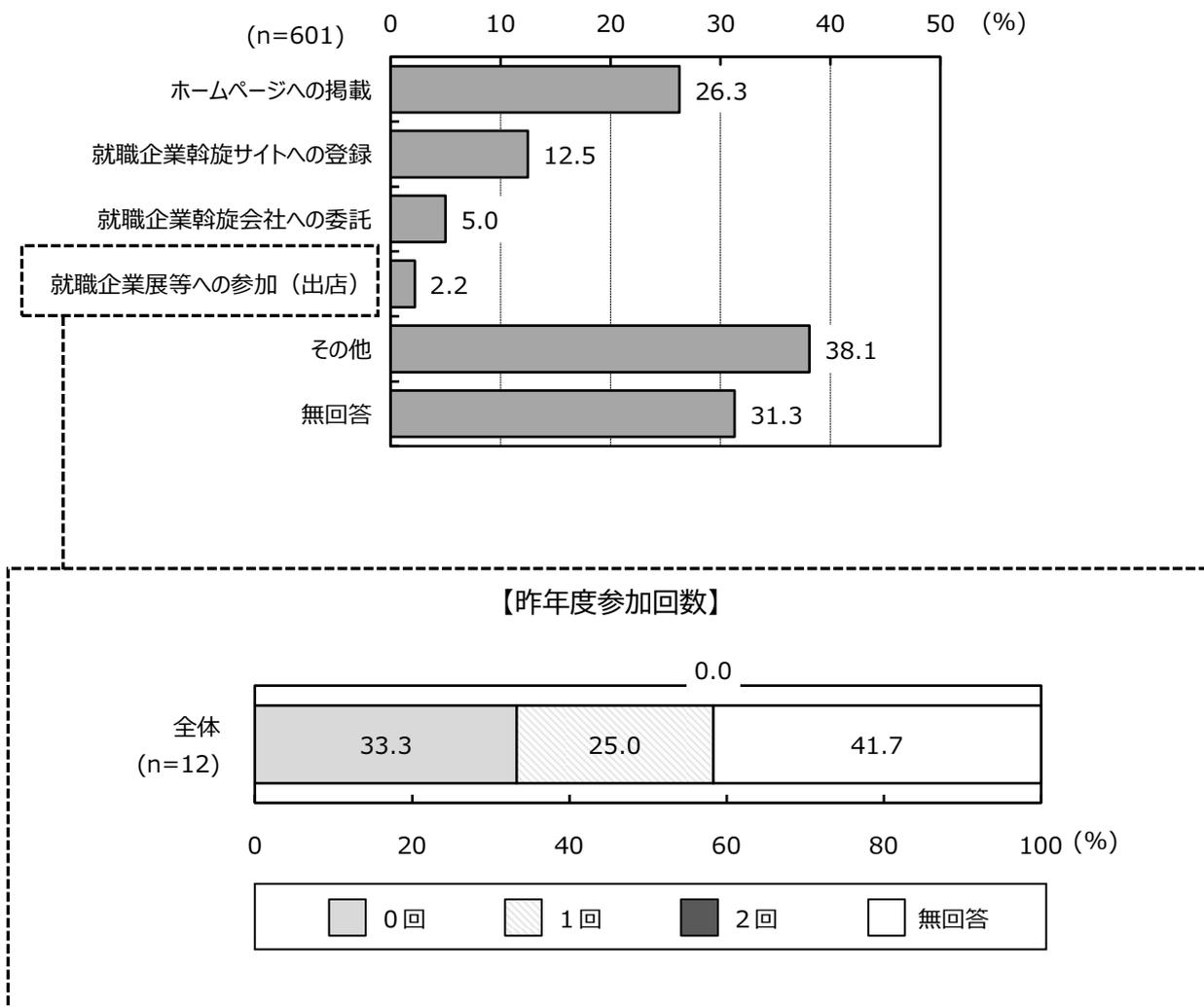
多様な人材の育成・登用に対する考えを従業員規模別でみると、『取り組みたい』の割合は《21人～50人以下》で最も高くなっている（81.5%）。

『取り組みたい』と『取り組むつもりはない』を比較すると、ほとんどの区分において『取り組みたい』の方が高くなっているが、《5人以下》では『取り組むつもりはない』の方が高くなっている。



## 問 20 貴社が行っている採用案内方法について教えてください。(複数回答)

無回答、「その他」の割合が高くなっているが、最も割合が高いのは「ホームページへの掲載」で 26.3%となっている。次いで、「就職企業斡旋サイトへの登録」が 12.5%となっている。



## 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

実施している採用案内方法を産業分類別で見ると、無回答、「その他」を除くと、ほとんどの区分において「ホームページへの掲載」が最も高く、《卸・小売業》での割合が最も高くなっている（30.0%）。《医療・福祉》では「就職企業斡旋サイトへの登録」が最も高くなっている（17.2%）。

従業員別で見ると、無回答、「その他」を除くと、いずれの区分も「ホームページへの掲載」が最も高く、《51人以上》での割合が最も高くなっている（75.0%）

(単位：%)

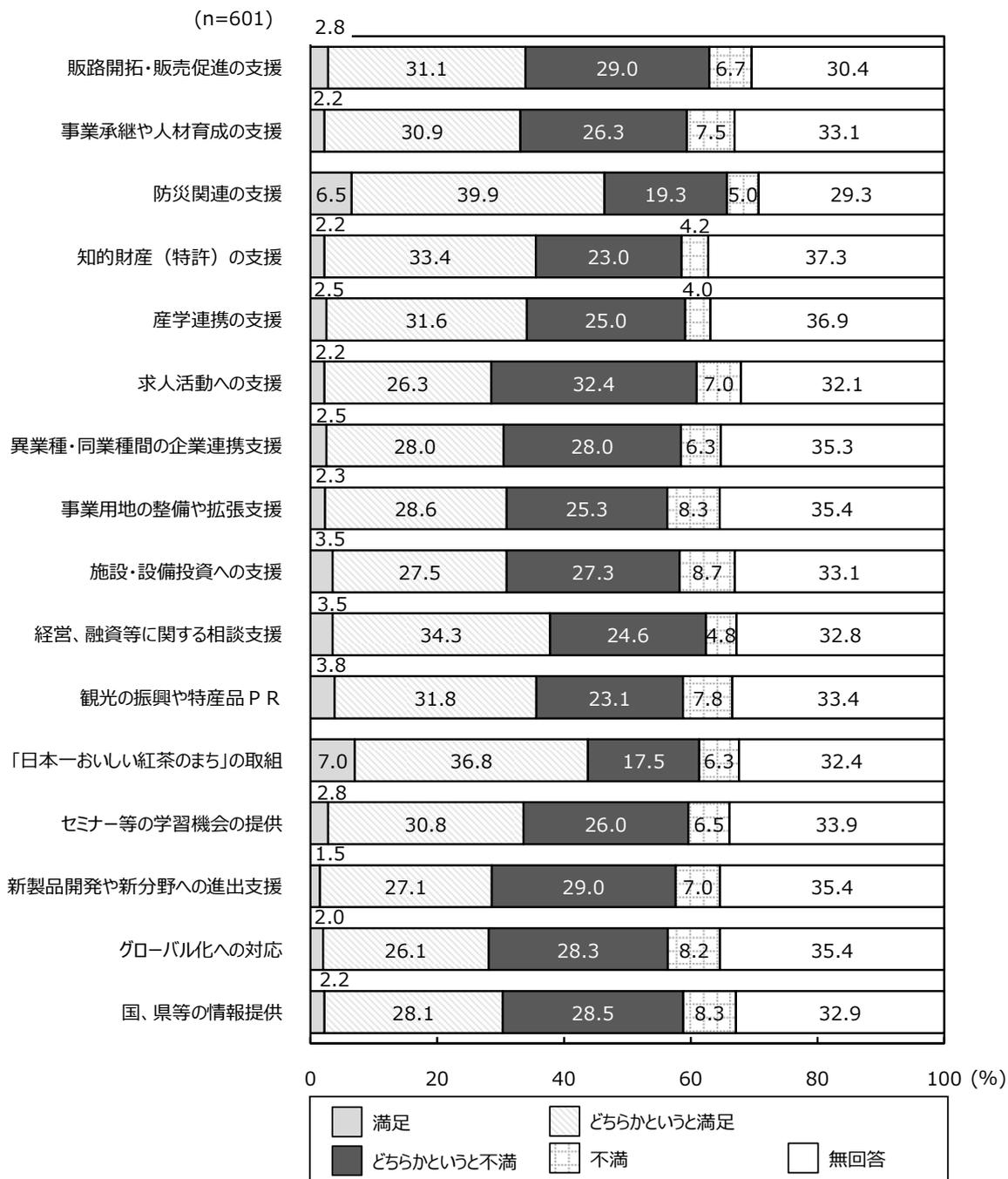
	ホームページへの掲載	就職企業斡旋サイトへの登録	就職企業斡旋会社への委託	就職企業展等への参加（出店）	その他	無回答
【産業別】						
建設業 (n=124)	27.4	17.7	7.3	4.0	40.3	25.0
製造業 (n=75)	28.0	14.7	2.7	1.3	42.7	28.0
卸・小売業 (n=120)	30.0	16.7	6.7	3.3	36.7	28.3
飲食サービス業 (n=66)	27.3	7.6	4.5	-	40.9	31.8
医療・福祉 (n=29)	13.8	17.2	6.9	-	41.4	31.0
サービス業・その他 (n=229)	26.2	8.3	3.5	1.7	36.7	34.5
【従業員規模別】						
5人以下 (n=348)	20.4	8.6	4.3	0.9	45.4	28.4
6人～20人以下 (n=74)	54.1	24.3	5.4	5.4	35.1	10.8
21人～50人以下 (n=27)	55.6	44.4	11.1	3.7	29.6	7.4
51人以上 (n=12)	75.0	41.7	33.3	25.0	33.3	8.3

## 5. 尾張旭市の取り組みに対する満足度・重要度

問 21 尾張旭市における以下のような取組の現在の満足度と今後の重要度を、どのように感じますか。(単数回答)

### (1) 満足度

『満足である』(「満足」+「どちらかという満足」)の割合が最も高いのは《防災関連の支援》で 46.4%となっている。次いで割合が高いのは、《「日本一おいしい紅茶のまち」の取組》(43.8%)、《経営、融資等に関する相談支援》(37.8%)、《知的財産(特許)の支援》(35.6%)となっている。一方、『満足である』の割合が低いのは、《求人活動への支援》、《グローバル化への対応》で、ともに 20%台となっている(順に 28.5%、28.1%)。



## ①販路開拓・販売促進の支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

販路開拓・販売促進の支援について、『満足である』の割合を産業分類別で見ると、《医療・福祉》での割合が最も高くなっている（41.3%）。また、《医療・福祉》、《サービス業・その他》では『満足である』が『不満である』を上回っているが、それ以外の区分では『不満である』の方が高くなっている。

従業員規模別で見ると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（50.0%）。また、《21人～50人以下》、《51人以上》では『満足である』が『不満である』を上回っているが、《5人以下》、《6人～20人以下》では『不満である』の方が高くなっている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	0.8	33.1	32.3	8.1	25.8	33.9	40.4
製造業 (n=75)	4.0	28.0	29.3	9.3	29.3	32.0	38.6
卸・小売業 (n=120)	0.8	30.0	33.3	5.8	30.0	30.8	39.1
飲食サービス業 (n=66)	7.6	24.2	34.8	6.1	27.3	31.8	40.9
医療・福祉 (n=29)	3.4	37.9	27.6	10.3	20.7	41.3	37.9
サービス業・その他 (n=229)	2.6	34.5	27.5	5.7	29.7	37.1	33.2
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	3.7	32.5	28.2	8.6	27.0	36.2	36.8
6人～20人以下 (n=74)	2.7	32.4	32.4	4.1	28.4	35.1	36.5
21人～50人以下 (n=27)	3.7	37.0	29.6	3.7	25.9	40.7	33.3
51人以上 (n=12)	-	50.0	33.3	8.3	8.3	50.0	41.6

## ②事業承継や人材育成の支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

事業承継や人材育成の支援について、『満足である』の割合を産業分類別で見ると、《サービス業・その他》での割合が最も高くなっている（35.4%）。また、《サービス業・その他》では『満足である』が『不満である』を上回っているが、それ以外の区分では『不満である』の方が高くなっている。《医療・福祉》では『満足である』と『不満』が同率となっている（31.0%）。

従業員規模別で見ると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（50.0%）。また、ほとんどの区分において『満足である』が『不満である』を上回っているが、《5人以下》では『不満である』の方が高くなっている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	-	34.7	32.3	9.7	23.4	34.7	42.0
製造業 (n=75)	2.7	29.3	29.3	6.7	32.0	32.0	36.0
卸・小売業 (n=120)	2.5	26.7	26.7	4.2	40.0	29.2	30.9
飲食サービス業 (n=66)	4.5	27.3	30.3	6.1	31.8	31.8	36.4
医療・福祉 (n=29)	-	31.0	24.1	6.9	37.9	31.0	31.0
サービス業・その他 (n=229)	2.2	33.2	26.2	7.9	30.6	35.4	34.1
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	2.3	32.5	27.9	8.9	28.4	34.8	36.8
6人～20人以下 (n=74)	2.7	32.4	28.4	4.1	32.4	35.1	32.5
21人～50人以下 (n=27)	3.7	37.0	29.6	3.7	25.9	40.7	33.3
51人以上 (n=12)	-	50.0	25.0	8.3	16.7	50.0	33.3

### ③防災関連の支援

#### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

防災関連の支援について、『満足である』の割合を産業分類別で見ると、《建設業》での割合が最も高くなっている（51.6%）。また、すべての区分において『満足である』が『不満である』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（83.4%）。また、すべての区分において『満足である』が『不満である』を上回っている。

(単位：%)

	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	4.0	47.6	19.4	5.6	23.4	51.6	25.0
製造業 (n=75)	9.3	33.3	22.7	6.7	28.0	42.6	29.4
卸・小売業 (n=120)	10.0	38.3	17.5	1.7	32.5	48.3	19.2
飲食サービス業 (n=66)	9.1	36.4	22.7	4.5	27.3	45.5	27.2
医療・福祉 (n=29)	6.9	41.4	17.2	-	34.5	48.3	17.2
サービス業・その他 (n=229)	4.8	41.9	21.8	5.2	26.2	46.7	27.0
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	6.3	41.1	20.4	5.7	26.4	47.4	26.1
6人～20人以下 (n=74)	6.8	40.5	20.3	2.7	29.7	47.3	23.0
21人～50人以下 (n=27)	18.5	40.7	7.4	11.1	22.2	59.2	18.5
51人以上 (n=12)	16.7	66.7	8.3	8.3	-	83.4	16.6

#### ④知的財産（特許）の支援

##### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

知的財産（特許）の支援について、『満足である』の割合を産業分類別で見ると、《飲食サービス業》での割合が最も高くなっている（40.9%）。また、ほとんどの区分において『満足である』が『不満である』を上回っているが、《製造業》では『不満である』の方が高くなっている。

従業員規模別で見ると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（50.0%）。また、すべての区分において『満足である』が『不満である』を上回っている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	-	37.9	26.6	5.6	29.8	37.9	32.2
製造業 (n=75)	2.7	26.7	30.7	5.3	34.7	29.4	36.0
卸・小売業 (n=120)	1.7	34.2	19.2	4.2	40.8	35.9	23.4
飲食サービス業 (n=66)	6.1	34.8	21.2	-	37.9	40.9	21.2
医療・福祉 (n=29)	-	31.0	20.7	-	48.3	31.0	20.7
サービス業・その他 (n=229)	1.7	34.5	24.5	4.4	34.9	36.2	28.9
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	2.0	37.1	22.4	4.3	34.2	39.1	26.7
6人～20人以下 (n=74)	2.7	33.8	23.0	5.4	35.1	36.5	28.4
21人～50人以下 (n=27)	3.7	40.7	25.9	3.7	25.9	44.4	29.6
51人以上 (n=12)	-	50.0	33.3	8.3	8.3	50.0	41.6

## ⑤産学連携の支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

産学連携の支援について、『満足である』の割合を産業分類別でみると、《飲食サービス業》での割合が最も高くなっている（42.4%）。また、多くの区分において『満足である』が『不満である』を上回っているが、《製造業》、《卸・小売業》では『不満である』の方が高くなっている。

従業員規模別でみると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（50.0%）。また、ほとんどの区分において『満足である』が『不満である』を上回っている。《21人～50人以下》では『満足である』と『不満である』が同率となっている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	1.6	37.1	27.4	5.6	28.2	38.7	33.0
製造業 (n=75)	2.7	25.3	32.0	4.0	36.0	28.0	36.0
卸・小売業 (n=120)	1.7	26.7	27.5	4.2	40.0	28.4	31.7
飲食サービス業 (n=66)	4.5	37.9	18.2	1.5	37.9	42.4	19.7
医療・福祉 (n=29)	-	37.9	20.7	-	41.4	37.9	20.7
サービス業・その他 (n=229)	2.6	32.3	27.1	4.4	33.6	34.9	31.5
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	2.9	34.8	25.0	4.0	33.3	37.7	29.0
6人～20人以下 (n=74)	2.7	31.1	24.3	5.4	36.5	33.8	29.7
21人～50人以下 (n=27)	3.7	33.3	33.3	3.7	25.9	37.0	37.0
51人以上 (n=12)	-	50.0	25.0	8.3	16.7	50.0	33.3

## ⑥ 求人活動への支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

求人活動への支援について、『満足である』の割合を産業分類別で見ると、《製造業》での割合が最も高くなっている（30.7%）。また、《医療・福祉》では『満足である』が『不満である』を上回っているが、それ以外の区分では『不満である』の方が高くなっている。

従業員規模別で見ると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（50.0%）。また、《51人以上》では『満足である』が『不満である』を上回っているが、それ以外の区分では『不満である』の方が高くなっている。

(単位：%)

	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	-	29.0	37.1	10.5	23.4	29.0	47.6
製造業 (n=75)	2.7	28.0	37.3	5.3	26.7	30.7	42.6
卸・小売業 (n=120)	1.7	23.3	32.5	5.0	37.5	25.0	37.5
飲食サービス業 (n=66)	3.0	24.2	36.4	7.6	28.8	27.2	44.0
医療・福祉 (n=29)	-	27.6	24.1	3.4	44.8	27.6	27.5
サービス業・その他 (n=229)	3.1	26.6	33.2	6.1	31.0	29.7	39.3
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	2.6	27.0	34.8	7.8	27.9	29.6	42.6
6人～20人以下 (n=74)	2.7	25.7	35.1	8.1	28.4	28.4	43.2
21人～50人以下 (n=27)	3.7	33.3	37.0	7.4	18.5	37.0	44.4
51人以上 (n=12)	-	50.0	25.0	8.3	16.7	50.0	33.3

## ⑦異業種・同業種間の企業連携支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

異業種・同業種間の企業連携支援について、『満足である』の割合を産業分類別で見ると、《建設業》での割合が最も高くなっている（35.5%）。また、すべての区分において『不満である』が『満足である』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（58.3%）。また、《21人～50人以下》、《51人以上》では『満足である』が『不満である』を上回っているが、《5人以下》、《6人～20人以下》では『不満である』の方が高くなっている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	2.4	33.1	29.8	7.3	27.4	35.5	37.1
製造業 (n=75)	4.0	26.7	30.7	5.3	33.3	30.7	36.0
卸・小売業 (n=120)	0.8	27.5	26.7	5.8	39.2	28.3	32.5
飲食サービス業 (n=66)	3.0	24.2	31.8	6.1	34.8	27.2	37.9
医療・福祉 (n=29)	-	27.6	27.6	6.9	37.9	27.6	34.5
サービス業・その他 (n=229)	3.1	27.5	30.1	6.6	32.8	30.6	36.7
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	2.9	29.0	29.3	7.8	31.0	31.9	37.1
6人～20人以下 (n=74)	2.7	29.7	28.4	5.4	33.8	32.4	33.8
21人～50人以下 (n=27)	7.4	37.0	29.6	3.7	22.2	44.4	33.3
51人以上 (n=12)	-	58.3	16.7	8.3	16.7	58.3	25.0

## ⑧事業用地の整備や拡張支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

事業用地の整備や拡張支援について、『満足である』の割合を産業分類別で見ると、《医療・福祉》での割合が最も高くなっている（41.4%）。また、《飲食サービス業》、《医療・福祉》では『満足である』が『不満である』を上回っているが、それ以外の区分では『不満である』の方が高くなっている。

従業員規模別で見ると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（50.0%）。また、《21人～50人以下》、《51人以上》では『満足である』が『不満である』を上回っているが、《5人以下》、《6人～20人以下》では『不満である』の方が高くなっている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	1.6	31.5	32.3	9.7	25.0	33.1	42.0
製造業 (n=75)	4.0	24.0	29.3	9.3	33.3	28.0	38.6
卸・小売業 (n=120)	0.8	21.7	26.7	7.5	43.3	22.5	34.2
飲食サービス業 (n=66)	3.0	31.8	22.7	7.6	34.8	34.8	30.3
医療・福祉 (n=29)	-	41.4	13.8	6.9	37.9	41.4	20.7
サービス業・その他 (n=229)	3.1	30.6	26.2	7.9	32.3	33.7	34.1
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	2.6	29.3	26.4	9.5	32.2	31.9	35.9
6人～20人以下 (n=74)	2.7	28.4	31.1	8.1	29.7	31.1	39.2
21人～50人以下 (n=27)	3.7	44.4	22.2	7.4	22.2	48.1	29.6
51人以上 (n=12)	-	50.0	25.0	8.3	16.7	50.0	33.3

## ⑨施設・設備投資への支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

施設・設備投資への支援について、『満足である』の割合を産業分類別でみると、《建設業》での割合が最も高くなっている（39.5%）。また、《建設業》、《医療・福祉》では『満足である』が『不満である』を上回っているが、それ以外の区分では『不満である』の方が高くなっている。

従業員規模別でみると、『満足である』の割合は《21人～50人以下》で最も高くなっている（51.8%）。また、ほとんどの区分において『満足である』が『不満である』を上回っているが、《5人以下》では『不満である』の方が高くなっている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	0.8	38.7	25.0	10.5	25.0	39.5	35.5
製造業 (n=75)	2.7	25.3	33.3	9.3	29.3	28.0	42.6
卸・小売業 (n=120)	2.5	18.3	31.7	8.3	39.2	20.8	40.0
飲食サービス業 (n=66)	7.6	21.2	36.4	4.5	30.3	28.8	40.9
医療・福祉 (n=29)	-	37.9	20.7	6.9	34.5	37.9	27.6
サービス業・その他 (n=229)	4.4	27.9	27.5	8.7	31.4	32.3	36.2
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	3.7	27.6	29.3	10.1	29.3	31.3	39.4
6人～20人以下 (n=74)	2.7	32.4	27.0	6.8	31.1	35.1	33.8
21人～50人以下 (n=27)	7.4	44.4	22.2	7.4	18.5	51.8	29.6
51人以上 (n=12)	-	50.0	25.0	8.3	16.7	50.0	33.3

## ⑩経営、融資等に関する相談支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

経営、融資等に関する相談支援について、『満足である』の割合を産業分類別で見ると、「医療・福祉」での割合が最も高くなっている（48.3%）。また、すべての区分において『満足である』が『不満である』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『満足である』の割合は「51人以上」で最も高くなっている（58.3%）。また、すべての区分において『満足である』が『不満である』を上回っている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	0.8	41.9	25.8	6.5	25.0	42.7	32.3
製造業 (n=75)	2.7	30.7	29.3	4.0	33.3	33.4	33.3
卸・小売業 (n=120)	3.3	31.7	23.3	4.2	37.5	35.0	27.5
飲食サービス業 (n=66)	4.5	34.8	22.7	6.1	31.8	39.3	28.8
医療・福祉 (n=29)	6.9	41.4	17.2	3.4	31.0	48.3	20.6
サービス業・その他 (n=229)	4.4	33.6	26.2	4.4	31.4	38.0	30.6
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	3.2	37.6	23.9	6.0	29.3	40.8	29.9
6人～20人以下 (n=74)	4.1	36.5	25.7	2.7	31.1	40.6	28.4
21人～50人以下 (n=27)	3.7	40.7	33.3	3.7	18.5	44.4	37.0
51人以上 (n=12)	-	58.3	16.7	8.3	16.7	58.3	25.0

## ⑪観光の振興や特産品PR

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

観光の振興や特産品PRの支援について、『満足である』の割合を産業分類別でみると、《医療・福祉》での割合が最も高くなっている（48.3%）。また、ほとんどの区分において『満足である』が『不満である』を上回っているが、《製造業》、《卸・小売業》では『不満である』の方が高くなっている。

従業員規模別でみると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（50.0%）。また、すべての区分において『満足である』が『不満である』を上回っている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	1.6	37.9	25.8	8.9	25.8	39.5	34.7
製造業 (n=75)	5.3	29.3	28.0	6.7	30.7	34.6	34.7
卸・小売業 (n=120)	3.3	24.2	25.0	10.0	37.5	27.5	35.0
飲食サービス業 (n=66)	9.1	34.8	19.7	7.6	28.8	43.9	27.3
医療・福祉 (n=29)	-	48.3	10.3	6.9	34.5	48.3	17.2
サービス業・その他 (n=229)	3.9	32.3	25.8	6.1	31.9	36.2	31.9
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	4.0	33.9	23.9	8.9	29.3	37.9	32.8
6人～20人以下 (n=74)	6.8	32.4	18.9	8.1	33.8	39.2	27.0
21人～50人以下 (n=27)	7.4	40.7	29.6	-	22.2	48.1	29.6
51人以上 (n=12)	-	50.0	33.3	8.3	8.3	50.0	41.6

## ⑫「日本一おいしい紅茶のまち」の取組

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

「日本一おいしい紅茶のまち」の取組について、『満足である』の割合を産業分類別で見ると、《建設業》での割合が最も高くなっている（50.0%）。また、すべての区分において『満足である』が『不満である』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（66.6%）。また、すべての区分において『満足である』が『不満である』を上回っている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	4.8	45.2	18.5	5.6	25.8	50.0	24.1
製造業 (n=75)	9.3	34.7	24.0	4.0	28.0	44.0	28.0
卸・小売業 (n=120)	5.0	35.0	19.2	5.0	35.8	40.0	24.2
飲食サービス業 (n=66)	10.6	27.3	24.2	7.6	30.3	37.9	31.8
医療・福祉 (n=29)	3.4	37.9	13.8	10.3	34.5	41.3	24.1
サービス業・その他 (n=229)	7.4	38.0	17.5	5.7	31.4	45.4	23.2
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	7.2	38.2	19.0	6.6	29.0	45.4	25.6
6人～20人以下 (n=74)	6.8	37.8	18.9	5.4	31.1	44.6	24.3
21人～50人以下 (n=27)	14.8	44.4	18.5	3.7	18.5	59.2	22.2
51人以上 (n=12)	8.3	58.3	16.7	8.3	8.3	66.6	25.0

### ⑬セミナー等の学習機会の提供

#### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

セミナー等の学習機会の提供について、『満足である』の割合を産業分類別でみると、《建設業》での割合が最も高くなっている（36.3%）。また、多くの区分において『満足である』が『不満である』を上回っているが、《製造業》、《サービス業・その他》では『不満である』の方が高く、《卸・小売業》では『満足である』と『不満である』が同率となっている。

従業員規模別でみると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（58.3%）。また、すべての区分において『満足である』が『不満である』を上回っている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	0.8	35.5	29.0	6.5	28.2	36.3	35.5
製造業 (n=75)	2.7	29.3	29.3	5.3	33.3	32.0	34.6
卸・小売業 (n=120)	2.5	28.3	23.3	7.5	38.3	30.8	30.8
飲食サービス業 (n=66)	4.5	30.3	25.8	6.1	33.3	34.8	31.9
医療・福祉 (n=29)	3.4	31.0	24.1	6.9	34.5	34.4	31.0
サービス業・その他 (n=229)	3.1	31.4	29.3	5.7	30.6	34.5	35.0
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	3.2	32.8	27.3	7.5	29.3	36.0	34.8
6人～20人以下 (n=74)	2.7	31.1	25.7	5.4	35.1	33.8	31.1
21人～50人以下 (n=27)	7.4	33.3	33.3	3.7	22.2	40.7	37.0
51人以上 (n=12)	-	58.3	16.7	8.3	16.7	58.3	25.0

#### ⑭新製品開発や新分野への進出支援

##### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

新製品開発や新分野への進出支援について、『満足である』の割合を産業分類別で見ると、『飲食サービス業』での割合が最も高くなっている（34.8%）。また、『飲食サービス業』では『満足である』が『不満である』を上回り、『医療・福祉』では『満足である』と『不満である』が同率であるが、それ以外の区分では『不満である』の方が高くなっている。

従業員規模別で見ると、『満足である』の割合は『51人以上』で最も高くなっている（50.0%）。また、『51人以上』では『満足である』が『不満である』を上回っているが、それ以外の区分では『不満である』の方が高くなっている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	0.8	29.0	35.5	6.5	28.2	29.8	42.0
製造業 (n=75)	2.7	24.0	33.3	6.7	33.3	26.7	40.0
卸・小売業 (n=120)	0.8	22.5	28.3	8.3	40.0	23.3	36.6
飲食サービス業 (n=66)	3.0	31.8	24.2	7.6	33.3	34.8	31.8
医療・福祉 (n=29)	-	31.0	24.1	6.9	37.9	31.0	31.0
サービス業・その他 (n=229)	1.3	28.8	31.0	5.7	33.2	30.1	36.7
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	1.7	27.9	30.7	8.0	31.6	29.6	38.7
6人～20人以下 (n=74)	2.7	27.0	31.1	5.4	33.8	29.7	36.5
21人～50人以下 (n=27)	3.7	29.6	40.7	3.7	22.2	33.3	44.4
51人以上 (n=12)	-	50.0	16.7	8.3	25.0	50.0	25.0

## ⑮グローバル化への対応

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

グローバル化への対応について、『満足である』の割合を産業分類別で見ると、《建設業》での割合が最も高くなっている（31.4%）。また、すべての区分において『不満である』が『満足である』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（50.0%）。また、《51人以上》では『満足である』が『不満である』を上回っているが、それ以外の区分では『不満である』の方が高くなっている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	1.6	29.8	35.5	4.8	28.2	31.4	40.3
製造業 (n=75)	4.0	22.7	30.7	8.0	34.7	26.7	38.7
卸・小売業 (n=120)	1.7	20.8	30.0	8.3	39.2	22.5	38.3
飲食サービス業 (n=66)	1.5	27.3	30.3	6.1	34.8	28.8	36.4
医療・福祉 (n=29)	-	31.0	24.1	10.3	34.5	31.0	34.4
サービス業・その他 (n=229)	1.7	26.6	28.8	9.2	33.6	28.3	38.0
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	2.0	27.9	29.3	8.6	32.2	29.9	37.9
6人～20人以下 (n=74)	2.7	25.7	29.7	8.1	33.8	28.4	37.8
21人～50人以下 (n=27)	3.7	25.9	40.7	7.4	22.2	29.6	48.1
51人以上 (n=12)	8.3	41.7	25.0	8.3	16.7	50.0	33.3

## ⑯国、県等の情報提供

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

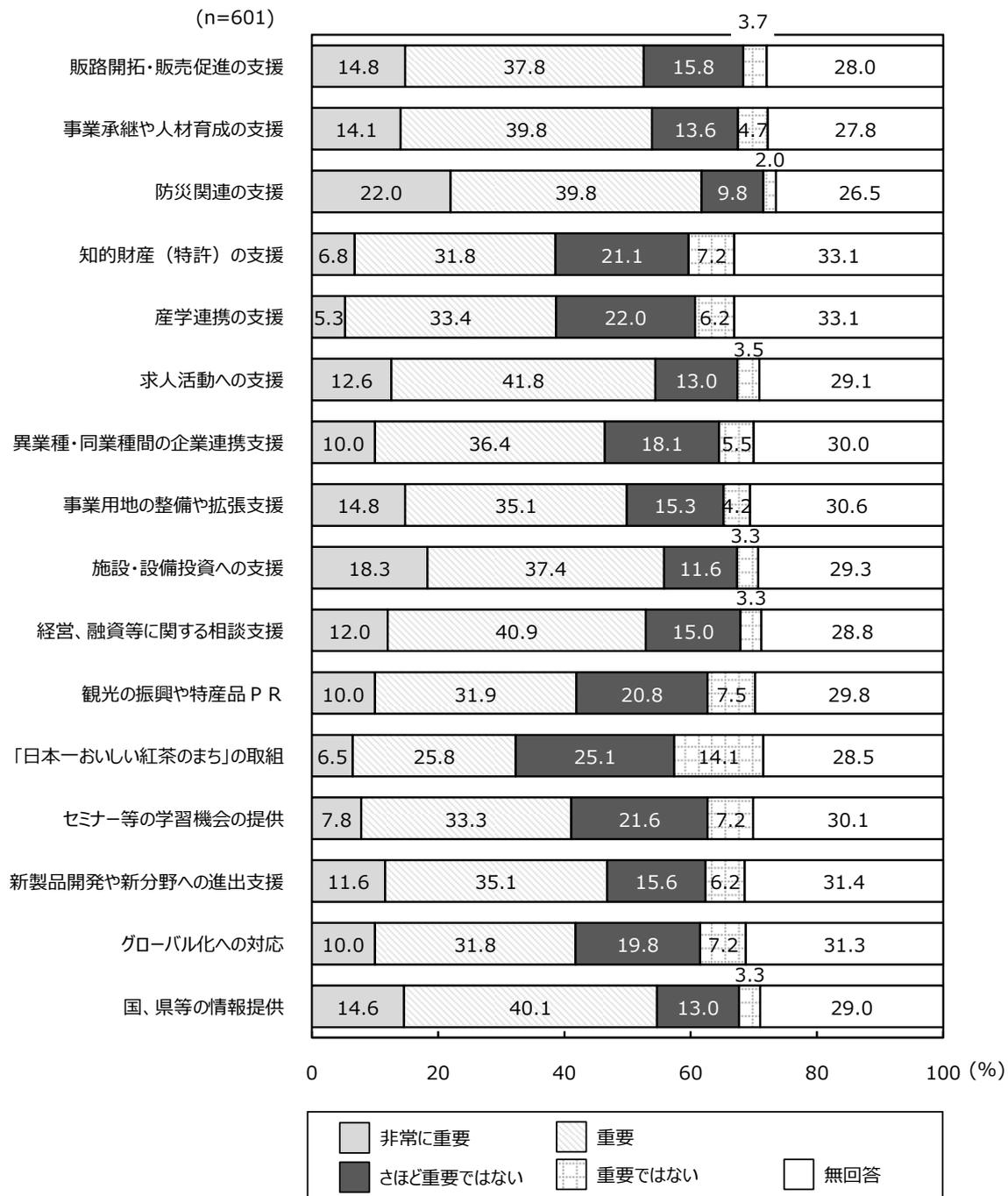
国、県等の情報提供について、『満足である』の割合を産業分類別で見ると、《医療・福祉》での割合が最も高くなっている（41.4%）。また、《医療・福祉》では『満足である』が『不満である』を上回っているが、それ以外の区分では『不満である』の方が高くなっている。

従業員規模別で見ると、『満足である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（58.3%）。また、ほとんどの区分において『満足である』が『不満である』を上回っているが、《5人以下》では『不満である』の方が高くなっている。

						(単位：%)	
	満足	どちらかという と満足	どちらかという と不満	不満	無回答	満足である	不満である
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	-	33.1	33.1	8.1	25.8	33.1	41.2
製造業 (n=75)	2.7	29.3	25.3	9.3	33.3	32.0	34.6
卸・小売業 (n=120)	2.5	22.5	28.3	8.3	38.3	25.0	36.6
飲食サービス業 (n=66)	3.0	24.2	34.8	4.5	33.3	27.2	39.3
医療・福祉 (n=29)	-	41.4	17.2	10.3	31.0	41.4	27.5
サービス業・その他 (n=229)	2.6	27.5	31.0	9.6	29.3	30.1	40.6
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	2.0	29.0	29.0	10.3	29.6	31.0	39.3
6人～20人以下 (n=74)	2.7	32.4	29.7	4.1	31.1	35.1	33.8
21人～50人以下 (n=27)	7.4	37.0	29.6	3.7	22.2	44.4	33.3
51人以上 (n=12)	-	58.3	16.7	8.3	16.7	58.3	25.0

## (2) 重要度

『重要である』（「非常に重要」+「重要」）の割合が最も高いのは、《防災関連の支援》で 61.8%となっている。次いで割合が高いのは、《施設・設備投資への支援》（55.7%）、《国、県等の情報提供》（54.7%）、《求人活動への支援》（54.4%）となっている。一方、『重要である』の割合が低いのは、《知的財産（特許）の支援》、《産学連携の支援》、《「日本一おいしい紅茶のまち」の取組》で、ともに 30%台となっている（順に 38.6%、38.7%、32.3%）。



## ①販路開拓・販売促進の支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

販路開拓・販売促進の支援について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、『サービス業・その他』での割合が最も高くなっている（57.2%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は『21人～50人以下』で最も高くなっている（70.4%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

						(単位：%)	
	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	8.9	43.5	24.2	3.2	20.2	52.4	27.4
製造業 (n=75)	8.0	38.7	17.3	6.7	29.3	46.7	24.0
卸・小売業 (n=120)	18.3	35.0	15.0	5.0	26.7	53.3	20.0
飲食サービス業 (n=66)	19.7	34.8	18.2	1.5	25.8	54.5	19.7
医療・福祉 (n=29)	24.1	31.0	10.3	6.9	27.6	55.1	17.2
サービス業・その他 (n=229)	17.0	40.2	11.8	3.5	27.5	57.2	15.3
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	16.1	38.2	15.8	4.3	25.6	54.3	20.1
6人～20人以下 (n=74)	12.2	43.2	18.9	1.4	24.3	55.4	20.3
21人～50人以下 (n=27)	14.8	55.6	11.1	3.7	14.8	70.4	14.8
51人以上 (n=12)	-	58.3	25.0	8.3	8.3	58.3	33.3

## ②事業承継や人材育成の支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

事業承継や人材育成の支援について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、《建設業》での割合が最も高くなっている（60.4%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は《21人～50人以下》で最も高くなっている（81.5%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

(単位：%)

	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	16.9	43.5	17.7	3.2	18.5	60.4	20.9
製造業 (n=75)	8.0	44.0	13.3	5.3	29.3	52.0	18.6
卸・小売業 (n=120)	14.2	35.8	15.8	6.7	27.5	50.0	22.5
飲食サービス業 (n=66)	16.7	33.3	21.2	1.5	27.3	50.0	22.7
医療・福祉 (n=29)	3.4	37.9	10.3	10.3	37.9	41.3	20.6
サービス業・その他 (n=229)	15.3	44.1	10.0	5.2	25.3	59.4	15.2
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	15.2	40.2	15.5	4.3	24.7	55.4	19.8
6人～20人以下 (n=74)	17.6	41.9	13.5	2.7	24.3	59.5	16.2
21人～50人以下 (n=27)	18.5	63.0	-	7.4	11.1	81.5	7.4
51人以上 (n=12)	8.3	58.3	8.3	8.3	16.7	66.6	16.6

### ③防災関連の支援

#### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

防災関連の支援について、『重要である』の割合を産業分類別でみると、《サービス業・その他》での割合が最も高くなっている（68.1%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

従業員規模別でみると、『重要である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（91.7%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

						(単位：%)	
	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	18.5	47.6	13.7	0.8	19.4	66.1	14.5
製造業 (n=75)	20.0	36.0	13.3	5.3	25.3	56.0	18.6
卸・小売業 (n=120)	21.7	34.2	14.2	2.5	27.5	55.9	16.7
飲食サービス業 (n=66)	24.2	39.4	9.1	-	27.3	63.6	9.1
医療・福祉 (n=29)	10.3	44.8	13.8	3.4	27.6	55.1	17.2
サービス業・その他 (n=229)	22.7	45.4	6.1	2.6	23.1	68.1	8.7
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	23.9	38.8	10.3	2.6	24.4	62.7	12.9
6人～20人以下 (n=74)	16.2	41.9	16.2	1.4	24.3	58.1	17.6
21人～50人以下 (n=27)	40.7	48.1	-	-	11.1	88.8	-
51人以上 (n=12)	16.7	75.0	-	-	8.3	91.7	-

#### ④知的財産（特許）の支援

##### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

知的財産（特許）の支援について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、「サービス業・その他」での割合が最も高くなっている（45.4%）。また、多くの区分において『重要である』が『重要でない』を上回っているが、「建設業」、「飲食サービス業」では『重要でない』の方が高くなっている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は「51人以上」で最も高くなっている（58.3%）。また、ほとんどの区分において『重要である』が『重要でない』を上回っているが、「6～20人以下」では『重要でない』の方が高くなっている。

						(単位：%)	
	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	4.8	33.1	31.5	7.3	23.4	37.9	38.8
製造業 (n=75)	5.3	30.7	21.3	9.3	33.3	36.0	30.6
卸・小売業 (n=120)	7.5	30.0	22.5	9.2	30.8	37.5	31.7
飲食サービス業 (n=66)	9.1	19.7	25.8	9.1	36.4	28.8	34.9
医療・福祉 (n=29)	-	37.9	10.3	6.9	44.8	37.9	17.2
サービス業・その他 (n=229)	8.3	37.1	15.7	7.4	31.4	45.4	23.1
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	6.3	35.3	19.3	7.8	31.3	41.6	27.1
6人～20人以下 (n=74)	5.4	28.4	32.4	6.8	27.0	33.8	39.2
21人～50人以下 (n=27)	11.1	40.7	29.6	3.7	14.8	51.8	33.3
51人以上 (n=12)	8.3	50.0	25.0	8.3	8.3	58.3	33.3

## ⑤産学連携の支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

産学連携の支援について、『重要である』の割合を産業分類別でみると、《サービス業・その他》での割合が最も高くなっている（44.6%）。また、ほとんどの区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。《医療・福祉》については『重要である』と『重要でない』が同率となっている。

従業員規模別でみると、『重要である』の割合は《21人～50人以下》で最も高くなっている（63.0%）。また、ほとんどの区分において『重要である』が『重要でない』を上回っているが、《6～20人以下》では『重要でない』の方が高くなっている。

						(単位：%)	
	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	3.2	37.1	30.6	6.5	22.6	40.3	37.1
製造業 (n=75)	4.0	30.7	25.3	8.0	32.0	34.7	33.3
卸・小売業 (n=120)	5.8	30.0	24.2	10.0	30.0	35.8	34.2
飲食サービス業 (n=66)	9.1	25.8	22.7	3.0	39.4	34.9	25.7
医療・福祉 (n=29)	3.4	27.6	20.7	10.3	37.9	31.0	31.0
サービス業・その他 (n=229)	7.0	37.6	19.7	5.2	30.6	44.6	24.9
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	6.3	34.8	21.3	6.3	31.3	41.1	27.6
6人～20人以下 (n=74)	2.7	27.0	36.5	5.4	28.4	29.7	41.9
21人～50人以下 (n=27)	7.4	55.6	18.5	3.7	14.8	63.0	22.2
51人以上 (n=12)	-	58.3	8.3	16.7	16.7	58.3	25.0

## ⑥ 求人活動への支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

求人活動への支援について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、《建設業》での割合が最も高くなっている（62.1%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（83.3%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

(単位：%)

	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	16.1	46.0	15.3	2.4	20.2	62.1	17.7
製造業 (n=75)	8.0	41.3	18.7	6.7	25.3	49.3	25.4
卸・小売業 (n=120)	9.2	42.5	18.3	3.3	26.7	51.7	21.6
飲食サービス業 (n=66)	13.6	40.9	12.1	1.5	31.8	54.5	13.6
医療・福祉 (n=29)	-	48.3	6.9	3.4	41.4	48.3	10.3
サービス業・その他 (n=229)	13.5	42.8	11.4	4.8	27.5	56.3	16.2
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	12.6	42.0	14.7	4.6	26.1	54.6	19.3
6人～20人以下 (n=74)	17.6	48.6	10.8	1.4	21.6	66.2	12.2
21人～50人以下 (n=27)	22.2	59.3	11.1	-	7.4	81.5	11.1
51人以上 (n=12)	-	83.3	-	-	16.7	83.3	-

## ⑦異業種・同業種間の企業連携支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

異業種・同業種間の企業連携支援について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、「サービス業・その他」での割合が最も高くなっている（51.6%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は「21人～50人以下」で最も高くなっている（51.8%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

						(単位：%)	
	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	9.7	38.7	25.0	5.6	21.0	48.4	30.6
製造業 (n=75)	8.0	37.3	20.0	5.3	29.3	45.3	25.3
卸・小売業 (n=120)	7.5	33.3	22.5	7.5	29.2	40.8	30.0
飲食サービス業 (n=66)	12.1	37.9	12.1	6.1	31.8	50.0	18.2
医療・福祉 (n=29)	6.9	31.0	24.1	3.4	34.5	37.9	27.5
サービス業・その他 (n=229)	14.0	37.6	16.6	4.8	27.1	51.6	21.4
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	11.5	38.2	17.8	6.0	26.4	49.7	23.8
6人～20人以下 (n=74)	6.8	36.5	25.7	5.4	25.7	43.3	31.1
21人～50人以下 (n=27)	11.1	40.7	29.6	3.7	14.8	51.8	33.3
51人以上 (n=12)	-	50.0	25.0	8.3	16.7	50.0	33.3

## ⑧事業用地の整備や拡張支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

事業用地の整備や拡張支援について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、《建設業》での割合が最も高くなっている（57.2%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は《21人～50人以下》で最も高くなっている（66.6%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

(単位：%)

	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	16.9	40.3	20.2	3.2	19.4	57.2	23.4
製造業 (n=75)	8.0	34.7	20.0	6.7	30.7	42.7	26.7
卸・小売業 (n=120)	10.8	35.8	14.2	6.7	32.5	46.6	20.9
飲食サービス業 (n=66)	16.7	33.3	15.2	1.5	33.3	50.0	16.7
医療・福祉 (n=29)	17.2	34.5	6.9	6.9	34.5	51.7	13.8
サービス業・その他 (n=229)	17.5	35.8	15.3	3.9	27.5	53.3	19.2
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	15.5	36.5	15.5	4.6	27.9	52.0	20.1
6人～20人以下 (n=74)	16.2	37.8	17.6	4.1	24.3	54.0	21.7
21人～50人以下 (n=27)	37.0	29.6	14.8	3.7	14.8	66.6	18.5
51人以上 (n=12)	8.3	50.0	16.7	8.3	16.7	58.3	25.0

## ⑨施設・設備投資への支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

施設・設備投資への支援について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、《医療・福祉》での割合が最も高くなっている（68.9%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は《21人～50人以下》で最も高くなっている（77.7%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

						(単位：%)	
	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
<b>【産業別】</b>						<b>【産業別】</b>	
建設業 (n=124)	18.5	41.9	16.1	4.0	19.4	60.4	20.1
製造業 (n=75)	12.0	41.3	12.0	5.3	29.3	53.3	17.3
卸・小売業 (n=120)	18.3	32.5	13.3	4.2	31.7	50.8	17.5
飲食サービス業 (n=66)	18.2	39.4	12.1	1.5	28.8	57.6	13.6
医療・福祉 (n=29)	24.1	44.8	3.4	-	27.6	68.9	3.4
サービス業・その他 (n=229)	19.7	38.4	10.5	4.4	27.1	58.1	14.9
<b>【従業員規模別】</b>						<b>【従業員規模別】</b>	
5人以下 (n=348)	19.8	38.2	12.1	3.4	26.4	58.0	15.5
6人～20人以下 (n=74)	17.6	36.5	16.2	4.1	25.7	54.1	20.3
21人～50人以下 (n=27)	29.6	48.1	11.1	-	11.1	77.7	11.1
51人以上 (n=12)	8.3	58.3	16.7	-	16.7	66.6	16.7

## ⑩経営、融資等に関する相談支援

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

経営、融資等に関する相談支援について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、『サービス業・その他』での割合が最も高くなっている（59.0%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は『21人～50人以下』で最も高くなっている（74.1%）。また、ほとんどの区分において『重要である』が『重要でない』を上回っているが、『51人以上』では『重要でない』の方が高くなっている。

						(単位：%)	
	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	10.5	46.8	19.4	4.0	19.4	57.3	23.4
製造業 (n=75)	4.0	42.7	16.0	6.7	30.7	46.7	22.7
卸・小売業 (n=120)	9.2	35.0	21.7	6.7	27.5	44.2	28.4
飲食サービス業 (n=66)	12.1	45.5	7.6	1.5	33.3	57.6	9.1
医療・福祉 (n=29)	13.8	37.9	17.2	-	31.0	51.7	17.2
サービス業・その他 (n=229)	15.3	43.7	12.2	2.6	26.2	59.0	14.8
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	13.2	43.1	14.1	3.2	26.4	56.3	17.3
6人～20人以下 (n=74)	9.5	40.5	21.6	2.7	25.7	50.0	24.3
21人～50人以下 (n=27)	18.5	55.6	14.8	-	11.1	74.1	14.8
51人以上 (n=12)	-	25.0	41.7	16.7	16.7	25.0	58.4

## ⑪観光の振興や特産品PR

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

観光の振興や特産品PRについて、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、「サービス業・その他」での割合が最も高くなっている（47.2%）。また、ほとんどの区分において『重要である』が『重要でない』を上回っているが、「建設業」では『重要でない』の方が高くなっている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は「21人～50人以下」で最も高くなっている（59.2%）。また、ほとんどの区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。「6人～20人以下」では『重要である』と『重要でない』が同率となっている。

(単位：%)

	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	8.1	31.5	30.6	9.7	20.2	39.6	40.3
製造業 (n=75)	5.3	34.7	24.0	8.0	28.0	40.0	32.0
卸・小売業 (n=120)	10.0	32.5	19.2	9.2	29.2	42.5	28.4
飲食サービス業 (n=66)	15.2	30.3	19.7	6.1	28.8	45.5	25.8
医療・福祉 (n=29)	10.3	34.5	10.3	10.3	34.5	44.8	20.6
サービス業・その他 (n=229)	12.7	34.5	18.8	5.7	28.4	47.2	24.5
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	11.5	32.5	20.1	8.3	27.6	44.0	28.4
6人～20人以下 (n=74)	5.4	31.1	29.7	6.8	27.0	36.5	36.5
21人～50人以下 (n=27)	11.1	48.1	14.8	11.1	14.8	59.2	25.9
51人以上 (n=12)	-	50.0	25.0	16.7	8.3	50.0	41.7

## ⑫「日本一おいしい紅茶のまち」の取組

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

「日本一おいしい紅茶のまち」の取組について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、《製造業》での割合が最も高くなっている（40.0%）。また、《製造業》では『重要である』が『重要でない』を上回っているが、それ以外の区分では『重要でない』の方が高くなっている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は《51人以上》で最も高くなっている（41.7%）。また、すべての区分において『重要でない』が『重要である』を上回っている。

						(単位：%)	
	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	4.0	22.6	36.3	18.5	18.5	26.6	54.8
製造業 (n=75)	4.0	36.0	20.0	14.7	25.3	40.0	34.7
卸・小売業 (n=120)	5.8	30.0	20.0	18.3	25.8	35.8	38.3
飲食サービス業 (n=66)	10.6	18.2	24.2	16.7	30.3	28.8	40.9
医療・福祉 (n=29)	3.4	24.1	24.1	13.8	34.5	27.5	37.9
サービス業・その他 (n=229)	8.3	24.9	28.8	10.0	27.9	33.2	38.8
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	7.2	26.7	26.1	14.1	25.9	33.9	40.2
6人～20人以下 (n=74)	5.4	25.7	27.0	14.9	27.0	31.1	41.9
21人～50人以下 (n=27)	11.1	29.6	29.6	18.5	11.1	40.7	48.1
51人以上 (n=12)	-	41.7	33.3	16.7	8.3	41.7	50.0

### ⑬セミナー等の学習機会の提供

#### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

セミナー等の学習機会の提供について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、『サービス業・その他』での割合が最も高くなっている（49.4%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は『21人～50人以下』で最も高くなっている（66.7%）。また、ほとんどの区分において『重要である』が『重要でない』を上回っているが、『6人～20人以下』では『重要でない』の方が高くなっている。『51人以上』では『重要である』と『重要でない』が同率となっている。

(単位：%)

	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	5.6	33.9	29.8	8.9	21.8	39.5	38.7
製造業 (n=75)	2.7	33.3	24.0	8.0	32.0	36.0	32.0
卸・小売業 (n=120)	7.5	33.3	20.8	10.0	28.3	40.8	30.8
飲食サービス業 (n=66)	10.6	25.8	25.8	6.1	31.8	36.4	31.9
医療・福祉 (n=29)	6.9	27.6	24.1	6.9	34.5	34.5	31.0
サービス業・その他 (n=229)	10.5	38.9	18.3	5.2	27.1	49.4	23.5
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	8.3	36.2	21.0	8.0	26.4	44.5	29.0
6人～20人以下 (n=74)	4.1	29.7	25.7	12.2	28.4	33.8	37.9
21人～50人以下 (n=27)	14.8	51.9	14.8	3.7	14.8	66.7	18.5
51人以上 (n=12)	-	41.7	41.7	-	16.7	41.7	41.7

#### ⑭新製品開発や新分野への進出支援

##### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

新製品開発や新分野への進出支援について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、「サービス業・その他」での割合が最も高くなっている（51.5%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は「21人～50人以下」で最も高くなっている（70.4%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

						(単位：%)	
	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	10.5	37.9	21.8	6.5	23.4	48.4	28.3
製造業 (n=75)	9.3	37.3	18.7	5.3	29.3	46.6	24.0
卸・小売業 (n=120)	11.7	34.2	16.7	7.5	30.0	45.9	24.2
飲食サービス業 (n=66)	16.7	24.2	19.7	6.1	33.3	40.9	25.8
医療・福祉 (n=29)	6.9	37.9	10.3	6.9	37.9	44.8	17.2
サービス業・その他 (n=229)	12.2	39.3	13.1	5.7	29.7	51.5	18.8
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	13.5	36.5	13.8	6.9	29.3	50.0	20.7
6人～20人以下 (n=74)	8.1	39.2	17.6	9.5	25.7	47.3	27.1
21人～50人以下 (n=27)	18.5	51.9	11.1	3.7	14.8	70.4	14.8
51人以上 (n=12)	-	50.0	33.3	-	16.7	50.0	33.3

## ⑮ グローバル化への対応

### 【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

グローバル化への対応について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、《サービス業・その他》での割合が最も高くなっている（47.6%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は《21人～50人以下》で最も高くなっている（66.7%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

(単位：%)

	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	5.6	36.3	25.8	9.7	22.6	41.9	35.5
製造業 (n=75)	4.0	32.0	22.7	9.3	32.0	36.0	32.0
卸・小売業 (n=120)	8.3	32.5	20.8	8.3	30.0	40.8	29.1
飲食サービス業 (n=66)	13.6	25.8	21.2	7.6	31.8	39.4	28.8
医療・福祉 (n=29)	6.9	37.9	13.8	6.9	34.5	44.8	20.7
サービス業・その他 (n=229)	14.0	33.6	16.2	6.1	30.1	47.6	22.3
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	12.1	30.7	19.5	8.0	29.6	42.8	27.5
6人～20人以下 (n=74)	6.8	36.5	23.0	8.1	25.7	43.3	31.1
21人～50人以下 (n=27)	7.4	59.3	14.8	3.7	14.8	66.7	18.5
51人以上 (n=12)	-	58.3	25.0	-	16.7	58.3	25.0

⑩国、県等の情報提供

【クロス集計（産業分類別・従業員規模別）】

国、県等の情報提供について、『重要である』の割合を産業分類別で見ると、《サービス業・その他》での割合が最も高くなっている（60.7%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

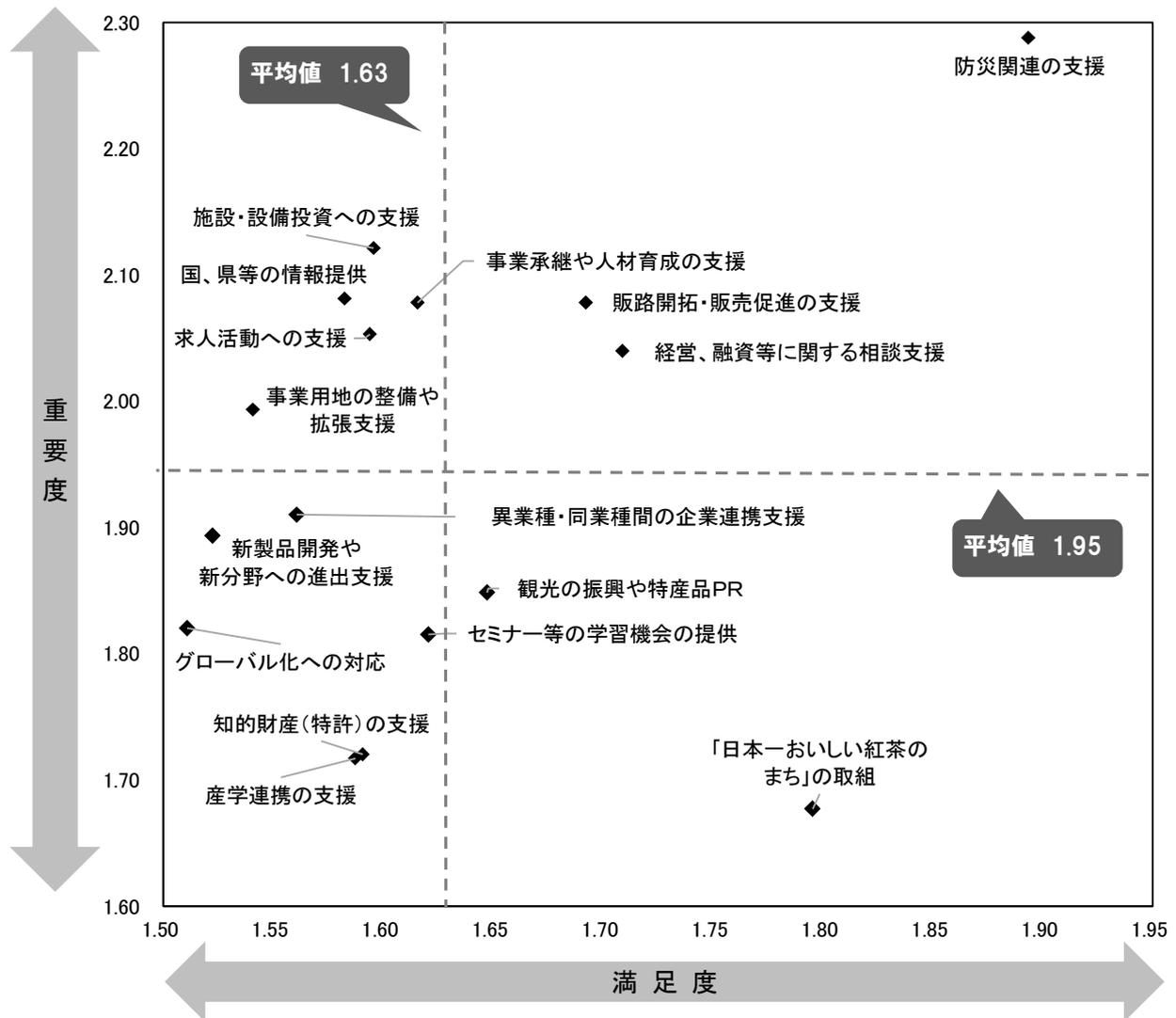
従業員規模別で見ると、『重要である』の割合は《21人～50人以下》で最も高くなっている（77.8%）。また、すべての区分において『重要である』が『重要でない』を上回っている。

(単位：%)

	非常に重要	重要	さほど重要ではない	重要ではない	無回答	重要である	重要でない
【産業別】						【産業別】	
建設業 (n=124)	12.9	45.2	18.5	3.2	20.2	58.1	21.7
製造業 (n=75)	8.0	42.7	14.7	5.3	29.3	50.7	20.0
卸・小売業 (n=120)	12.5	40.8	15.0	3.3	28.3	53.3	18.3
飲食サービス業 (n=66)	18.2	31.8	13.6	1.5	34.8	50.0	15.1
医療・福祉 (n=29)	20.7	34.5	13.8	3.4	27.6	55.2	17.2
サービス業・その他 (n=229)	17.5	43.2	9.6	3.1	26.6	60.7	12.7
【従業員規模別】						【従業員規模別】	
5人以下 (n=348)	16.4	40.2	12.9	3.2	27.3	56.6	16.1
6人～20人以下 (n=74)	10.8	43.2	17.6	4.1	24.3	54.0	21.7
21人～50人以下 (n=27)	11.1	66.7	3.7	3.7	14.8	77.8	7.4
51人以上 (n=12)	-	58.3	16.7	8.3	16.7	58.3	25.0

### (3) 満足度・重要度の散布図

満足度・重要度がともに高い施策は「防災関連の支援」、「販路開拓・販売促進の支援」、「経営、融資等に関する相談支援」となっている。重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い今後優先すべき施策は「施設・設備投資への支援」、「国、県等の情報提供」、「事業承継や人材育成の支援」、「求人活動への支援」、「事業用地の整備や拡張支援」となっている。



満足度・重要度の点数算出方法は以下の通り。

満足度 = (「満足」の件数×4点 + 「どちらかというと満足」の件数×3点 + 「どちらかというと不満」の件数×2点 + 「不満」の件数×1点 + 「無回答」の件数×0点) ÷ (回答者数)

重要度 = (「非常に重要」の件数×4点 + 「重要」の件数×3点 + 「さほど重要ではない」の件数×2点 + 「重要ではない」の件数×1点 + 「無回答」の件数×0点) ÷ (回答者数)

## 6. 自由意見

合計 86 件の意見がありました。意見の分類と主な意見は以下のとおりです。

### 【意見分類】

項目	件数
環境整備について	6
企業誘致等について	5
産業振興に向けた取り組みについて	9
尾張旭市の産業振興の取り組みについて（問 21 に対する意見）	17
情報提供体制について	3
市の支援制度について	9
生活環境について	2
まちづくり全般について	3
市政に関すること	5
新型コロナウイルスの影響について	2
アンケートに関すること	19
その他	6
合計	86

### 【主な意見】

#### 《環境整備について》

- 尾張旭駅北、ロータリー付近の景観が寂しく、市の玄関口として恥じないものを開発してほしい。遊歩道の整備や公園など。
- 尾張旭市稲葉町 5 丁目の造成工事への理解と協力をお願いしたい。
- 平子ヶ丘北の土地を早期に市民が利用出来る様に開発してほしい。
- 市内の調整地区で農業を行っている人はほとんどいないので市街化を進め、半分は商工業地区、半分は住宅地区とすれば税収もアップし、発展もすると思う。
- 農業に力を入れるべきか、商工に力を入れるべきか、力点の置き方がわからない。発展の活路をどの分野に求めるのかが、あいまいな気がする。
- 特区を作って、尖った政策を打ってほしい。特に農地を有効に使う政策が良いと思うので、農業特区などで攻めた市になってほしい。

### 《企業誘致等について》

- 市街化調整区域の撤廃により、商業施設の参入をすべきだと思う。
- 尾張旭市は人を呼べる公共施設、商業施設がなく、魅力が感じられない。いずれ人口も減り過疎化を止められなくなる可能性が高い。
- 弊社は客商売なので人口や住宅地が増えると嬉しいが、工場や研究施設を誘致したいなら広い事業用地が必要だと思う。
- スピード感がまったくなく、いつまで経っても、悪い意味で田舎の域を出ない。市内の雇用を増やすため、大きな企業を誘致しようとしているが大きな間違いだと思う。
- 原子力発電は経済効果高いので、誘致も選択の1つ。現実を見てほしい。

### 《産業振興に向けた取り組みについて》

- 色々な企画で尾張旭市をアピールしてほしい。
- 尾張旭はこんな街という「ウリ」があると良い。何か新しい事に取り組むと良いと思う。我が街をどう生かしていくかが大切だと思う。
- 尾張旭のイベントとしては秋にお祭りがあるが、春に弘法さん祭りを催したらどうか。
- 旭色キャンペーンは、フレッシュのいちじくが出回る8月9月にやれば良いと思う。
- 尾張旭市の発展の為、我々の様な民間企業とももっともっと協力し合っ欲しい（「紅茶×金城×市制50周年記念」をコンセプトとして、セブンイレブン等で販売するなど）。
- 大きなショッピングモール等が無い為に寂しくも有るが、自然が多くて好き。市内道の整備・市内自転車特典免許(安全講習)等、皆が安全になる事が市内の産業として出来ないかと思う。
- 女性や学生の起業を応援する仕組みがあると良いと思う。農業の多面的価値を理解して応援して欲しい。
- 個人事業所（事務所）が培ったノウハウを関係事業者に共有出来るしくみが出来ると良い。

### 《尾張旭市の産業振興の取り組みについて（問21に対する意見）》

- 産業振興の取組について初めて知った。
- このような取組みがあることを知らない。
- 尾張旭市が何をやっているとかの情報が入って来ないので、尾張旭市の取り組みに対する理解がない。
- どの項目に対しても利用出来ていないので、満足も不満もない。
- 実際に関わっていないので判断できない。
- 尾張旭市には求めていないので不満もない。
- 尾張旭市と関わりを持っている意識が無いので回答できない。
- 本社が他市にあるため、尾張旭市の取り組みはよくわからない。
- 自分の業務を主点としての質問か、尾張旭市の産業全体に対する問題なのか不明確。
- 事業継承や人材育成の支援については、尾張旭市に魅力がなく、考え方も古いので、若い人が集まる訳がなく人材育成もないと思う。
- 「日本一おいしい紅茶のまち」の取組とあるが、紅茶畑もないのに、何が紅茶のまちなのかわからない。
- 「グローバル化への対応」ということがだが、日本人をもっと大事にしてほしい。

#### 《情報提供体制について》

- 尾張旭市で何か中小企業に対して、どのような支援を行っているのか、どういう広報をしているのか知らない。
- 商工会未加入もあり、尾張旭市の産業振興支援などの情報がほとんどない。HP 以外の方法でも知ることができると嬉しい。店舗にも広報紙を入れてもらえるとありがたい。
- 医療に関わる者としてだが、コロナワクチンに対する情報提供がない。

#### 《市の支援制度について》

- 国、県、市の補助金情報を得られる手段がないと思う。メルマガでリンクにて紹介するだけでも皆喜ぶと思う。
- コロナ禍の中、どこに、相談に行けば良いのかわからない。税金の延納、免除、資金繰りなど、事業継続の為の具体的な支援が欲しい。
- どのような支援があるのか、わかっていなかった。コロナの影響がまだ続くので支援があると飲食店はがんばることができ、支援がなければ店はやっていけないと思う。
- 国の持続化給付金のようなものを尾張旭市も行なってほしい。市内で消費が生まれる仕組みがあると良い。
- コロナウイルスに対しての事業者への資金援助など、対応が十分なされていないと思う。
- コロナ対策助成金などで企業を助けてほしい。
- 中小企業診断士として企業支援をしているが、新型コロナ対策費用支援には感謝している。
- どのような支援をもらえるのか正直よくわからない。今まで何のアプローチもなかった。
- 外国人就労を支援 & 補助金申請を支援しているが、他県、他市からはセミナーなどを要請されるが尾張旭市や商工会からはオファーがないため、商圏として捉えていない。

#### 《生活環境について》

- 生活環境が良く、生活を楽しみながら仕事ができる。
- とても住み易いが、何の特徴も無いのが残念。

#### 《まちづくり全般について》

- 人口を増やす施策を講じてほしい。税制面、子ども支援等を整えてほしい。
- 若い人にとって魅力的なまちづくりを推し進めるべきだと思う。高齢者を敬いつつ、まちの若返りを進めなければ先は見えていない。
- シルバー政策よりも、教育や保育など若い世代が住みたいと思う街にすることが第 1 優先だと思う。そうしなければ「すたれていく未来」しかない。

#### 《市政に関すること》

- 役所の人も議員も考え方が古いように思う。まちに出て現状を見てほしい。市のHP でパブリックコメントをもっと広く募集して、市民が考えるまちにしてほしい。
- 尾張旭市は事業、産業、サービス業ともに特長がある業種はないが、人材や事業環境は良いので、将来の尾張旭の市民に貢献できる企業ができるように、見守れる役所であるといいと思う。

- 尾張旭市内の公共工事（入札案件）に市外業者も参加出来る仕組みを、市内業者のみ参加出来る仕組みに変えてほしい。
- 顔が見えない行政。アピール不足。
- 尾張旭市に引っ越して来た時、市の良いところは何かという質問に「特にこれと言ってない」と市職員に言われ、その時から、たいした事のない市だなと思い、今でもそう思っている。

#### 《新型コロナウイルスの影響について》

- 新型コロナによる来客の減少及び売上の減少はあったが、今後のことを考えることができた機会を持つことができた。
- 昨年度又は直近決算期の売上高は、ほぼ横ばいと回答したが、協力金があったことで、売上は減り続けている。コロナの影響はまだまだ続き、飲食店にはかなり厳しいと思う。

#### 《アンケートに関すること》

- アンケートが多い。企業も忙しい事をもう少し考えて欲しい。
- アンケート内容で回答しにくいところがある。業種によっては関係が無いものもあるため、選択肢に不明であるという項目があった方が良いと思う。
- 尾張旭市に住んでないのでよくわからない。

#### 《その他》

- 現在、開店休業状態で仕事が僅かしかない。
- 外国人実習生は薄給でこき使われているのが実態であるし、治安の悪化につながりかねないので、グローバル化には反対。
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響に対して、尾張旭市で支援に取り組む必要は無い。一部の業者のみが利用している状態にある。

尾張旭市の産業振興に関する

企業等ヒアリング調査

【調査結果報告書】

## 1. 調査概要

区分	概要
目的	尾張旭市の産業を取り巻く環境は、新型コロナウイルスによる経済への影響をはじめ、経済のグローバル化等めまぐるしく変化しており、こうした中、市内産業の現況を把握し、今後の産業施策を検討するための基礎資料とすることを目的に、市内に立地する企業等にヒアリング調査を実施した。
対象	<p>市内に立地する企業等 20 事業者に面談によるヒアリングを実施。</p> <p>※令和2年度に実施した、市内産業に係る統計データ分析の結果を基に、生産額や従業者規模等から市内経済への影響が大きいと想定される産業分野に関連する企業、その他愛知ブランド認定を受けるなど特色のある企業等を抽出して実施した。</p> <p>※産業分野別内訳</p> <p>&lt;企業&gt;</p> <p>製造業 12（生産用機械器具 6、電気機械器具 2、輸送用機械 1、業務用機械 1、建築資材等製造 1、製紙 1）、建設 2、小売（衣料）1、飲食 1、自動車整備 1、計 17 社</p> <p>※企業規模別内訳</p> <p>従業員数 10 名未満 2、10～50 人未満 5、50～100 人未満 1、100～200 人未満 3、200～500 人未満 2、500 人以上 4、計 17 社</p> <p>&lt;産業関係団体等&gt;</p> <p>金融機関、観光協会、商工会、計 3 団体</p>
実施期間	2021 年 7 月 27 日～29 日、8 月 3 日、5 日、31 日
実施方法	企業訪問による聞き取り方式
主なヒアリング項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の産業振興にあたっての現況・課題について</li> <li>・尾張旭市の産業振興のために、必要と思われる支援について</li> <li>・市内の人材の雇用について</li> <li>・市内における仕入調達の状況について</li> <li>・他分野の企業等との連携や協業について</li> <li>・働きやすい職場環境の向上について</li> <li>・企業情報の発信について</li> <li>・その他、尾張旭市の産業振興に関してご意見・ご提案 等</li> </ul>

## 2. 調査結果のまとめ

---

### ①尾張旭市の有する産業振興上の強み・メリット、弱み・デメリットについて

- ・産業振興にあたっての市の強み・メリットについては、大都市・名古屋市に隣接しており利便性が高く、人材の確保がしやすいとの意見が多くみられた。また、特に製造業にとっては、名古屋インター、名二環へのアクセスが容易であり、名古屋市をはじめ、豊田市、岐阜県に及ぶ広範囲な取引がしやすいところがメリットであるという意見が多くあった。
- ・水害等災害上のリスクの少なさも企業運営上メリットになるとの声もみられた。
- ・観光資源が少ない分、事業者が新しいものを作り出せる環境にあり、発想力があるとの意見もあった。
- ・市の弱み・デメリットについては、企業の立地に適した用地が少なく、市街化調整区域等の土地利用上の規制もあるため、企業の進出がなかなか進まないとの意見が多くみられた。また、住宅都市として拡大してきた中、製造業にとっては、周辺の住環境への配慮が課題であり、共存に向けた様々な取組が企業側で行われていることが伺える。
- ・公共交通機関の利便性が十分ではなく、名古屋都心部へのアクセス、あるいは市内鉄道駅から通勤先の企業も含めた周辺地域への公共交通機関による利便性の確保が求められている。観光の面においても、各駅からの交通が不便なため、観光客が市内を回ることが難しいとの声もあった。
- ・尾張旭市の知名度が広く浸透しているとはいえ、人の流れや人材確保の面でもデメリットになっているのではないかと懸念されている。また、市内企業間での情報交流もあまりなされていないため、ビジネスチャンスの機会を失っている可能性があるとの指摘もあった。

### ②直近の業況と今後の見通しについて

- ・直近の業況については、製造業においては、コロナ禍の影響により、2020年の春ごろは売上が落ち込んだものの、その後回復基調にあり、現在ではコロナ以前の状況に戻りつつあるとの回答が比較的多くみられる。この傾向は、特に自動車製造に関わる業種に共通しており、現状ではむしろ半導体や金属不足による生産停滞を懸念する声がかかれた。さらに自動車の電動化等、業界が大きく変化していく中、長期で見ると先行きは不透明感があるため、研究・開発・営業面での強化が必要であるとする企業もあった。
- ・製造業以外では、コロナ禍で人流が停滞することによって売上が落ち込む傾向があり、現時点では、昨年度から若干の回復が伺えるものの、製造業のようにコロナ以前の水準への回復には至っていない。建設系ではさらにウッドショックの影響や、近年の公共事業の発注数自体の減少等により、厳しい経営状況が伺える。
- ・コロナによりイベント等も中止となり、来場客数や販売商品の減少、イベント運営や音響等市内の関連業者にとっても厳しい状況が伺える。
- ・その他、小規模な飲食、小売、サービス業関連の自営業については、コロナ禍の影響を受けているものの、都心部に比べ尾張旭市は家賃等の経費が高くないという環境の中で、

倒産が相次ぐという状況ではなく、資金繰りを工夫しながら経営されている様子が伺えた。

### ③人材の確保について

- ・人材の確保については、自動車関連や、大手メーカーの子会社、従業員数等に一定規模のある製造業においては、比較的応募はあるが、若手や技術系の人材は年々確保が難しくなっていると回答している。これら以外の多くの企業では、新卒・中途ともに確保が困難であり、つながりのある高校、ハローワーク、就職（転職）サイト、自社の Web サイト等様々なチャネルを活用しているが、厳しい状況が伺える。待遇面の再検討、PR の仕方等様々な検討、工夫が各企業においてなされており、有効な支援施策が求められる。
- ・市内人材の雇用率は、2 割から 3 割前後が多く、人材不足の中で意識的に市内人材を確保しようとしている動きはみられず、募集した結果この割合になったということである。苦戦しているものの、立地面でのメリットにより、名古屋市、瀬戸市、春日井市方面からの人材が確保できているという状況である。

### ④産官学連携、異業種連携等の推進について

- ・大学等学術・研究機関との連携については、一部の企業において、独自の技術や製品を活かした連携が行われている。その他、業界の団体に加入する中で交流が行われている例がある。
- ・行政との連携については、一部の企業において補助金による支援や認定制度などを通じた関わりがみられる。
- ・商工会との連携については、個店において共同 EC サイトの構築を検討するなど、具体的な事業化に向けた検討が進められている。
- ・市内企業間での連携は、商工会を介した事業以外はみられず、製造業においては、自社の事業分野、技術やノウハウ、製品を活かせる場づくりや、新規事業開拓に向けて、市内の様々な企業情報を得ながら連携を図っていきたいという意向が伺える。

### ⑤市内調達への推進について

- ・ほとんどの企業において市内での仕入れ調達はなく、一部の企業で数%の調達がある程度である。多くの場合、特殊な資材を特定の取引先や昔からつきあいのある企業から仕入れていたり、グループ企業で一括して仕入れていたりする企業がほとんどである。また、原材料についてはコスト的に海外輸入を主とするケースもみられる。
- ・一方で、協力企業が近くにあれば輸送コストや生産リードタイムに大きく寄与することにつながるため、工程を補う企業の立地を進めたり、どのような企業が市内にあるのか、情報を共有したりしていくことは大事であるとの回答があった。

## ⑥多様な働き方の推進、働きやすい職場環境の向上について

- ・コロナ禍を契機として、製造業であっても事務職系を中心にテレワークによる在宅勤務を実施したところが多くみられた。現状では、テレワークを初めて実施した当初に比べて少なくなっているが、働きやすさや家事・育児との両立にあたって好評であり、今後も継続していくとの回答もみられた。
- ・産休、育休、時短・フレックスタイム制等による柔軟な働き方の導入など、人材確保の観点も踏まえ、様々な働き方や待遇面での充実に取り組む企業が多くみられる。男性の育休については、回答はあまりみられなかったが、一部の企業では促進しており、実際の取得も出てきているとのことであった。
- ・工場においては、コロナ対策としての換気面での推進をはじめ、暑さ対策など労働環境の向上に向けた取組に力を入れている企業が多い。
- ・コロナによって外国人実習生が少なくなっているが、コロナ後の受け入れについて、対応の充実が求められている。

## ⑦尾張旭市の産業振興に当たって必要な支援策について

- ・各企業に共通して多くあげられた支援策は、人材確保・定着に関する支援であり、人材の紹介、採用の場づくり、人材のスキルアップをはじめ、人件費の補助、市内企業で働く人へのインセンティブの支給など、様々なアイデア、要望が伺える。
- ・並んで多くあげられた支援策は、工場建設や設備整備をはじめとするインフラ整備への補助金の支給である。より活用しやすい補助金の充実が求められている。
- ・また、人材の確保や販路開拓をより一層推進するためにも、企業情報の発信と企業間の情報交流の推進を求める回答が多くみられる。情報発信によって、企業に対する市民の関心を喚起したり、企業展等で企業同士が直接交流する場や定期的な情報交換の場を設けたりするなど、市民の理解を深めるとともに、企業間の連携を促進する場づくりが求められている。
- ・その他、土地利用面での制限の緩和、税制面の優遇、子育て・介護面での支援の充実等を求める回答がみられる。

## ⑧JETRO を活用した海外販路の開拓について

- ・海外との取引は、グループ会社を通じて行っている場合や、原材料を海外から仕入れているケースは伺えたが、今回を機にJETROを活用して海外販路の開拓を行いという意向をもつ企業は見受けられなかった。

## ⑨市のHP等を活用した企業情報の発信について

- ・市のホームページ等を活用した企業情報の発信については、ほぼ全ての企業から賛意が得られた。市民に市内企業のことを周知できる場、企業間で情報交流をする場、市から企業に対し情報発信をする場など、様々な場づくりについての提案がなされている。
- ・過去に社会科見学の受け入れを行ってきた企業もあり、市で働き住むという子どもの将来の選択肢に影響を及ぼせるよう、コロナ後もこうした工場見学や職場体験を行うことは可能であるという回答もあった。
- ・情報発信にあたっては、企業情報の羅列になるだけでは関心をもって頂けない。目的と工夫が必要という声も聞かれた。さらに、尾張旭市自体の知名度を上げていくことをきっかけに、市のHPや市にある企業への関心をもってもらえる流れになるという意見も聞かれた。

## ⑩観光振興の取組について

- ・観光振興の取組については、紅茶を中心に考えていきたいとの声がみられた。コロナ禍でイベントの開催も減少しており、新たな取組や活動内容の見直しが求められている。観光協会の会員数を増やすことや特産推奨品の発展、紅茶の取組における後継者を見つけることが課題との意見があった。

## ⑪尾張旭市の産業振興にあたってのご意見・ご提案について

- ・行政に望む支援策と同様に、近隣企業との情報交換、交流の場づくりやネットワーク化、人材とのマッチング支援を望む声が多い。市内事業者に発注を優先してほしいとの声もあり、市内で経済が循環し、人材も活躍する仕組みづくりが求められている。
- ・地域資源を見つめ直して長期的な取組を行うこと、魅力あるまちづくり、知名度アップ等、シティプロモーション的な取組を求める意見があった。
- ・企業誘致とともに商業誘致、地場産業の盛り上げ、創業者支援の充実等新たな活力の創出が望まれている。
- ・その他、公共交通機関の充実、通勤時間帯の渋滞の解消等、道路・交通面でのアクセスの向上に関する意見がみられた。



### ● 調査結果から見えてくる現状や課題……

- ・人材不足、働き手の確保への対応。
- ・企業間連携、異業種交流等、マッチングの機会の創出。
- ・土地利用面での制限の緩和と市内経済循環を高める戦略的な企業誘致の推進。
- ・小規模事業者、中小企業への支援(設備投資等使いやすい補助金の充実)。
- ・尾張旭市自体の知名度の向上 など

情報発信・企業間交流・  
ネットワーク化の推進

## 尾張旭市産業振興基礎調査報告書

---

<アンケート調査、企業等ヒアリング調査編>

発行：尾張旭市

発行年月：2022年2月

企画・編集：尾張旭市 市民生活部 産業課

〒488-8666

愛知県尾張旭市東大道町原田 2600-1

TEL 0561-53-2111（代）

URL <http://www.city.owariasahi.lg.jp>